【皇紀二千五百九十四年】 昭和九年一月一日 THE KEIJO NIPPO （日刊） （第三種郵便物認可） 第九千三百七十六號

京城日報

寄贈 9.1.8

天佑日本の春

皇太子殿下御誕生第一の春は億兆の歡聲裡に明け、旭日瞳々として山川を照らし、心身熙々として、萬象自ら新たなるを覺ゆ。祥雲靄々新乾坤を被ひ、瑞煙蒼海に延いて、御代萬歳の旗影戸毎に飜る。

天に日月懸り、地に聖君在します。恩波四海に洽く、德澤六合に布く。げに春光融々王化蕩々たり。以て椒觴を擧げ、新陽を祝し、皇運の彌々無疆ならんことを禱禱す。萬民生氣漲り、昭和九年は皇國躍進の瑞兆に微笑す。昭代の淸華、靄然として四海に溢るといふべし。

試練眼前に横はる。一九三五、六年の危機といふ。然れども、我に正氣あり、古今一徹。また我に正義あり、東西一貫。氣と義を以て正道を踏み、國土を擧げてこれに當る。倘[illegible]仰いで天地に慚づべき[illegible]照鑑三千歲天壤無窮の聖皇の御聖旨、斷じて[illegible]犯すべからず。時、[illegible]にして[illegible]東宮殿下の御降誕、天意知るべきのみ。

大東に洪業あり。王道樂土の建設以て世界平和の礎となす。半島[illegible]の要衝に立つ。二千萬同胞の抱負[illegible]また擴大なり。[illegible]天産を興し、技術以て文化を助長し、[illegible]以て福利を增進し、[illegible]以て組織機構を完成し、[illegible]以て發明あるべく、公明以て大道を進むべく、[illegible]潤以て生業を樂[illegible]。

半島に希望輝く。農山漁村振興作業の第一期工作既に終り、年更まると共に、第二期工作に進出せんとす。全鮮總動員の機構、運轉漸く圓滑ならんとし、山谷林相日と共に新なり。これ、自覺、奮發、勤勉、努力、反省、工夫、協同の成果なり。天の利既に存せり、地の利既に存せり、これ半島の舊態なりき。この惠みの今日まで埋れて現はれざりしもの、一に人の和と工夫を缺けるなり。人の和は有機的機構に統制されて、初めて文明的能率を發揮す。農山漁村振興作業の要諦はこゝに存す。而して今や將に此の要諦に觸れんとす。慶賀すべし。奮勵努力すべし。希望輝く所以なり。

誰か非常時を思ふ。氣概宇宙を壓す。邁進難關を突破し、昂然世界に雄飛すべし。光は東方より。燦然として乾坤を照らす。人生は鬪なり。寸分の油斷あるべからず。常住非常時に座すと知るべし。唯人間は綽々の餘裕を必要とす。悠然として爆彈上に座禪するの心境、泰然として大事既に去れるの際の雅懷、これ大國民の襟度なり。焦躁すべからず。欣然白を擧げて新年を祝せむ。

滿山瑞色―外金剛―

榮えます竹の園生
皇太子殿下御誕生と共に
兩陛下御成婚滿十年の慶春

玉體益々御健やか
御政務御多忙を極めさせらる
聖上陛下の御近狀

瑞雲皇城をこむる昭和九年一月元旦、吹上御苑の松の緑はいよいよ深く、竹間には[illegible]の囀り[illegible]朗らかに冴えて大内山の朝は晴れに明け渡り、天皇陛下には御三十四歳の春を迎へさせられた。この春こそ 天皇 皇后兩陛下に於かせられては、來る二十六日を以て早くも御成婚滿十周年を迎へさせられるめでたき春である、折柄宮中喪中にて在らせらるゝ御ことゝて御祝ひは御延期あらせられると承はるが、皇太子殿下御誕生と共に國を擧げて御慶び申上げる新年である。陛下には皇太子殿下御誕生と共に御機嫌益々御麗はしく拜せられ玉體益々御健やかに渉らせられるが、畏くも年頭に國事御多端、政治・外交、軍事等御統べ多端を極めて御勉勵を煩はせ給ふことが多く[illegible]

[illegible]

總督府の年始行事
一日は祝賀四日は御用始め

總督府年始の行事は、一日午前十時五十分より總督が各國領事團並に外人の新年祝賀を受け、午前十一時二十分より高等官及び朝鮮貴族の 陛下御眞影奉拜あり、四日は午前十一時より御用始め式、五日は總督官邸で新年宴會を催し、六日は軍部關係者[illegible]を招待することになつてゐる

天惠を利享して開運の先驅たれ
半島二千萬同胞に望む
新春を迎へて 宇垣朝鮮總督

茲に昭和九年の新春を迎へ鮮内二千萬同胞と共に謹みて聖壽の無窮を祝し奉り併せて昭代の隆昌を頌し奉る

畏くも 皇室に於かせられては益々御安泰におはしまし、殊に客臘[illegible]皇太子殿下御降誕あらせられ[illegible]たる[illegible]國運の彌榮に[illegible]只管顧慮の至情を致す次第である

予の朝鮮に於ける迎春は已に第三回に及ぶのであるが、今や[illegible]內外の情勢は依然として多事多難であり、國民の生活は尚安定を缺き、時局の重大性は未だ[illegible]を見るに至らないのである。殊に新興滿洲國の獨立に關して國際聯盟參加の多數諸國と其の主張を異にし、昨春三月遂に創立以來十有三年間誠實に支持協力し來つた該聯盟を離脱するに至つたことは、實に帝國外交の一大轉機であり、將來滿洲國の經濟支援と相俟つて帝國の國際的立場は益々緊切の度を加へたるのみならず、最近列強間の經濟競爭の念、先鋭化し、今や外は國防に、貿易に、内は産業に、經濟に、思想に、夫々機運順應の對策を大に要するの聲ある等、洵に容易ならざる時機に直面して居り國民は擧げて協力一致、協戮一心、以て難局打開に邁進しなければならぬ

我が朝鮮としては勿論[illegible]なる時局波瀾の外に超然たり得ざるも、幸に[illegible]にして思想方面に於ける[illegible]、[illegible]の際は相繼いで[illegible]、[illegible]の[illegible]に在り、又行政に就ては昨年四月道に[illegible]施して新制度に依る[illegible]を行ひ地方自治の擴充に努め、六月中樞院參議の改選に當つては半島の邦情に精通せる有能の士を網羅し、産業の制度、慣行の改善調査を委嘱する等、其他諸般の施設は極めて順調に進行しつゝある。殊に、昨年以來自力更生の大旆を翳し農山漁村振興の運動を起して道郡邑面等系統的機構による熱烈なる指導は今や相當の成績を示し來り、前途の光明を確に認め得たるは寔に欣快に堪へざる所である、しかし本運動の理想は極めて遠大にして期待する所頗る大なるだけに、之が全功を收めんが爲には、尚幾多の忍耐と努力と工夫とに俟たなければならぬこと勿論であるから、今後は益々計畫を實際化し、而して不斷の熱意と精進とを以て實現の透徹を期するの覺悟が必要である、徒に言説多くして實行の之に伴はざるの弊を現時の風潮に感染することなく、不言の實行は一の實行にも劣る底の鐵則を遵守し、虚飾を戒め、妄動を愼み、自力更生の事業は素より其の他の萬事に對しても半島民衆が常に不言の裡に着々と實證を擧揚し、斯業の收穫するの妙境に徹底せんことを祈りて止まぬ

抑も朝鮮の天然資源に就ては從來往々其の賦存する所極めて貧弱で、産業建設の彈力なく、希望に乏しき土地柄であるかの如く誤傳され來つたのであるが、最近仔細に調査研究した結果茲に現在實施しつゝある各種産業施設の實績に徵すれば、從來の觀察は全く淺薄にして事實に即せざる事が明かとなつた、例へば金、石炭、鐵其の他各種の地下埋藏の資源及工業用動力に就ても、又米、麥、豆、棉、麻等の農産物及牛、緬羊、繭等の畜産物に至るまで、實に風土に適合し發展の天惠に富んで居り、半島民衆の努力と工夫次第では前途は洋々たる光明に輝き、實に多幸なる樂土たらしめ得る。之に加ふるに滿洲國の新生により朝鮮が日滿兩國連鎖の重要なる使命をも帶ぶる地域たるに至りし事を以て、彌が上にも光輝を添加するに至りしと言はざるを得ない

予は此の芽出たき年頭に立ち、皇化洽ねく大地に浴せる朝鮮に在住する二千萬同胞が、一層奮勵して各其の職に樂しみ業に勤み以て天惠を利享して安居樂業、東洋平和の先驅たるの實を擧げ 聖代昭帝の恩に報いんことを切望して已まない次第である

宮中歳旦祭
四方拜、拜賀などは宮中喪で御取止め

昭和九年の新春を迎へられた宮中では宮中喪の御關係で新年の諸儀式を御中止 天皇、皇后、皇太后三陛下には[illegible]べき元旦を御つゝしみのうちに御迎遊ばされる

……◇……

この御賢所御神殿の御前における四方拜の儀も行はせられず、同五時半曉暗の中を宮花典次長以下奉仕してまづ歳旦祭の御祭典を申し上げ、同六時大[illegible]典長祝詞を奏して、[illegible]明治の日の如く[illegible]嚴かな御祭典を御終了になる御豫定であるが 天皇陛下の御親拜 皇后

……◇……

皇太后兩陛下の御代拜はいづれも拜しないことになつてゐる

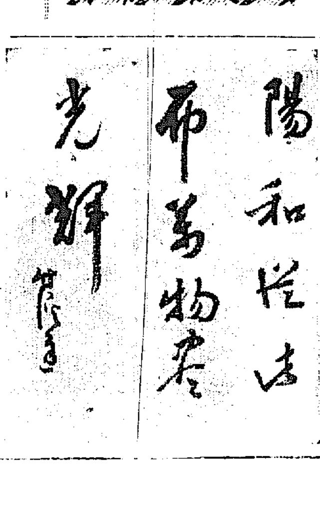
[illegible]

天佑われにあり
自力更生に邁進せよ
政務總監 今井田淸德

皇太子殿下御降誕あらせられたるは、眞に官民感激、以て國[illegible]は、陰冬凝凍に溢きて、陽春回り來つたかのやうに、九千萬同胞を歡喜の絶頂に導き、生々溌々の氣運[illegible]に自信した[illegible]國運彌々隆んなる新年を迎へたのは洵めてのことであり、恐らく子々孫々[illegible]朝鮮に任を奉じてより茲に[illegible]の春を迎へるのであるが、今回の[illegible]の如く晴れ晴れしく、また朗らかな[illegible]九年は重大なる年である、國民は緊張、以て內、經濟復興に邁進し、外、國際關係の好轉に努力し、且國防を充實せざるべからずと力説し、お互ひに國到の用意をおこたらなかつたものが、皇太子殿下御誕生の親は、九千萬同胞の心機を一轉せしめ、天佑われにありとの信念いよいよ固く、[illegible]業に勵み、效果を擧げ、皇恩の萬一に報ぜんと欲するものである。[illegible]

この輝かしき年頭に立ち、朝鮮の前途愈々洋々たるものあるを思ひ、二千萬同胞と共に[illegible]日本は今や國際的重要の地位にあり[illegible]世界平和の樞軸に立つもの、國民は宜しく內外の機微を明察し、一[illegible]の覺悟を必要とする。終りに聖壽の萬歳を奉唱し[illegible]の御榮に榮ませんことを祈り奉る。

山本內相の新年試筆



御機嫌麗し
御愛情深き國母陛下

皇后陛下には、御誕生三十一歲の春を迎へさせられたが、昨年四月[illegible][illegible]

お優しい
三內親王殿下

[illegible]

御仁慈
皇太后陛下

皇太后陛下には、御年五十一歲の新年を迎へさせられ[illegible]昨春は大正天皇御登遐以來始めて沼津御用邸に行啓あらせられたが、今春か或は秋の頃には伊勢神宮、桃山、[illegible]各御陵へ御參拜の爲、行啓あらせられる御模樣と承る。御日常は井上通泰子を召され萬葉集の御進講を聽し召され其の他和歌、茶の湯の道に近侍と共に御勉強の道にいそしませ給ふ外內外人の拜謁など御多忙に渉らせられる、時折は[illegible]

御軍籍の三宮殿下

皇弟にまします秩父宮殿下には御三十三歲、高松宮殿下には御三十歲、[illegible][illegible]

皇太子殿下初の新年

彌が上にも御和やかな大奥

伸び行く日本の限りなき國運をこめて、客臘廿三日萬民歡喜のうちに御降誕あらせられた、皇太子殿下には御誕生第十日昭和九年元旦を以てめでたく御齡を重ねさせられて御一歳の新春を迎へさせられた、宮中に於ては御喪中の事とて年頭の御賀も始め御行事等一切行はせられずいと御靜かの裡に過ごさせ給ふが、御記念申すべき皇太子殿下初の新年の事とて竹の園生の御榮えますこと今年は殊更にめでたく大内山の緣も一しほ賑かに拜される

大奥の御團欒

畏くも 兩陛下にはこの御皇子室にわたらせられ御一歳にならせられた皇太子殿下に新春初の御對面を遊ばされ、又 皇后陛下とは新年の御挨拶を遊ばされ 皇后陛下には重なる今朝の御喜びの中に 皇太子殿下に親く御授乳遊ばされて殿下の御將來を御祝ひあらせられると承はる、又宮城内にあらせられる孝宮、順宮兩内親王殿下にも御揃ひ一入にて兩陛下の御もとにて御つゝましく新年を御祝ひあらせられ 皇太子殿下に御對面、御優しい御心づくしをかけさせられるなど大奥の御團欒は、皇太子殿下を御中心に彌が上にも御和やかに拜される

お健やかな皇太子殿下

皇太子殿下には御體重三二六〇グラム(八百六十九匁)といふ御健やかさで御降誕あらせられ、通常經過する御生後の御體重御減退も殿下には極めて御僅少で御日を出でさせられず、早くも御降誕直後の御復舊に復させられ、日一日と御順調に進遊ばされて御肥立殊の外に勝れさせられ、また皇男子にあらせられる御事とて極めて御元氣にわたらせられ御乳もいと御強く多量に召され御泣聲も御力強くあらせられ、畏れ多き事ながら御健康そのものにて天津日嗣の皇子として限りなき御力に溢いくてあらせられると拜承し奉る 皇太子殿下が御生れながらにして御身位の御運に渉らせ給ふことは申すまでもなき事で、畏き邊りでは御誕生後直ちに皇室令を以て東宮に關する事務は皇后宮職に於て掌る旨を公布せられ、傅育の事は皇后宮大夫以下皇后宮職にて當分は一切東宮職の事務を行ふことになつてゐるが、御保育に關しては伊池知女官が主任の大役を拜し、小倉御養育掛以下光榮の奉仕女官等が御日常の御世話申上げ、御健康については田中、小山、神戸、佐藤各小兒科侍醫等が交代で拜診申上げて居る

來月十日初の行啓

皇太子殿下には來る二月十日を以て御降誕御五十日にわたらせられ、恐れ多き其の他御支障なき限り當日初の行啓を仰出され宮中賢所、皇靈殿、神殿に謁する儀を行はせられるが、宮中では二月早々盛大な御祝宴を催され御降誕を御祝ひあらせられる、斯くて滿御六歳にて御學齡に達せられ、滿御七歳に達せられるや 天皇陛下より大勳位に敍せられ、滿御十歳にて陸海軍少尉に御任官、軍籍に入らせられ、滿御十八歳にて御成年に達せられるが、皇太子殿下の最も貴き晴れの御盛典、立太子の禮は御適當の御時期の佳辰を勅定の上行はせられて醍醐天皇皇太子の御時より傳へさせられる皇太子の御寶刀、壺切の御劍を賜はるが、その後は皇太子殿下にはこの御劍を御神寶の如く常に奉ぜられると承はる

勝田氏脫黨す

だらしない政友會に愛想を盡かして

【東京電話】政友會の長老勝田主計氏は黨の現狀に慊らずとして遂に脫黨を決意し、卅日附を以て鈴木總裁宛脫黨屆を提出したが、左の如く語る

政友會の最近の行動はこの非常時局を乘切るに障りにもだらしがなさ過ぎる、我輩はこれまで總裁に對して屢々進言して來たが一つも容れられなかつた、今後は自由な立場に立つてこの非常時局に對し志を同じうするものと語らひ、議會に於ても自由に批判を加へ意見を開陳するつもりだ、この決心は去る十九日鈴木總裁と會見した時脫黨屆を出した所もう一度考へ直してくれとくれぐ\も賴みがあつたので無下にも退けられず、一應考へ直さうといふて別れたが實は再考の餘地はないので、廿九日皇太子殿下の御命名式當日を記念し脫黨屆を總裁に郵送した次第である、これで我輩も身輕になつたから今後は平沼に會はうと誰に會はうと勝手氣儘だ、議會では豫算委員になつたので外交、財政、內政問題等に對し相當いふべきこともあらう、黨內の同志に對してはこの際脫黨を勸めをしないやうにいふて置いた、併し何か一變事あれば政黨の離合集散する機れは充分にある

自由な立場に歸るだけ

勝田氏同志の輕擧を戒む

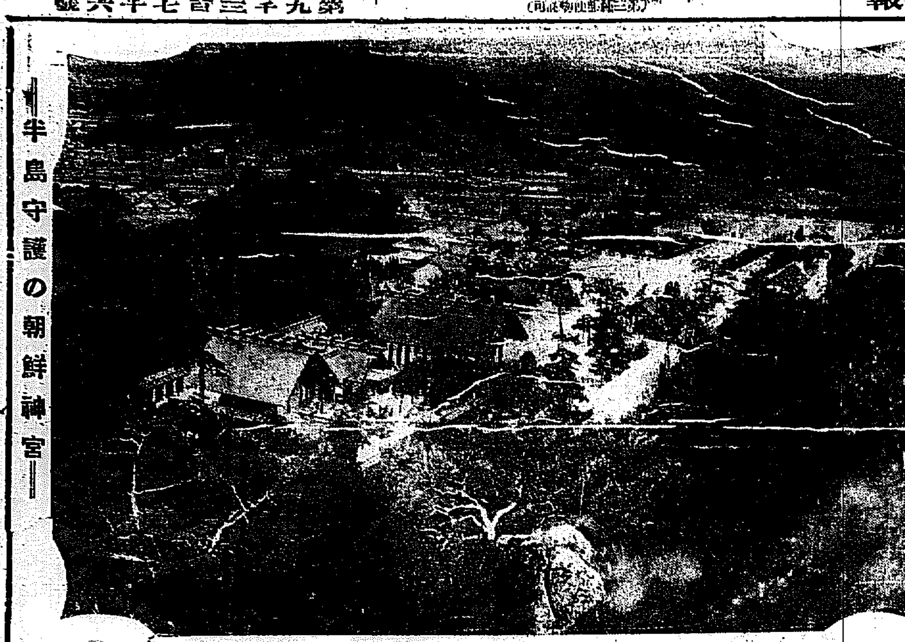
【東京電話】政友會長老勝田主計氏の突然の脫黨は政友會內に非常な衝動を與へ、卅日朝來多數の黨員が澁谷の自邸に押しかけ、今後の處置につき懇談する所あつたが、勝田氏は今後同志を率ゐて制御な運動を起すやうな意思はなく、自由な立場に歸つて自由な行動をとりたいといふだけで同志の輕擧妄動を極力戒めたようで現在の所勝田氏と行動を供にする者はない模樣である

影響なし

政友會の觀測

【東京電話】勝田主計氏脫黨に關して政友會は勝田氏の脫黨は政友會を去つて自由の立場に立ち政府のために盡すのであつて、政黨否認のためでなく、又政友會より同志を求めやうといふのでないから勝田氏の脫黨は黨に何等の影響はないと見てゐる、勝田氏は決して政友會に惡感があつて出るのではないから勝田氏の脫黨は直接黨內に動搖をもたらす事はないであらうが、何しろ元大藏大臣であり元文部大臣にして黨の長老の一人である勝田氏を失つた政友會としては政治的に相當の影響を受けるであらう

小室翠雲畫伯



半島守護の朝鮮神宮

元旦の朝鮮神宮

歳旦祭

卅一日大祓後より參籠潔齋せる神職宮司以下祭員は純白の齋服を着け、總督以下文武官其他は大禮服、正裝或はフロックコート、モーニングコートに新年の喜びを胸へつゝ午前九時參進し、第二鳥居下にて祓を受け拜殿內所定の座に着く、宮司御扉を拜して石階を上り昇殿して翳の蔭に本殿の御扉を開き奉れば、禰宜以下神饌を獻る、宮司は恭しく大前に參進し新年を壽ぎ皇國の隆昌を禱ひ奉れば、參列員一同肅として聲なく、次に總督寶前に玉串を奉り續いて親任官、朝鮮貴族總代、文官總代、武官總代、各道々民總代京城府民總代玉串を奉りて參列員一同拜禮を終り、次に宮司玉串を奉り禰宜以下拜禮の後大前の神饌を撤し、再び翳の蔭に宮司御扉を閉ぢ奉つて祭典は滯りなく執行し奉る事になつてゐる、なほ元旦は例によつて前夜より終夜庭燎をたき、午前零時から一般參拜に御符授與所で神酒授與せられる由

元始祭

元始祭は皇國の本始を祝ひ肇國の本源の恩を致す神國日本として最も嚴肅極りなき祭儀であるが、我で朝鮮神宮では神知和宮司以下各神職前晚より參籠沐浴潔齋し、只管御魂に請ひ祭りに努め當日の早旦社頭を裝飾し、午前十時諸員參進し第三鳥居下にて祓を受け諸員拜殿內所定の座に着く、宮司御扉を拜して石階を上り昇殿して翳の蔭に本殿の御扉を開き奉り、禰宜以下神饌を獻る、宮司は恭しく大前に參進し、祝詞を奏して皇祚の無窮を讃へ奉るのである、かくして總督神前に玉串を奉り續いて親任官、朝鮮貴族總代、文官總代、武官總代、各道々民總代、京城府民總代玉串を奉り、參列員一同拜禮を行ひ宮司玉串を奉奠して後禰宜以下拜禮し、奏樂裡に神饌を撤してこの莊嚴なる祭儀は終了し奉るのであるが今年は皇太子殿下の御誕生第一年で尚一層意義ある元始祭の祭典を執行することになつてゐる

勞農 第二次五年計畫

消費增大に努めると共に産業の大擴張を圖る

【モスコー卅日發】卅日のイズベスチヤ紙の發表によれば、共産黨政治部は今後綿布類、食料品その他一般物資の消費の增大に努めると共に、一九三七年までにソヴエート聯邦産業の一大擴張を圖り以て第二次五ヶ年計畫の完成を期する案を可決した、なほ右案は來る一月の共産黨大會にかけられる豫定で、滿場一致の承認を得ることは確實とされてゐるが右案內容の概要は左の如し

一、一九三七年までにソヴエート産業に從事する勞働者の總數を現在より三割方增員し、同時に大いに勞銀の引上げを行ふ

一、一九三七年迄に織物工場十五、綿布工場十六、絹布工場十六、製靴工場二十一、石鹸工場六、肉類罐詰工場十七、食料品混成工場二十三、鐵道建設五千粁、ボルガ、モスコー間ボルガ、ドン兩河間に二大運河を開き、ボルガ河を利用し一大水力電氣工場の建設

一、一九三七年迄に五百萬の個人勞働者及び三萬四千名の各産業專門家を養成す

一、一九三七年迄に無産者の絕滅を期す

一、一九三七年迄にソヴエート全國に亘り十ヶ年間強制教育を實施する

一、一九三七年迄に新聞配達制度の完成を期する

一、一九三七年におけるソヴエート聯邦の生産高は一千三百億ルーブルに達せんことを期す(一九三二年のソヴエートの生産高は四百三十億ルーブル)

一、この外一九三七年迄に肉類、バター、魚類、鶏卵・砂糖の消費高を現在の三倍に增加せんことを期す

但し右に對する小賣値段は一般勞働大衆の國家奉仕に報ゆる意味に於て現在より三割五分方の引下を期す

日印會商愈よ大詰へ

大綱が決定したので

殘るは實行方法の決定のみ

【デリー卅日發】日印會商最後の難關であつた新年度綿布割當問題は、同年の棉花と關連せしめることにボア長官の個人的意見とはいへ一致し、これが實行方法の決定が殘されてゐるのみである、あとはこの原則による實際上の取引の圓滑を阻害することなくして綿製品を遂行し得る實行方法を研究するのみで、これについて日本より提出した案に基きこれが目的達成に支障なきや否やと研究中であるが、双方が同一の目的のために努力しつゝある以上その手段についても双方一致を見るに至るは疑ひなきところと見られる、即ち原則が作られた以上、その實行方法如何によつて原則を覆へすことはない譯で、この外は唯實行細目に關する事務的折衝が殘されてゐるのみである、從つてかく大綱が決定した以上、綿布問題の會議の成否如何を云々する時期はすでに過ぎ去つたものと見るべきである

福州、厦門居住外人に避難要求

中央軍更に爆擊か

【南京卅日發聯合】支那國民政府外交部は卅日南京駐在各國領事に對し、「福州及び厦門に於ける軍事行動の都合上兩地に居住する外人はそれ〴〵軍艦に避難し出來る限り速やかに避難するよう取計はれたい」

中央側の海軍出動

一週間內に福州占領を豪語

【上海卅日發聯合】支那側消息に依れば三路に分れて浙江省に進擊せる蔡廷鍇軍は東路の戰況思はしからぬので、主力を中西路に吸集し、中路は慶順、慶元の線より決戰に向け行進を開始し、又東路は福鼎より平陽に向け進擊中である、これがため桂州、溫州の中央軍の一部を割いて處水方面に增援し、戰況進展と共に海軍の協力を急務とするので國民政府は第一艦隊司令陳季良に出動命令を下し、陳は部下艦隊を率ゐて三十一日午前六時福建方面に出動することゝなつたが、中央側では一週間內に福州占領の可能性ありと豪語してゐる

あすの天氣(1)

豫報 晴

卅一日 正午零下七、二(最)

三十日 最低零下五、五(最)

新政府解消?

西南派大同團結へ

蔣、蔡兩氏の決意說

【香港卅日發聯合】支那側ホンコン來電によると、蔣光鼐、蔡廷鍇兩氏は十八日代表を廣東に派し西南派と協議の結果蔣蔡兩氏の獨斷に從ひ兩氏の名で人民政府取消通電を發し解散機關を李濟深に下野を勸告すべしと傳へられてゐる、右の眞偽は全然判明せぬが、漸く不利となりつゝある閩側の狀勢を考慮し西南派の大同團結を圖るため、一時成立たる人民政府の取消を決意するに至つたものでないかと察せらる

滿鐵改組案

今議會に提出は不可能

陸軍も對策に惱む

【東京電話】陸軍中央部では關東軍から派附された滿鐵改組現地案について大體一通り檢討が終了したが、現地案は改組に關する大綱ともいふべきもので、更に中央部において十分審議を要しこれが最後案を得るまでに相當長時日を要するため、改組に關する法律案は今期議會に提出することは到底不可能と見られるに至つた、これに對し關東軍は改組案の決定が遲延する場合監督機に關する問題だけでも決定せしめたい旨重ねて中央部に意見を具申して來てゐる、しかし改組案に對し中央部滿鐵各方面の反對が相當强烈であるため、陸軍中央部は今後の解決方法について苦慮しつゝあるが、明春匆々小磯關東軍參謀長が上京する豫定であるから關東軍の意向を質した上、改組案に對する今後の陸軍の態度を決定すると見られる

謹賀新年 宇垣一成

謹賀新年 今井田清德

謹賀新年

雄基西四軒町二二二 建具、家具、硝子 大森雄基支店 電話一〇六番 本店 釜山

雄基憲兵分遣隊長 岩田作十郎

雄基新町 土地建物賣買並金融賣借仲介業 日ノ出商會 橫山峰太郎 電話四一番

雄基本町 御旅館 森本旅館 電話一六五番

飯野商事株式會社 雄基出張所 電話一〇六番

雄基郵便局 出張所 職員一同

雄基本町 牛角、食料品、雜貨 各種消耗品 外田古之助商店 電話三〇九番

雄基新町 土木建築設計施工監督 飯塚工務所 電話三四一番(取次)

雄基本町 吉岡旅館 吉岡重太郎 電話一六六番

雄基新町 酒造業 雜貨 松尾利右衛門商店 電話三四〇番

雄基西町 海陸物產委託貿易問屋 尾形出張店 電話四七一番

雄基本町 貴金屬時計金銀細工 古瀬正男商店

雄基家畜組合長 正田茂一

森林保護區主任 櫻井省吾

雄基新町 銘茶食料品雜貨 大江商店 電話三二番

雄基本町 時計眼鏡ラヂオ 福永商店 電話三〇三番

郁文堂本店 京城府明治町二丁目 電話本局一七五番

石炭 薪炭 三笠商會 京城府岡崎町 電話龍山一〇五三 一二七番

印版 吉谷山陽堂 京城府明治町二丁目 電話本局三七〇三番

日本紙業會社 京城支店 京城府南大門通三丁目 電話本局 三一五番 四〇五番 三七一六番

京城自動車販賣者協會

大正生命保險會社京城支部

日本教育保險京城支部

本町二丁目 樂器 釘本樂器店 金物 釘本本店 電話本局 四五 二七七 四番

株式會社 新井藥房 京城

京城公立中等學校長會

株式會社安田銀行京城支店 支店長 佐治八郎

國際通運株式會社社長 中野金次郎 東京市丸ノ內

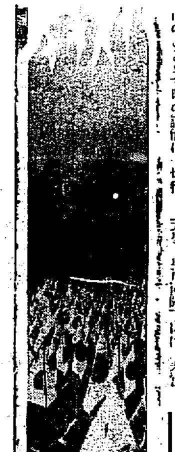
東宮さまを御中心に いと御和やかな宮中

皇后陛下廿二、三日頃御床拂ひ

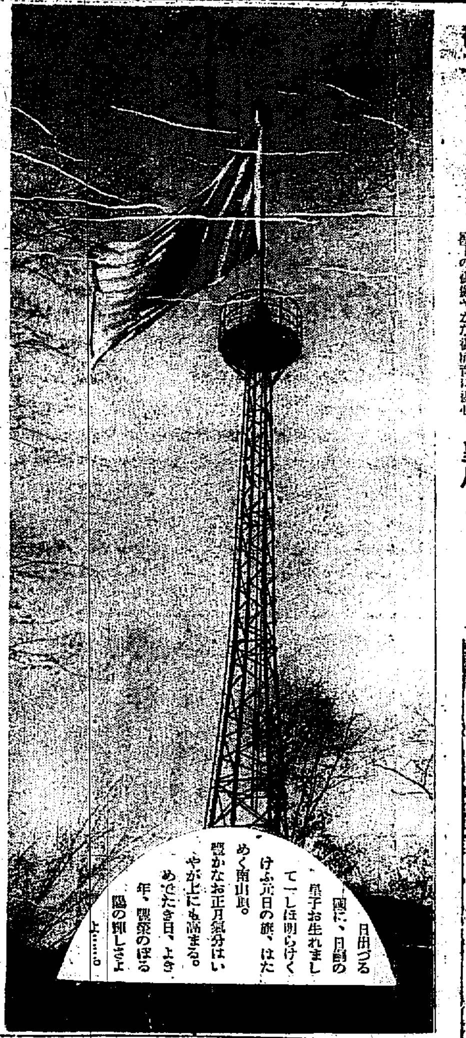
【東京電話】皇太子殿下御誕生の御儀も目出度行はせられ、御降誕後の御經過は滯りなく終へさせられ、早くも明けて御二歳の御目出度御年を迎へさせられる、東宮様の御肥立はことのほか勝れさせられ天皇陛下の御機嫌も愈よ麗しく、わけて皇后陛下には皇太子殿下の御健やかな御成育に御心を注がせられ、御自ら御乳をなるべく多く授けられる御思召の御模様にて、只管御慈みあらせられると承る

皇后 陛下にはその後御經過極めて御順調にて新春二十二、三日頃には目出度御床拂を遊ばされる御豫定の由承る、かくて迎へさせられる新春は偶々御喪中のこととて例の諸儀は一切行はせられず、皇太子殿下初めての御正月は御靜かな裡に過ごさせられ

東宮 殿下を御中心に、天皇皇后兩陛下には、孝宮、順宮兩内親王様を初め、御睦まじく御和やかな新年を迎へさせられると拜察し奉る



慰問袋に！ ペルメル



日出づる國に、日嗣の皇子お生れまして一しほ明らけくけふ元日の旗、はためく南山頂。豐かなお正月氣分はいやが上にも高まる。めでたき日、よき年、觀察のぼる陽の輝しさよ 上……

遂に内地をグンと拔く 見ろ、産金王國半島

黄金突進時代の波に乘る 輝しき九年の門出

バッパドンと來りや シヤベルが千兩

産金一億萬圓を目標として躍動をはじめた朝鮮總督府では、昨年ぐんと拍車をかけた結果、第一段階である内地産金額を見事引離し、目出度皇子御降誕第一春の人氣沸き立つ唯中に、新記錄の明らかな九年を迎へた、内地の八年一月から十二月までの産金額は千三百萬グラムなのに、朝鮮は千四百萬グラムである、一年を平均して、グラム二圓五十錢の價格をとれば、内地は三千二百五十萬圓で朝鮮は三千五百萬圓差引き二百五十萬圓朝鮮産金が多く今まで内地に負けてばかりゐた半島に凱歌があがつたのだ

以上は本府鑛山課の表面に現れたものだけであるが、實際は遙かに多い開差がある、例へば制限以外に滿洲國へ密輸される金は、およそ砂金であつて

半島産 と斷定していゝ、内地には砂金といふほどの砂金がないからだ、その金額年二千萬圓は動かぬところであらう、一方鑛山鑛區數からみれば去月十九日本府調査で、昨年だけの許可總數三千三百件、稼行つまり掘つてゐるのが千四百、このうち金鑛區が千

金山と しては八百もあつて、これは内地の福岡、大阪、東京、仙臺、札幌の各鑛務署の合計數を突破してゐる、出願にいたつては、驚くべし五千百件、年々人員不足で未處理のまゝになつてゐるものが昨年分を合して一萬二千件もある、現在人員で一ヶ年の處理可能が約

千二百 件であるから、全部許可されるものとすれば今後十年かゝるわけだ、すべてに於てズバ拔けてゐる『産金』はまつたく凄い勢ひで發展してゐる、世間では主要金山表だけを見て、内地がまだ朝鮮を尻目にかけてゐるやうにいふが、主要金山は五萬圓以上のものをいふのであつて、内地のものは、それ以下のものは微々たるものなのに反し朝鮮は機械力の不足から、今日まで

五萬圓 以下の産額とされてゐたものが、昨年から投資が潤澤になり、科學操作の普及に從つて一躍主要金山になるものが陸續出してゐる、これを見ても老境期に入つた内地金山と、今や成長の最盛期にある半島金山とはお話にならぬひらきがある、なほ今月末日には、産金統計が發表されるので大いに注目されてゐる

—◇—

年産一億萬圓、こいつを掘りに三十トン貨車に積むとしたら八掛けにして一車六千四百圓だから一萬五千六百二十五車いる勘定だ、お金で算盤をはじくなら鰯鯖魚、サージン、肥料、締め粕等に加工して一千萬圓にのぼる、素晴しいぢやないか

若さを雪原へ

この正月スキー客を吸引に 鐵道局のサービス

正月のスキー客に旅客運賃の割引實施期間中鐵道局では三防峽、外金剛、迎恩、成鏡の各驛に於てスキー客のために貸スキーを行ふ大人用一臺一日三十錢小人用同二十錢である貸スキーはスキー割引往復切符を購入する時、その切符と共に貸スキーの料金を支拂ひ引換證を受取りスキー地で借るのである、温井里では一日から三日まで三日間同地スキー場でスキーの講習會を開く、右の外三防その他のスキー場でも毎日曜日に鐵道局その他より人を派して責任ある指導を行ふ、鐵道局ではスキー列車は毎土曜日に運轉するが、往復共三等寢臺の無料開放、食堂車の連結を行ふと

第二回奉祝放送 米國でも明瞭

【ニユーヨーク卅日發電通】東京中央放送局から日本時間三十一日午前七時五十分より三十分間に亘り行はれた皇太子殿下御降誕奉祝第二回對米放送はサンフランシスコのN、B、C局からアメリカ全國へ中繼放送されたが大西洋岸はアメリカ時間三十日午後五時五十分から太平洋岸は同午後二時五十分から何れも明瞭に聽え始めた、在留邦人の歡喜は勿論アメリカ人も『春雨』の東洋的なメロデーにすつかり魅せられ大好評を博した

われらが初春自慢（一）

海からも揚つた！ 跳る銀鱗凱歌

海幸の王座長箭の巻（I）

何といふ輝しい元朝だ、何といふ深みのあるお正月だ、忽然、皇太子殿下御誕生で日本國中ワッと活氣づいた感激のいゝ今年だ—おゝたまらねえ—大景氣の日本……そして、わが國のドル箱といはれる半島の新興景氣は海から—實に漁業朝鮮萬々歳の春だ、シャベルが千兩なら一網萬兩、ガツチリ四ツに組んで表看板の産金と張り合へるもの、それは海の王座長箭漁業である

鰯網の本場半島の東海岸のうちで一番景氣のいゝのは長箭だ、昨秋初漁以來網が吼けぬほどの大漁で大小百近い長箭港の漁船は晝となく夜となく船からあげられる鰯が山積され、いづれも漁業組合の突進だ、出船入船のエヤホイ〳〵の掛け聲は寄せては返す波に和して

を掬く金剛連峰の衆仙嶺や水晶山にこだまして大交響曲ともまがふばかり

—◇—

一里半もあらうか、長箭の海岸は、猫夫の空地すら無が干してある、こいつは締め粕だ、フロン・チョイ・フヨチョイと拍子をとりながら運搬するヂゲ君の一隊それを干し掛ける女人群像の布陣、全く戰爭のやうだ、郡守や、資面長の話によれば、今まで居内に引籠つてゐた、おかみさん連も動員されて、『わたしや肝の割烹などにも手を出すことになり、家族全體が勞銀をとるやうになつて何の家もおよそ借金があつたのに十二月半ばには一戸平均少なくも五十圓の貯金をしたゐたといふ、字道鰯網の自力更生を地でゆくものでなくて何であらう

—◇—

自力更生といへば長箭公立普通校ではこの空前の豐漁の波にのつて學生の自力更生を始めた、五年以上の男生徒は力わざ、女生徒は手さばきで大豐漁に締粕を造干し鯖週十五圓の收金をあげてゐる

—◇—

金の唸つてゐる長箭、新興鰯鮮のサンプルたる長箭の濱をゆけば、漁組聯合の上島理事が長靴をはいて見廻つてゐる

—どえらい景氣ですなア

—こんなとは初めてですよ、今年は締粕が七十二、三萬圓、魚油が五十六、七萬圓合計百二十萬圓を突破しませうね、水陸双方で五千人は働いてゐるでせう、漁船に供給する重油のタンク船が三ばいも入つてますぜ

—◇—

と、ニコ〳〵してゐる、天の惠といはうか氣候が妙に暖かなので、仕事がはかどる、といつても晝夜兼行でなくては處理できない、夜は百燭光が三十も點ぜられ、露天の仕事場には支那人の商店が賑いて全くの不夜城である

—◇—

四十三の漁油、締粕、サージン等の工場の林立した煙突からは濠々たる煙の示威、こんな活氣脹りつところは日本の何處にあらうか（つゞく）（寫眞は長箭の漁場、魚の山の中に立つてヂゲで運搬の就勞さ）

四温日和のお正月らしいぞ

少し位は曇つても

どうやら今の分からみると、本正月は三日間大體お天氣はよささうである、三十一日朝、低氣壓は青森東方沖に七四〇ミリ、北海道、札幌沖に小さいのがある、高氣壓は支那内陸に七七〇ミリのがあつて、東方に移動擴張して來てゐるが、今の低氣壓に關係あるものはない、しかしこの高氣壓が朝鮮を通り拔ける頃から少し曇つて來るかも知れないが大したことはあるまい、そして、四温日和の正月らしい、と仁川觀測所のお話（三十一日正午）

けふ美しく飾つて 空に舞ふ三機

朝鮮飛行學校の奉祝飛行 京城から仁川にかけて行ふ

地にたぎる奉祝氣分は空までも上昇した、朝鮮飛行學校では元日午前十一時から約一時間の豫定で京城仁川間の上空で、皇太子殿下御誕生奉祝飛行を行ふことになつた飛行はサルムソン二型機三機で、國旗とテープで機體を飾る、この種かな飛行は朝鮮では始めてみるもので、當日の操縱士は愼鏞琪、時田武明兩一等飛行士である

首相暗殺者に仇討ち一發

遺骸出發の際にも停車場に爆彈を投下

【ブカレスト卅日發電通】デュカ首相暗殺事件突發で人心不安の折柄本日デュカ首相の遺骸を乘せた列車がブカレストに向けシナイヤ停車場を發車せんとした瞬間停車場構内で大音響と共に爆彈破裂し死傷一名負傷を出した犯人ありシナイヤの人心は恟々としてゐる

【ブカレスト三十日發電通】デュカ首相暗殺の重大犯人自稱コンスタン・テネスクを監禁中のシナイヤ監獄署は署内に何人も立ち入らしめず嚴重に犯人監視中の所、故デュカ首相の義兄弟に當るラヅ・ボリツ氏は本日特に許され入署を機會に看守の隙を見て突然犯人コンスタンに向けピストルを發射し故首相の恨みを晴さんとしたが彈丸は外れてコンスタンは危く助かつたこのためシナイヤ警察署は一層内外の警戒を嚴重にしてゐる

【ブカレスト卅日發電通】ルーマニア政府は本日の閣議に於てデュカ首相暗殺事件の善後策を協議した結果全國に向け戒嚴令を布告すると同時に新聞の報道に嚴重なる檢閲を加へることに決定した

アイアンガード 黨員檢擧

【ブカレスト卅日發電通】當地當局はデュカ首相暗殺事件の黑幕はアイアン・ガード黨との目星をつけ既に同黨員數十名を逮捕したが更に活動の結果同黨首領ゼリア・コドリヤヌス氏並にカンタクヒノ將軍を逮捕した

東宮さまに奉仕する

明朗な近代女性清原滋子さん

東宮様に奉仕する保姆の光榮に浴した中野區上町通六の九曾計檢査院前原恵次郎氏の長女清原滋子さん（一九）は、既報の如く昭和六年四月東京府立第三高女を卒業後、女子師範保育部に學んだ明朗な近代女性、保育部の先生の推薦により今回光榮に浴する事となつた

かぜなら日東カゼ薬

旅客飛行機墜落し 十人無殘の死

ベルギーのロイシレド附近 英白間連絡機慘事

【ロンドン卅日發電通】インペリアル・エアーウエーズ會社の英白間連絡の白英旅客機は、本日ブラッセルよりクロイドンに向け飛行中、午後一時頃、ベルギーのロイシレド附近にて墜落し、旅客乘組員計十名は無殘の慘死を遂げた

【ブラッセル三十日發電通】英白間連絡旅客機は、三十日午後一時頃ベルギーロイトシレド附近で墜落した、旅客八名、乘組員二名計十名は生存者なき模様

娘白浪御用だ

交番前を通つて發覺

暮れに躍る女白浪！、卅一日午前九時京城府壽町三九番地飛永氏方の家人が買物に行つて留守中窓戸の錠をこぢあけ奥の一室にしのびこみ、現金七十五圓入りの財布を竊取逃走した犯人あり、東小門派出所員が警戒中の處、午前十時半同派出所附近を徘徊する妙齢の朝鮮婦人あり、取調べた結果、住所不定李某（二〇）といひ懷中に七十五圓を所持して居り前記飛永方の竊盜犯人なる旨を自供した

消防出初

六日に行ふ

男伊達の華とまで謳はれた正月の消防出初式は一月六日午前十時から訓練院廣場で竹内警察部長の臨檢に初まり勇壯な分列式、梯子乘、模擬火災等例年の通り行ふ、式後例の練廻によつて行ふ梯子乘りで町廻りは昭和七年四月の消防制度改正によつて祝儀を受けないことに決定したので、一般でも心附けをせぬ樣にされたいと

永井大使ら微傷

【ベルリン卅日發電通】永井駐獨大使並に藤井參事官は本日自動車にてポツレム通りを進行中自動車の車輪が滑つたはずみに兩氏とも頭部に微傷を負ふた

正月客で賑ふ

京城驛の暮れ

樂しい正月の嬉しい旅行—、去る廿八日の御用納め以來ドットとふへた一家連の朗かな旅、京城驛のきのふはこれは又すばらしい賑やかさだ、正月三日間の休みを利用して都會の塵を暖かい湯の温泉で洗ふべく

遠くは未乙 東萊へ、近くは温陽、白川等の温泉に行く京城人の喜びに溢れた顏が京城驛構内を埋めた、卅、卅一の兩夜の釜山行列車の二、三等寢臺は何れも滿員で驛員は何れも難手古舞、一方健康な冬のスポーツマンは金剛山山麓一帶、三防附近の處女雪に

若人らしい 純情の吼を投げてスキー片手に京元線列車に乘り込む人々も漸次數をましたがまだスキー列車を出すまではゆかぬらしい

池田警務局長 督勵

暮れの警戒

歳末非常警戒の三十一日午前一時から、池田警務局長は八木事務官を從へ、竹内道警察部長、戸谷本町署長等と共に午前三時半まで各署を巡視督勵した

まだ豆滿江

全結氷はせず

【羅南電話】昨年の十一月は稀有の暖かさで北鮮における普通の生活には非常に惠まれたが、豆滿江の結氷狀態は例年ならば江上徒歩の時期であるのに去る二十七日現在では、會寧郡では望洋灘渡船場は未だに氷上通行が不可能であり、鍾城では五龍河口附近、雄基では新出、防垣渡船場の間三ヶ所の上流地點、および新阿山方面には三個所が未結氷といふ報告が咸北道警察部に入つてゐた

二人强盜捕る

【清津電話】咸北會寧邑錦町洞朝鮮飴屋金考永（五五）方へ押入つた二名の强盜について會寧署で捜査中、きのふ清津府浦項洞に潜伏中の一人李明浩（二五）を清津署の應援で逮捕、今一人の金鳳石（三〇）も午後南陽驛附近を徘徊中圖們署員に逮捕された

お子供御用心

京城御成町二一四金池源氏長男匡君（一つ）チフテリヤで卅一日府立順化病院に收容された

奉祝歌會

三日正午より京城人社が京城通壽洞東拓社宅片山氏方で開く

謹賀新年

今井五介

樺太長官 今村武志 東京市牛込區中町一九

高山長幸

根津嘉一郎 東京市赤坂區青山南町六丁目

古川阪次郎 東京市澁谷區松濤町七六

藤山雷太

合同電力株式會社理事 安達房治郎 東京市牛込區河田町一九

重田勘次郎 東京市淀橋區角筈二丁目九四

衆議院議員 守屋榮夫 東京市瀧野川區西原町七四

株式會社帝國興信所代表者 守屋荒美雄（スサビヲ） 東京市牛込區矢來町一三九

須藤素 東京市外吉祥寺五六〇

皇太子殿下御誕生奉祝記念放送

鷄鳴【東天紅】

皇太子殿下の御誕生を仰ぎ奉つたわが九千萬國民は光榮ある感激と壽祝の歡喜に包まれつゝ輝やかしい昭和九年の新春元旦を迎へ瑞氣全四海にあふれていやが上にも晴れ晴れしい。この光輝ある元旦にあたり東の天白出づるとき『東天紅』の鳴き聲はAKスタヂオより第一放送にて、**午前五時三十分より十分間**全國に放送されるものである

出雲大社初詣で實況　朝六時
官幣大社出雲大社神域より中繼

八雲立つ出雲の國の大社（おうやしろ）即ち神代の昔、草昧なる我國土を開かれた祖神大國主命を祀る出雲大社は出雲風土記の『國引き』の神話を殘す島根半島の西端、信者と共ひ遠る宇迦の神山八雲山麓にあつて富麗正に萬五千坪に亘る神域の中央に神代其儘の手法『大社造り』として三百五十間の荒垣の中に巖津岩根に宮柱太く高さ八丈の宮殿は素鵞川、吉野川のせゝらぎを左右に鶴山龜山の千古の翠微を背ろに氷木高く雲を呼んでそゝり立つて居ります

此宮殿は天孫御降臨に際して大國主命が御長子の事代主命（惠比須様）と神議りに議られ、多年拓撫經營になつた國土を潔よく天孫に奉獻されたので天照大御神は深く其御忠誠を御嘉み遊ばして高天ヶ原の天の御舍と同一の宮居を諸神に命じて御造營になつたもので上古に於ては高さ三十二丈中古は十六丈、現在は人皇三十七代齊明天皇の御宇に御制定になつた高さ八丈、方六間の宮殿で上古の宮制に比しては縮小されてはありますがなほ文字通り日本第一の大社殿であります

管絃樂
日本放送交響樂團　指揮　平野主水

一、祝典序曲ヘンデル作曲

ヘンデルは今から約二百五十年程前にドイツで生れ、その生涯の大半は英國で送つた大作曲家である。この曲は限り無い慶祝の意を表はした莊嚴な序曲で、まづ重々しく且力強い序奏にはじまりやがて快速な部分に入る。總體に美しい旋律に充ちた瑞氣漲る作品である

二、交響曲第十一番『軍隊』ハイドン作曲

ハイドンは百曲に近い交響曲を遺して居るが、その内十二曲のいはゆる『サロモン交響曲集』はイギリスに滯在してゐる間に書かれハイドンの最も優れた又最も有名な交響曲は總ねこの中に含まれて居る。この『軍隊交響曲』も亦その中の一つである

謡曲 鶴龜　觀世左近

シテサシ「夫青陽の春になれば、四季の節會の事はじめ地「不老門にて日月の、ひかりを天子の叡覽にて、シテ「百官卿相に至るまで袖をつらね踵をついで地「其數一億百餘人シテ「拜をすゝむる萬戸の聲地「一同に拜するその音はシテ「天に響きて夥し「おびたゞし欣へ庭の砂は金銀の、〳〵、玉をつらねて敷砂の、五百重の錦や瑠璃の扉、硨磲の行桁瑪瑙の橋、池の汀の鶴龜は、蓬萊山もよそならず君のめぐみぞ有難き、〳〵。ワキ詞へいかに奏聞申すべき事の候、毎年の嘉例の如く、鶴龜を舞はせられ、其後月宮殿にて舞樂を奏せられうずるにて候シテ詞へともかくもはからひ候へ地へ鶴は萬年の齡を經、龜も千代をやかさぬらん、千代のためしの數々に、〳〵、何を引かまし姫小松の、緑の龜も舞ひ遊べば、丹頂の鶴も一千年の、齡を君に授け奉り、庭上に參向申しければ、君も御感の餘りにや、舞樂を奏して舞ひ給ふ（樂）月宮殿の白衣の袂、月宮殿の白衣の袂の色々妙なる花の袖、秋は時雨の紅葉の羽袖、冬は冴えさへ行く雪の袂をひるがへす衣も薄紫の、雲の上人の舞樂の聲々に、霓裳羽衣の曲をなせば、山河草木國土ゆたかに、千代萬代と舞ひ給へば、官人駕輿丁御輿を早め、君の齡も長生殿に、〳〵、還御なるこそめでたけれ

尺八合調
◇午後六時二五分◇　都山流京城幹部會員

一、若葉

風薫る若葉の靜かに艶麗たる氣分を二部合奏曲を以て表現したもので曲調は終始生氣に滿ち明るく朗らかに稀に見る樂曲であります

二、朝絲

朝絲は晴れわたりたる大空の氣分、天空海闊の情趣を表現せるもので、曲調爽快頗る明朗なるものであります

ラヂオ・ドラマ　寶船
午後二時二十分　花柳章太郎　河合武雄　喜多村緑郎

主人公が年頭に無盡が籤で當つたので、すつかり氣が大きくなつて、弟分達を多勢引連れて其處等のある小料理屋で鱈腹振舞ひをやつて居る。酒・酒が廻り各自の一寸とした陽氣な酒盛しが始まり、お開きとなり、いゝ御機嫌に醉ぱらつた主人公を友達が介抱しながら歸つてくる。主人公の隣の家では其の家の子供に、近所の子供が集まつていろは歌留多を取つてゐるので、主人公の女房が羨ましさうに見てゐる。夕方近く隣の亭主が歸つて來て子供等を歸し、自分は湯へ行く、其處に主人公が歸つて來て、他あいなく寢込んでしまふ。主人公はこゝで夢を見る、寶船が最初隣の家へ漕ぎつけられる、亭主は悦んで寶を授けてくれと頼むと慾が深いといはれ主人公の家の方へ寶船は行つてしまつて其處に寢下す。最後に主人公は大歡迎の酒宴となり、最後に主人公の夢がさめる。この話を女房にするとそれは逆夢だ、隣の主人はつまり三人の子供があるに其上に寶を望んだから慾深だといつたのだといふ。主人公は寢へ込む、お寶屋の聲が聞える、吉い初夢を見やうとお寶を買ふ……

箏曲　明治松竹梅
◇午後二時半◇　菊仲米秋外

前弾　風の音は、靜まりはてゝ千代をよばふ、田鶴が高し峰の松に、みどり深き、樂しき御代の、初めの聲を聞けや、此上に、幾千代ふりそふ壽ならん、たかむら霞成りまさりつゝ立ち昇る。年の經に梅の花、實にほころびん年の始に、新玉の、年の始の梅の花、見る我さへに微笑まれつゝ新しき、年の祝ぎ言ひかはし、袖にもかゝる梅の初花。

けふの番組　一日（月）

第一放送
【四方拜】

午前五時三〇分（東）鷄鳴
同六時（松江）出雲大社初詣實況　―官幣大社出雲大社神域より中繼―
同六時三〇分（東）ラヂオ體操
同七時五分（東）吹奏樂　一、君が代　二、初春の前奏と行進曲『日出づる國』（山田耕作々曲）　陸軍戸山學校軍樂隊　指揮者　岡田國一
同七時三〇分　初宮（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、廣島、熊本）
同八時二〇分　年頭の辭　朝鮮放送協會理事長　保坂久松
同八時三〇分　年頭の挨拶　京城府尹　伊達四雄
同九時三〇分（東）奉祝唱歌　一、年の始に　二、君が代　女子放送合唱團
同一〇時（東）謡曲　鶴龜　シテ　觀世左近　ワキ　中島通夫　地謡　觀世左近　同　中島通夫　同　鵜澤寅次　同　…　笛　一噌又六郎　大鼓　高安道喜　小鼓　北村一郎　太鼓　金春惣右衛門
同一〇時三〇分（東）講演　國務總理　齋藤實
同一一時三〇分　滿洲より　關東軍司令官　陸軍大將　菱刈隆
▲正午（東）時報、今日のプログラム發表
▲午後〇時五分　氣象通報
同〇時三〇分　ニュース
同〇時五〇分（東）管絃樂　日本放送交響樂團　指揮　平野主水
一、祝典序曲…ヘンデル作曲　二、交響曲第十一番『軍隊』…ハイドン作曲　第一樂章アダヂオ・アレグロ　第二樂章アレグレット　第三樂章メヌエット　第四樂章プレスト
同一時三〇分（大）箏曲　明治松竹梅　箏　菊仲米秋　…
同一時五〇分（名）萬歳　一、御園舞　二、三曲萬歳
午後二時二〇分（東）ラヂオドラマ　寶船
主人…花柳章太郎　其妻…英太郎　隣人…小堀誠　其妻…村田式部　主人の友人…大矢市次郎　主人の弟分…村田正雄　同…伊志井寛　同…若宮里榮　横町の師匠…川島根吉　同内弟子…若宮　大黒さま…喜多村緑郎　惠比壽さま…梅島昇　毘沙門さま…菊波正之助　弁天さま…河合武雄　布袋さま…小堀誠　福祿壽…伊志井寛　壽老人…大東鬼城　往來の人…南一郎　同…高岡光次郎　同…吉永晋次郎　同…白河清晴
同六時（東）童話　福笑　河田　瀬戸英一　他に和洋音樂社中
同六時一〇分（東）コドモ新聞　國屋五十二
同六時二五分　尺八合調　一、若葉　二、朝絲　都山流尺八京城幹部會員
同七時　ニュース、天氣豫報
同七時三〇分（東）長唄　連獅子　唄　松永和風、松永鐵之佑、松永和十郎　三味線　杵屋勝太郎、杵屋勝吉治、杵屋勝東治　笛　梅屋竹次　小鼓　梅屋福兵衛　同　梅屋勝左
同八時（東）講演　貴族院議長公爵　近衞文麿　衆議院議長　秋田清
同八時三〇分（東）ピアノ獨奏　井上園子
一、奏鳴曲　嬰ト長調　作品一〇…　二、（イ）練習曲　變ト長調　作品一〇第五　（ロ）圓舞曲　變イ長調　作品七〇（ハ）圓舞曲　作品四二…ショパン作曲
同八時五〇分（大）舞臺劇　雙蝶々曲輪日記　拐摸八幡の里引窓の場
配役　南與兵衞（後に南方十次兵衞）…中村雀右衞門　濡髮長五郎…中村霞仙　平岡丹平…市川箱登羅　三原傳造…市村

第二放送

午前一〇・〇〇　君が代　水下福公會
同一〇・一五　挨拶　林榮喆
同一〇・五〇　歌詞　申花仙
午後〇・一〇　レコード音樂
同一・一〇　ハーモニカ二重奏　金聖福
同六・〇〇　講演　祖建澄
同六・二五　皇太子殿下御誕生奉祝記念講演
同七・七三〇　武寧之曲　李仲三
同八・〇〇　レコード
同八・二〇（東）ピアノ獨奏
同八・五〇　レコード
同九・〇〇　唱歌謡　朱國香

二日番組（火）
皇太子殿下御誕生奉祝記念（第五日）

第一放送

正午　時報、今日のプログラム發表
午後〇時五分　氣象通報
同〇時三〇分　ニュース
同〇時三〇分（東）放送舞劇　若き妻――一昇漁人の作――出演　伏見屋の店前
配役　伏見屋主人寳屋子助…曾我廼家蝶六　才助の後妻お勝…曾我廼家五郎　伏見屋親戚伊助…曾我廼家蝶蝶　正兵衞の娘お豊…曾我廼家明蝶　才助の息子仲太郎…曾我廼家一二三　鳴物連中…曾我廼家五郎
同一時五〇分（東）新日本樂　一、日月二題　宮城道雄作曲　…
二、春の訪れ　宮城道雄作曲
三、小鳥の歌　宮城道雄作曲
同二時二〇分（東）新講談　日本　伊藤痴遊
同六時（大）講演　法學博士　下村宏
同六時二〇分（東）コドモの新聞　國屋五十二
同六時三五分　ヴァイオリン獨奏　ファンタジー・アパッショナータ…ヴィユータン作曲　第一樂章　アレグロ・モデラート　第二樂章　ラルゴ　第三樂章　フイナーレ・サルタレラ　ヴァイオリン　上野久子　ピアノ　T・B・ストデニー
同七時　ニュース、天氣豫報
同七時三〇分（東）お祝ひの言葉（東京、札幌、仙台、名古屋、廣島、熊本、大阪）　奉祝少年少女の夕
同八時
同九時三〇分（東）時報、氣象通報、翌日のプログラム發表

第二放送

午後〇時五〇分　京城音頭　李命山
同一時一〇分　俗謡　歌劇　趙南仙
同六時二五分　新春講演（一）　宋　國禹
同七時三〇分　皇太子殿下御誕生奉祝記念講演
同八時　流行歌　姿石燕
同八時三〇分　伽倻琴散調と併唱　金銀子　申白南
同九時　講談

演藝案内

大正館　（松竹直營）本町二丁目
一月元日より三日まで特別封切新春超特作興行
松竹蒲田超特作映畫　大滿蒙　監修　村田實　編輯　…
正義の…名士參加…超特作
…

浪花館
三十一日封切　新年超特別大興行
…
大ユナイト超特作全發聲日本版　海賊　全八卷

京城演藝館
猛獸實寫　ボンゴ
アフリカ・ジャングルに於ける…
三原は晴れて　…
小唄映畫　人氣者

中央館
新興キネマ專門封切館
一月一日封切（四日間）
風雲　第一篇
青春街　全十二卷
越後獅子の兄弟　全十卷

團成社
嬉しい頃
初陣
私重役様よ　一卷
男子職はざるべからず

京龍館
鳴子八天狗
時代劇　代隊
水郷の唄
女性キャングの嘆

朝日座
暗黑街の顔役　全十卷
彼女のイット　全八卷
樋口次郎　春日新九郎　小川隆

東亞倶樂部
風流やくざ節

喜樂館
東京祭
滿洲行進曲
上洲長脇差
罪になるまで
近藤勇
熊本城總攻撃
母鼠小僧次郎吉

鮮航同盟會仁川支部
大阪商船定期出帆
北鮮阪神（門司経由）急行
北鮮臺灣行
大連内地直行
門司基隆直行
大阪商船株式會社仁川支店　電話長二一〇番

北鮮運輸會社　釜山商船組

阿波共同汽船仁川出帆
威海衛、芝罘、大連行　利通號
威海衛、芝罘、大連行　共同丸
鎭南浦、大連、天津行　長山丸

朝鮮郵船定期出帆
代理店　野口商會　電話二四番・一七三〇

仁川出帆豫定
阪神　京　城　丸　十二月廿九日
…

名古屋行
大阪行
敦賀行
伏木七尾行
浦鹽行
注文津行
鹿兒島行
上海青島行
青島大連行

日本郵船定期出帆

朝鮮郵船株式會社
京城南大門通り五ノ一

朝鮮汽船出帆廣告
仁川出帆
釜山出帆

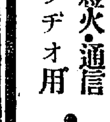
木浦出帆
釜山出帆
仁川出帆
鎭南浦出帆

天下一品

萬

謹賀新年

キッコーマン醤油
マンジョウ味淋
釀造元
野田醤油株式會社
本社　千葉縣野田町



燈火・通信
ラヂオ用
ナショナル乾電池
松下電器製作所

スモカは主として喫煙家の歯磨です故にスモカを使へば歯の黒いヤニがむき取れます　そして喫煙家ならずとも誰もの歯を純な白さに輝かします　スモカは過度の喫煙から來る口中の荒れ臭ひ！食慾の不進！それを防いで口腔を常に正しい状態に置きます　スモカの粉末には適度の潤ひを與へてあります　それは無駄な散亂を防ぐためです　一人一罐の使用量は約一ケ月強　それ以上の消費は濫費です！

非常時未だ去らず
擧國更張の要益々切

協戮邁往を望む
春光熙々たる新天地へ
内閣總理大臣 齋藤實

我帝國は昨年國際聯盟脱退の止むを得ざるに至つた、その聯盟脱退せられたる詔書に『方今列國は稀有の世變に際會し帝國亦非常の時艱に遭遇す』と仰せられた、列國の世態は尚往落着く所迄行かず、帝國の時艱も未だ解消せられずしてこゝに新に年を迎へ、擧國更張の要、年と共に益々切なるを感ぜざるを得ない。

帝國が昨年所信を中外に宣明して國際聯盟を脱退してより、帝國の一擧一動は列國注視の焦點となり、國際關係に於て前途大に寄慮すべきものあると共に、内に於ける時局の收拾は漸く其の緒に就きたりと雖も未だ充分その効を擧ぐるに至らず打ち續きたる財界の不況は未だ完全に克服せられず人心の不安も亦未だ一掃せられざるものあつて實に多事の年を送つて多難の年を迎へるのであるが、今日に於ける多事多難は決して悲觀すべき多事多難にあらずして寧ろ前途に希望を繫ぐべき國力飛躍途上の難關であり、國民更生路上の一障害に過ぎないと思ふ、この難關を突破しこの障害を除却し去れば、絶既すべき前途は其の前に展開せらるべきである。

今の時は絶望に消沈すべき時でもなく悲觀に慈傷すべき時でもない、希望に輝き歡悅に滿ちて進むべき時である、唯この際國民に望む所は目前の艱苦に蹉跌し、一時の風潮に雷同することなく、徐ろに心を國家の大局と其の永遠性とに潜め、醇乎中正の大道を辿つて一致協戮し質實剛健の氣風を振起して勇往邁進し、以て苦に耐へ難きに忍びて、この艱難を打開し帝國の隆昌に一歩を進むることである

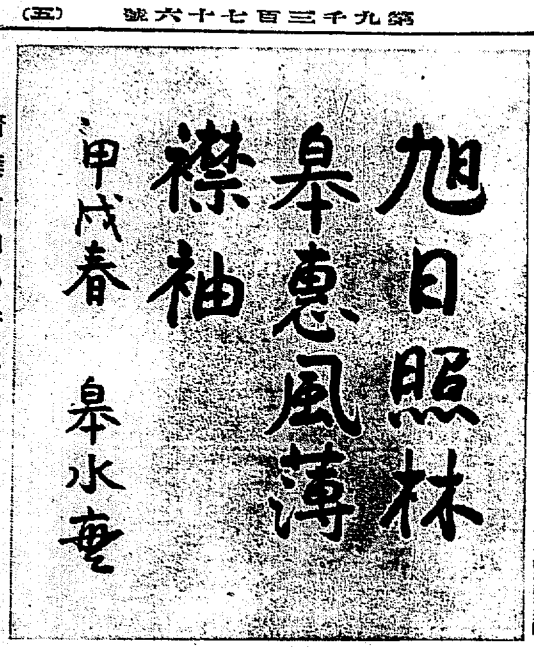
蓋し協戮邁往以てこの世局に處すべきは國際聯盟脱退に際する詔書に於て國民に敎示し給ふ所であつて、協戮せずんば擧國一致の實擧らず、擧國一致の實擧らずんば國運の發展得て期し難く、邁往せずんば難關は突破し難く、難關を突破せずんば國力の增進も亦期することは出來ない、此の協戮と邁往とは現下の國民が進んで常に服膺して怠るべからざる金科であり、玉條である

惟ふに建國以來三千年我帝國が獨り世界各國の興亡盛衰を示ぬる中に毅然として興隆し來つたものは、皇祖皇宗より繼承し給へる歷代聖德の致す所たるは申す迄もないが、又實に吾々國民の祖先が私を棄てゝ公に就きたる協戮の精神と易きを貪らずして難きに堪へたる邁往の意氣とに依るものなることを忘却することは出來ない。吾々は實にその子孫として生を此の世にうけ來たのである、此の祖先より傳承し來れる精神と意氣とをもつてこの時艱を克服し、更に前途の隆昌を計るべきは吾々に與へられたる任務ではないか——今月は希くば『衆庶各其の業務に淬勵し嚮ふ所正を履み行ふ所中を執り』の聖旨を奉體し、協戮邁往克く熙々たる天地を開かれんことを、宮中奉拜の意を表しつゝ聊か所懐を述べて年頭の辭とす

歴史的視角から見直せよ
近視眼的興奮の列國
外務大臣 廣田弘毅

内外に各種の問題を藏しつゝ、吾人は茲に昭和第九年を迎へた、新年度に於て各國はその景氣恢復の爲又國際緊張緩和の爲前年に引續き又前年に倍加せる努力を爲すものと思はれる、今日の世界環境に於ける日本の地位の如何に重要であるかは今更敍々を用ひない所吾人は時勢に對する的確なる認識の下に、しかも平生無畏の心を失ふことなく、與へられたる使命を遂行せねばならぬ

何よりも肝要なことは我國民の道義的基礎を强化することである一國の興隆を支配するものは結局に於てその精神的訓練の高度の問題である、單に物質のみならず、一人の心天下に繫がることを思はねばならぬ、斷乎たる國家的自信、冷靜なる判斷、國際上の公明正大の精神が、今日の大事を處するに不可缺の要素であらねばならぬ、吾人は滿洲事件以後、日本を圍繞せる所の種々の誤解はその幾分は已に解消した、誤解の他の部分もやがて解消すべきことを確信する、蓋し日本は全力を擧げて滿洲國を支持したが、この日本の態度が正しかつたことは、獨立後二ヶ年間の滿洲國の實狀が有力に語つてゐる。日本はあらゆる諸國との協和を期望するが、特に隣接諸國との親善的友誼を希望する。率直に云へば近年世界各國は近視眼的興奮に屢々理性を昏まされた感がある、予はこの新たに迎へた年を徒爾ならしむることなく、眞の人類の進化過程を大觀するところの歷史的視角から見直し、世界平和の爲建設的努力をなすとが各國の指導的地位にある者の義務であると信ずる



◇齋藤首相の新年試筆◇

半島官民に望む
その特殊使命を自覺して融和結合努力されんことを
拓務大臣 永井柳太郎

昭和第九年を迎ふるに當り、謹みて聖壽の無窮を壽ぎ、國運の隆昌を祈ると共に、併せて所懐の一端を述べたいと思ふ

輓近我國の直面せる內外の難局は昨年國際聯盟脫退の通告を發してより、その非常時性に一層の拍車を加へ來つたのであるが、當時列國中には我國の眞精神を理解せざる者多く、果して我國が眞に滿洲國の獨立を擁護し、東洋平和の確保に忠實なるや否やを疑ふ風あり國民亦其の前途に迷ふなきやを危惧せられたが、畏くも天皇陛下には大詔を渙發し給ひて國際聯盟を脫退するは滿洲國の獨立を擁護せんとする眞意に發するものにして、我國は始終一貫、國際上の信義を守り、東洋平和を希求する

熱誠 を有するものなる旨を中外に宣示し、我國民が國際平和尊重の精神に基き中正の大道を履むべき聖敎を垂れ給ふた

實に我日本の抱懷する國際正義に立脚した國際平和實現の精神は炳乎たるものあり、國民の進むべき途亦自ら明かなるものあるが、而も對內外の時局は頗る重大にして眞に擧國一致興亡の決心と努力とを以て對處せねばならぬ。卽ちこれを英米蘇支諸國との對外關係に就て觀るも、正常なるべき外交を阻害する幾多の重要案件は山積してその解決を俟ち、我國を圍繞する軍事的環境は我の存立の關係に缺くべからざる各般の設備を必要とし更に經濟的、通商的關係に於ては日印會商の實例に徵して明白なる如く幾多の難關に逢着しつゝあるのである。これを內に觀るに農山漁村並に中小商工業者の生活安定は、一日の猶豫を許さず、國民思想の動搖亦未だ解消するに至らざるのみならず、却て深刻たらんとするが如き狀態である。是固より我日本が近時異常の推進力を以て

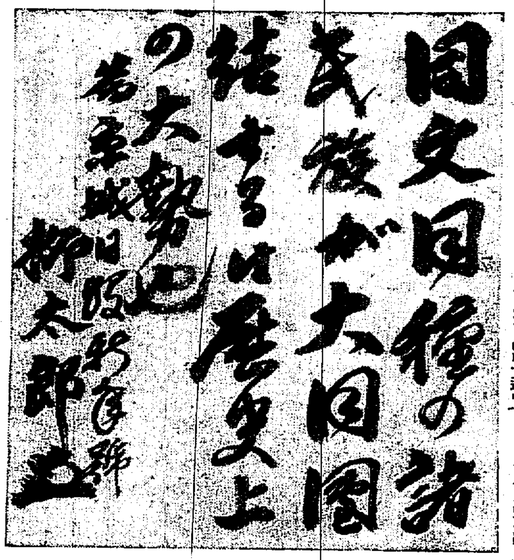
躍進 し來れる國際的地位の向上に伴ふ當然の受難にして、國家興亡の歷史に明かなる如く、新興國家に避け難き試錬であると云はねばならぬ、されば我國民は上下一致克く自己の當面せる受難の意味を理解し、國民能力總動員によつて、この難局打開に邁進せねばならぬのであるが、而もこの間に在りて予の最も力強く感ずるは、外地三千萬の同胞が克く非常時局に對する認識を正しくし深き決意を以て、內地同胞と相携へ、倶に現前に迫れる難局の受難を切り開き、以て新興日本——延いて新興亞細亞の建設に協力せんとする事である。近年に於ける各外地の治安は未だ嘗つて見ざる靜謐の狀態を示し、又各地域とも經濟狀況を克服せんとする更生運動旺盛にして顯著なる成績を擧げ、內外兩地同胞の融和亦一層の度を增し來つた事は全く外地同胞の時勢の進運に對する正しき認識と深き決意との表現であり、予の以て

欣快 とするところである、[illegible]內地外地間の依存關係は年と共に愈々緊密化し來り、統治の各部門に亘り密接なる連絡協調を保持せざるを得ざること論を俟たざるところであるが、現下國際經濟情勢の逼迫に對處すべき諸般の經濟政策は殊に其の[illegible]ものあり、資源開發の重要國策の如きも、今や內地外地相通じ綜合的に樹立せられつゝある現狀である、日滿間に介在せる朝鮮、關東州や、對支關係に於ける臺灣や、對蘇關係に於ける樺太や、將又我國南面の守りとして海の生命線たる南洋群島や、これら各外地は唯に經濟上のみでなく外交上にも極めて重要なる特殊使命を有するのであつて、予は外地の官民が克くその負擔せる重大使命を自覺し、その遂行の爲めに融和結合して、一層精勵努力せられんことを切望するのである

建國 第三年を迎へんとする滿洲帝國が着々其の建國の大業を完成しつゝあることは、東洋平和確保の爲洵に慶賀措く能はざるところである。併し乍ら日本を除き滿洲國を承認したるもの未だ無き現狀に於て、對支、蘇兩國を始めとする對外關係は前途尚多くの險阻に逢遇することを覺悟せねばならぬ、殊にその健全なる發達を扶助せんとする永久不動の國策を有する我國は今後所期の目的達成のために一段の協力を必要とするは云ふを俟たぬ。更に邦人の海外進出が農村經濟の疲弊、人口過剩、失業增加等行詰れる我國社會、經濟の現狀打開策として極めて有效にして、延ひて帝國々運の興隆と世界新文化の建設とに寄與すること甚大なるものあるは敢て喋說を要せぬ

我拓務省は海外進展の重大なる使命あるに鑑み、內外に亘り移殖民並に海外拓殖事業の

發展 に對し保護指導と助成獎勵に努めたる結果、現下我國に不利なる國際關係の下に於て尙且近時著しく移民の數增加し、滿洲、南洋南米各方面に年々數萬を算する邦人が進出しつゝあるは誠に快心に堪へない、諸外國中には、我國の商品に對し又移民に對し、その門戸を閉さんとする者少からざるに拘らず、獨り南米諸國が我國の立場を理解し、その大沃土と大寶源とを邦人移民のために開放せることは、予の感謝を禁ぜざる所である、予は我國民が克く建國の大精神に徹し大乘的信念の下に外邦諸民族と相携へて天與の惠澤を共にし、世界人類の福祉と其の文化の增進に貢獻せんことを企圖するに於ては海外進展の前途實に洋々たるものあるを信ずるのである



永井拓相の試筆

資本
正しく作り正しく使へ
大藏大臣 高橋是清

近年資本家に對し、とかく攻擊の批評を耳にし、或は攻擊の聲を聞くこともあるが、抑も資本家は斯く排擊すべきものなりやといふに、勿論『否』と答へざるを得ない、いふまでもなく資本とは生產の爲めに必要なる機械、器具、又は資料等の部名であつて、これなくて今日の文明世界では生產は不可能であると申して差支ない、未開の時代にありても例へば獵人が狩獵をなすに當り弓矢を利用するとせざるとは、其結果の上に雲泥の差を來すのであつて弓矢は彼等に取りての資本に外ならない、而して最初この弓矢をつくるにはその出來上るまでの間の食糧を貯蓄せねばならないのであつて資本の發生には先づ消費する以上に生產して其一部を貯蓄するといふことが必要である、斯くて社會の進步發達と共にその貯蓄が漸次增大し又其資本の形式も漸次複雜化し、强大化し來るのは必然であつて、若し此資本の所有を排擊せんか貯蓄は消滅し、社會は野蠻時代に逆轉するの外ないのである

然らば何故に近時反資本的言論が盛んなるに至りたるやといふに第一には從來資本のつくり方に誤れるものがあるからである、第二にはそのつくり上げたる資本の使ひ方が惡かつたためである。故に將來世人は正しくこの資本をつくり又正しくこれを使用することを忘れてはならないのである、而して正しくこれを作るには自己の勞に依りて生產したるそのもの〻一部を將來のために蓄積することであつて、決して他人を欺取し又は不正手段を以て取得したものであつてはならぬ、又正しく之を使ふには專ら自己の利慾の爲めにするにあらずして、共存共榮を念として社會國家の爲めに使用し增殖することを心掛けねばならぬ、各人がこの心掛けを以て怠らざれば何人も他の非難を招かず又何人も敢て其の資本を所有することを得て勞資の爭闘、階級鬪爭等は消散し人生は自然の樂土となり得るのである

我國建國以來の皇道政治の御精神は 天皇御自身親ら國民の苦樂を考へさせ給はずして、民の苦樂を以て其大御心となし給ひたることであつて是れ世界無比の尊き政治の神髓であつたのである、されば總ての人をして恒產あらしめ、依りて以て人生に平和と歡樂とを招來せしむること、是れ皇道政治を徹底する所以の途であると思ふ、昭和九年の新春を迎ふるに當り一言所信を述べて諸君の御健康を祝する次第である

農山漁村に
殘された問題
農林大臣 後藤文夫

顧みれば昭和八年は內外共に實に多事多難なる一年であつた。數年に亘る經濟不況が國民の眞摯なる協力に依り、昭和八年を迎へて稍好轉の機運に向ひつゝありし時期に際會し、偶々滿洲事變に對する國際聯盟の態度は不幸にして、我國をして遂に聯盟を脫するを餘儀なくせしむるに至らしめた。この未曾有の時期に遭遇し、畏くも大詔を渙發せられ、國民の嚮ふべき途を明にし給ふた 聖恩の程洵に恐懼に堪へない、大詔の示し給ふ所に遵ひ、政府に於ても官民協力深く思を內外の形勢にめぐらし、各般の方策につき遂進を期した、殊に農山漁村が建國以來

我國力の源泉たる に鑑み、時局に際して益々其の更生に向つて一段の努力を竭すの必要を痛感し、適切なる方策の樹立實行に努むる所があつた

卽ち應急の方策としては一昨年以來實施し來れる時局匡救農業土木事業を繼續實施し農山漁村民に引續き就勞の機會を與ふると共に農山漁村の負債を整理せしむるがためには、農山漁村民をして隣保共助の精神に則り、協同の力に依り組織的計畫的に負債整理を行はしむるの必要なるを痛感し、農村負債整理組合法を制定してその一助たらしめた、更に米價對策としては米穀法に依り米價の維持に努め來れるが尙ほ充分ならざるものあるに鑑み米穀統制法を制定し米穀統制の徹底を期する所があつたなほ昨年の未曾有の大豐作に鑑み、籾貯藏の方策の有效なるを認め

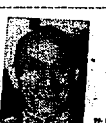
籾六百萬石を貯藏 するの計畫を樹て目下實施中である、然しながら農山漁村民の生活を安定せしめその福利を增進し、依て以て農山漁村の將來に光明を與ふるがためには啻に叙上の如き施設に止まらず、農山漁村の各個につきその根本的永遠的なる對策を樹立實行せしめねばならぬことは多言を要せざる所である。予は右の根本義に基き一昨年來農山漁村に經濟更生計畫を樹立せしめ農山漁村民の自力更生の精神を基調としてその更生に努めつゝあるが、既に更生計畫を樹立せるもの多數に上り、更に之を實行に移せるもの相當數に達するに至れるは、農山漁村民諸君の自覺と熱意ある努力の然らしめたる所と深く感銘して居る次第である。右に揭げたる諸方策の外昨年度に於ては漁業法の改正、農業動產信用法の制定、製絲業法の改正、潤澤材の關稅引上、雪害防除に關する調査機關の設置、自作農創設維持施設の擴充等につき施設する所あり、今や農山漁村に稍

更生の曙光を認め 得るに至つたのは、洵に同慶に堪へぬ所である、然しながらこの折角の機運をして一時的のものたらしめず永遠のものたらしむるは、蓋し昭和九年に於ける我々の責務であると考へるのである。我々はこゝに昭和九年を迎へて改めて農山漁村窮迫の根本原因につき深く省察する所あらねばならぬ、惟ふに近時に於ける農山漁村經濟の窮迫は內外經濟界の異常なる不況その他その因つて來る所多々あるべきも、その主要なる一因が國民經濟組織中に於ける各種農林漁業者の微弱なる經濟力にあることは多言を要せざると信ずる、この不利なる地位を不利ならしめざらんがためには農林漁業者が協同の力に依り共存共榮の精神を基調とし、自發的行の意氣を以てこれを克服するより外に適當なる方法は見出し得ない、この意味に於て產業組合その他漁村に存する各種團體の機能を擴充し、各々その本質に應ずる分野に於て相互に相提携せしめ行くことこそ、蓋し農山漁村經濟の

窮迫を打開する上 に於ける第一義なりと信ずるのである、今や時局艱難の秋に當り、農山漁村に於ける團體に於ては一層その使命を自覺し、その機能の發揮に努むると共に相互に能く聯絡協調を保ち、自頭自營農山漁村をして國民經濟組織中に確乎不拔の地歩を保持せしめんことを切望して已まぬ次第である、その他農山漁村の經濟の窮迫を緩和し、その更生を圖る上に於ては生產費の可及的遞減を圖ること最も肝要なりと信ずる、これがために肥料の統制、家畜保險、肥料の國有なる配給等につき充分なる考慮を拂ふの要あり、なほ我國輸出品中の大宗たる蠶絲に對する對策、その他の輸出農林水產物に對する對策、農山漁村負債對策、更に進んで餘剩勞力の活用を圖るがための農村工業の助長等、今後農山漁村に殘されたる重要且つ急施を要する問題は多々ある、政府に於ては能く國家財政との關係を顧慮しこれら

重要なる諸方策の [illegible]なる實施を期して居る次第である

皇道宣布の大旆を翳して
勇往邁進あるのみ
關東軍司令官 陸軍大將 菱刈隆



乾坤一轉して萬象悉く清新、しかも天業恢弘の大業は年の改まると共に愈々光輝を加へ、光輝燦として四方に洽からんとす、今更申すまでもないが、上には仁慈の皇恩が在はし、下には忠良の國民がある、而して擧國一體振る所は正の大義である、進むに何の逡巡がいらう、行ふに何の躊躇がいらう、上下一致、文武同歩、高く皇道宣布の大旆を翳して、新年も亦須らく躍進を續くべきである

顧みれば客歲秋八月、不肖隆 大命を拜して故武藤元帥の後を承け關外の任に在ること約半歲茲に新春を迎ふるに方り、建設途上の滿洲國が日に月に其の基礎を鞏固にするの狀を目擊し、欣快に堪へざるものがある

由來、建國の大業艱難多し矣、然るに新興滿洲國發展の跡を觀るに建國を宣して今尙二歲に滿たず、全邦土の統一成つて未だ一歲ならざるに、邦家の基礎既に定まる、顧みて建國精神の眞姿を偲び、之と新春共々に祝る所を叙ぶれば、一切の施設綱目を改めて其の素質里、何人と雖も此短日月に於ける國步進展の異常なるに驚くであらう

是れ畢竟、共存共榮を大理想とする眞理そのものゝ偉大性、隣邦性とこれに立脚せる日滿兩國民が、東洋の平和と人類の福祉とを招來せんとして克く提携協和の實を擧げ、不退轉の勇を鼓して克く人力の限りを致せるに依る

三月我國が滿洲國承認の一途を邁進し、斷乎として國際聯盟を脫退して以來、國際政情にも波紋があつた、向後日滿兩國が正義を把持して自主的に東洋平和の大哲理を貫かんとせば、何多くの紛糾を釀さざるべからざることも亦この際豫め覺悟を要すべきことである

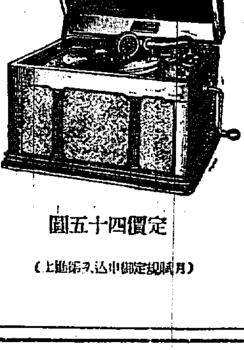
日滿兩國の消長は滿洲建國の成敗に懸り、亞細亞諸民族の興亡と東洋文化復興の如何も亦之に繫る、我國の行ふ所は正義の擁護にして日滿兩國民の福祉を增進し、進んで東亞永遠の平和を招來するにある、惟ふに何ものを以てするも帝國の堂々たる正義を抑壓するは出來ぬ、又滿洲國の福祉を蹂躙するは出來ぬ、從つて東洋平和の希求を妨害することも出來ぬ、必ずや遠からず、日滿兩國民の待望が、國際的に實現する日の到達すべきを確信する

眼瞼を乘せて年は行き、希望を抱いて年は來る、顧みて昭和九年、本年の春は築期として眼前に展開し來つた、吾等は正に勇往邁進すべきである、併し乍ら、予は、此春に當り、國に殉じたる將兵に對し、衷心敬弔の意を表すると共に、その一門の繁榮を祈り、併せて不幸なる傷病將士に對し、深く其加護自愛を祈つて已まず

コロムビアレコード 蓄音器 長期月賦販賣

新發賣

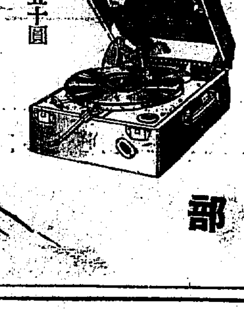
愈々出ました!!
目に耳に皆樣を恍惚とチャームする一番新しくて一番素晴らしい大衆型蓄音器



451號
定價四十五圓
(月賦規定御申込み次第進上)

新春の御團欒はコロムビア蓄音器で
コロムビア蓄音機
コロムビアレコードは
全部揃つて居る
明時堂で御用命

203號
定價三十五圓



211號
定價五十圓

レコード試聽室にはスチームの設備がありますぜひ御來聽を願ます。
正月三日間共蓄音器部は營業致します。

京城驛前 明時堂蓄音器部
電話本局二四四四番

わが世の春　（金革園主酒見氏の愛犬）

世界經濟の主潮と本邦財界

朝鮮銀行總裁　加藤敬三郎

（一）昨年六月ロンドンに於て開催された世界經濟會議は不幸にも遂に不成功に終つた。爾來世界經濟は分裂傾向を促進し、各國の經濟的對立は倍々深刻に赴き、このまゝの推移を辿らんか、世界經濟は解體し往時の鎖國時代に逆轉するを保し難き情勢にある。殊に昨年三月の米國金本位放棄は、非金本位國と金本位國との對立を激成し、延て世界經濟構成の根本的變化を避くべからざるものとした。斯くて現在の世界列强は擧げてブロック若は經濟的國家主義を國策としつゝありと雖もそれは徒に世界經濟を混亂に導くのみで、所期の効果は到底擧げられてゐない。此の間我國は、各國より排斥壓迫を受けつゝも、何等積極的に排他政策や國家主義統制を採らないが非常時產業振興に、景氣上昇に、良好なる徴候を示しつゝあるは、洵に慶ぶべきことゝ云はねばならぬ

（二）世界の通貨關係は、昨年十月末以來實施された米國政府の金買上げにより、拾收すべからざる混亂狀態に陷つた。米國の金買上は弗の減價を通じ、國內物價の引上を目的とするが、之が各國の爲替關係に影響したことは甚大である。即ち低爲替を以て諸般の經濟政策の基調とする現在に於て、弗安に基因する自國爲替の他動的騰貴は、經濟の根本を脅かされるもので、即、磅の騰貴が、日、英兩國經濟の不安となるは當然である。それは英國は、爲替平衡資金の活用により對米爲替を五弗五十仙の高値から五弗十仙臺に低下せしめ財界の惡化を防止しつゝあるが我國の對円爲替は三十一弗內外の高値に依然止り、弗建貿易の惡材料となつてゐる、弗安の影響は、佛蘭西等の金本位國に於ける金流出の激化を誘致し、金本位の維持頗困難なるが如き狀態にある。將來各國は金本位に復活すべきも、其の指導的地位にある弗自體が未だ不安定にある爲、自然各國金本位の前提たる平價切下を躊躇せしめてゐる斯くて當分は各國共に、爲替動搖の惡弊を痛感せざるを得ないのは遺憾に堪へぬ次第である

（三）新重商主義擡頭の結果世界に於ける世界貿易が現今の如く萎靡の顚倒を甘受しつゝあるは、史上稀有のことである。關稅高率化を以てする輸入制限は既に古典化し許可制、割當制がそれに代り、更に逆行して物々交易が行はれ、最近には部分的商品に絕對的輸入禁止を實行する國があり、近き將來に於て貿易の全面的國家管理が採用せられんとする傾向にある。而も今日世界の貿易界に於て攻擊の目標とせらるゝは我國の商品にして、その壓迫は次第に加重せられんとしてゐる。蓋し、我國貿易は各國の共通的萎縮の間に於て獨り伸長發展を續け、昨年の如きは輸出入共に、前年に比し三五％の增大をなし、貿易尻又良好であるからである、而して自由通商破壞行動が公然となり來れる現狀に於ては、我國の如きも相當對策が必要となるのは已むを得なき次第にして當局が貿易統制を企圖し、近く其實現を期しつゝあることは、當面の事態に適應せんとするものであらう

（四）物價方面より諸國の狀勢を見るに、積極消極の差こそあれ諸物價政策は各國共通の政策である。然るに兩三年の物價低落は生產費と物價との不均衡を招き產業不振の原因となつてゐる。高物價政策が最も顯著なるは米國にして、金買上政策、商品金融會社の新設、緊急銀行法及援業救濟法等は、其の表れであるがその物價は九月を頂上として最近は下落趨勢にある。これは棉花、小麥、砂糖等の主要商品が騰勢を停止したのに基因するものにして、延て日、英、佛等に於ける物價は十月以降轉落しつゝある、英、佛等の物價が、米國物價と步調を共にすることは、經濟機構上怪しむに足りないが、我が國の如きその例を逸はざるを得ないのは、畢竟我國經濟の好調が一部に偏倚し、輸出產業及軍需工業のみが活況を呈してゐるからである、斯かる變態現象は財政インフレーションに依つて共の調整を保たしめることが必要と思はれる

（五）最近世界に於ける景氣對策は主として之を國內的方面より規定せんとするのがその一特色となつてゐる。之は經濟的國家主義に根源するの餘り、事實に於て其目的は達成されずに居る然るに我國は積極的景氣政策を探らざるも、輸出產業と軍需工業の振興に因り、景氣上昇は本格化せんとして居る。されど對米爲替の昂騰と、各國の輸入抑壓とは農村經濟の依然たる疲弊と共に、前途最大の關心事となつて居る。斯の如く現在惡化傾向にある米佛諸國は素より、其の景氣狀勢が稍良化し來つた日英兩國と雖も、今後何等か景氣轉換の方策を要するは勿論にして、我國の如きは先づ以て對外爲替の安定化に努め、貿易の統制並其伸長を企圖し、以て產業全面の根底を培養しつゝ一般財界の好化を期すべきである

（六）翻て本邦財界の近狀を見るに昨年我國は列國環視の裡に國際聯盟脫退を敢行したが、之に依つて豫期し得る列國の經濟的壓迫は全く杞憂に過ぎなかつた。我が產業界に於ける技術の進步と其の經營の合理化と、爲替低落の武器とにより一般に生產は增加し、貿易は良化し經濟活動の範圍は擴大せられ、歐米諸國の復興遲々たるか、若は惡化趨勢にあるに比し、獨り我國のみ回復好轉の跡著しきものあるは、同慶に堪へない次第である。乍然我國經濟を仔細に觀察すれば前途必しも順調とは云ひ難い。此際宜しく農村經濟の復興を期し、一般購買力の擴頭を圖り國內產業の振興を助長し、尙各種產業の均衡的發展を企圖するは正に我國經濟の進展を確保する所以であらう。朝鮮は內地の如き好轉現象は見當らざるも、鑛業界の活況と新規工業の勃興あり、水產界は近年になき好況を呈し農村はその更生運動の進捗と窮民救濟事業の實施に伴ひ相當に經濟恢復の實を示し一般商況は貿易の良好と共に活潑となり殊に對滿貿易は未曾有の好調を擧げ、內地と共に滿洲國との連繫を計つてゐる

（七）要するに世界經濟は今や最も多事多難なる時機に遭際しつゝあるが、世界不況の克服を目的とせる世界經濟會議は何等の結果をもをさめざりしのみか、其後世界列國は却て鎖國的經濟政策を益々敢行し、爲に國際間に於けるコンフィデンスの缺乏と破壞とは殆ど其極に達し、その恢復の期を見出し難く、其の前途は混亂たるは止むを得ないが如くである。しかして我國に於ては最近に至り財界共調の好轉稍見るべきものありと雖も、前途尙より樂觀を許されない、此際我國は宜しく內外の大勢に顧慮しつゝ先づ率先して現に崩壞に委せられつゝある國際間の信賴の念を挽回するに努め、一面日滿經濟ブロックの完成を圖り、尙日支間の親善と共の通商取引の增進を企圖すると同時に、一昨年以來顯著なる發展を示し來れる東洋貿易の維持擴張に努め、一般產業の振興を謀り以て本邦經濟の健全なる發達を期すべきである

泰平の春を讃ふ

謝滿洲國外交部總長

世は泰なれや、吾が國の歡呼に酌る春なれや、茲に三歲の春を迎ふる新滿洲國は帝國日本が國運を賭しての支援と、吾等三千萬民衆の燃ゆる努力とに據つて政治に經濟に日を逐ふて躍進を續け、王道旗下將に洋々希望に充溢てる行路に立つ、君よ見給へ三十萬の匪徒は漸次剿滅し、搾取の具たる惡稅はその根跡を絕ち、民衆賴りに暢びて產業興る春なれや、吾等三千萬謳歌せざらんや、さあれ越し方幾多の犧牲を償ふ時、吾等が胸は轟にも消え、瞭として敎化に傑ひ、顧みては感激に堪へず、斯て今後の責任の重きに是れ任ず、斯て歐亞との提携彌々固く既に東洋の安寧と福祉を確保し、顧みては俱に世界の平和と人類文化の向上に貢獻せんとす望むらくは未だ滿洲國承認せざる列國の動向も推移も他に、私心の闘爭を事とし、徒らに行掛りに拘泥して將然東洋に臨るを遲疑することなり、天旋て宇內元旦を寿ぐの時同胞民族の現況正に天意に悖る、速かに來つて俱に人類生存の本義に臨はむ

川合玉堂畫伯

財界打診

朝鮮殖產銀行頭取　有賀光豊

昭和八年の我經濟界は內外多難の中にあつても比較的順調なる經過を辿つたのである。即ち對國際關係の惡化、米國の金融恐慌及金本位離脫、列國の我國に對する關稅の引上等惡材料相重つたにも拘はらず對外貿易は甚だ良好を示した世界各國の貿易が大抵萎縮し試に米、英、佛、獨諸國の八年一月から九月に至る輸出入貿易の總額を前年の同期に較ぶれば米國は二分八厘、英國は四分一厘、佛國は四分四厘、獨逸は一割二分を各減少し又輸出貿易のみに就て見るならば米國は七分、英國は一分佛國は七分五厘、獨逸は一割五分の各減退を示せる中にあつて獨り【我國】の貿易は總額に於ては三割八分、輸出のみに於ては四割四分の各增加を示して居ると言ふことは確に世界の一驚異であつたに相違ない之を要するに昭和八年の我經濟界は不況の內にも相當好轉の見るべきものがあつたのは疑ひない事實である、然らば昭和九年の財界はこの機運に乘じ一路盛況に進むであらうか、それに就ては何人も無條件に肯定は出來ないであらう、昭和九年度の歲計に於て約八億圓の公債を發行しなければならない、さうして共發行は日銀の引受によるの外ないのであるから自然インフレーションは必然の勢であり景氣の前途は樂觀して可なりと言ふ【人氣】も一部にはあるやうであるが日銀のオープン・マーケット・オペレーションは時機により引締め行はれ通貨は出來得るだけ適切に統制せらるゝであらうから騰勢に先行する投機心理を伴むべきは勿論のことである、又昭和八年下半期のみに付て見れば其輸出貿易は日本品に對する各國の關稅加重と對米爲替の急騰により前年同期に比し相當減退を示し且入超に轉換の時期を早めて居りして居る一方多少好況に向はんとする米價の低迷と生絲の暴落とにより再びその轉換を阻止せられ【農村】救濟は愈々重要問題とならんとして居る更に世界列國の狀勢を一瞥するに米國に於ては健全通貨論者とインフレーション主唱者との間に論議紛然として起つて居る狀態で同國の財界は當分動搖を繼續けそれが我國に直接間接及ぼす影響は重大である、又歐洲金本位ブロックを形成する佛蘭西、和蘭、白耳義等の諸國は輸入の激減から財政上の赤字に惱まされ獨り英國は爲替平衡資金制度を設け低爲替を維持し努めてインフレーションを避けながら昭和八年春以來その經濟狀況は相當改善の跡があるが最近の對英爲替の暴騰と米國財界の動搖とのためには必ずや相當影響を免れぬであらう、各般の狀勢が斯の樣な次第であるから昭和九年の我財界は依然【多事】多難であると考ふるが、さりとて決して悲觀するには及ばない、この際我等は非常時に對する認識を新にし內は統制ある金融その他の諸政策の下に堅實なる方針で都市と村落とを通じ金融經濟の聯絡[illegible]に專念し外は汎く海外に市場を求めて益輸出貿易の發展に努むるならば自ら景氣打開の途は拓け行くであらうと信ずるのである

輝かしい木材界の前途

最近の情勢を語る

新義州營林署長　井芹正

我國の鑛業界は對滿政策上緊密材料とされて貿易の好轉狀態と共に一般商品の騰貴、株式界の跳躍を招來するに至り、財界に對する人氣の見直しは驟て木材界をして再び好勢に轉ぜしめたがついで樺太廳半期拂下げ材削減の發表を見るや偶々樺太鐵地渴水による出材減を報ぜられて材界の前途に一層良化せしめ賣渡不冴の製材界も從來原木價の弱調に追從する傾向を剛致して秋季需要期を通し材價の保調を持續する狀態となつた翻て鮮內材界の推移を回るに如上內地材界と略その揆を一にせるものありと雖も地理的關係上滿洲國における木材の需要增加によつて蒙つた影響は特に顯著である、即ち今昭和八年一月以降十ヶ月間の朝鮮木材貿易狀況を按ずるに輸移出高の前年同期に比し倍增を示し滿洲向出荷の激增を表はせるに對し輸移入高に於て前年同期と略選擇なき狀況にあるは鮮內の需要依然進境を示して居らぬ事を示すと共に年間を通じ鮮內材界の低調を持續して來た所以は滿洲における需要增加の影響に負ふところ勘なからず從來相當多量に上つた滿洲產材の鮮內入荷を著減して鮮產材の販路に著しい進展を見たのは鮮內林業の增進上相當好影響を齎したものといへる

更に安義材界について顧みるに前期間に於ける朝鮮輸出木材の約六割が原木（枕木を除く）で占めてゐるのは鴨綠江朝鮮側筏材が原木の儘輸出された數量の多いことを表はしこれがため新義州市場の製材資材源を缺き製品の市場出廻り量に相當影響を及したが對岸安東縣でもなほ且原木が不足傾向を呈し最近樺太產原木の入荷を見る等安義材界補に見るの現象を呈し當局が非常時增產を敢行して滿洲における鐵道の施設用材を供出せることゝ共に顧みて地方材界が如何に多事であつたかを思はせる

今や內鮮木材界は不需要期に入つて商況一服の狀態にあり市價亦頓に沈滯氣配を辿つてゐるが近時材價の急速な恢復は內鮮共に用材營の增加傾向を招來し而かも國內資需の大勢はなほ著しい進境を示すに至らずして材界の動向は今後に捕捉し難いが新年度政府歲出豫算の相當膨大なるべきに徵し財界の前途を觀察し關稅及爲替相場の影響による外材の入荷傾向並に樺太廳の木材拂下方針且つは滿洲國に於ける木材需給の情勢等に思到すれば材界の前途はなほ好望視にあるものと大觀するとが出來やう

恭賀新年

坡州警察署　署長　井上己吉　後藤富三　加藤虎繁　西之園英次　邊宗鉉　吉野松行　大吉久　工藤實人　尹龍植

汶山公立普通學校　校長　成島秀吉　蘇鎭瓚　藤田敬三　李贊植　朴順明　朴命泰　李求　鮫島綾子　金慈善

汶山金融組合　理事　奥田近吾

專賣局販賣所長　妹尾留吉

京城地方法院汶山出張所　主任　伊藤强哉

坡州郡守　安聖濩
內務主任　阿部善之助
財務主任　富田榮七郎
州內面長　李錫胤
泉峴面長　盧在英
月籠面長　黃義道
臨津面長　姜漢春
津西面長　宋秉德
臨瑞面長　李承烈
坡平面長　金振協
瓦石面長　尹陽秀
靑石面長　柳炳益
廣灘面長　禹鍾湍
交河面長　宋基彪
坡州酒造組合

汶山穀物檢査所　所長　銀禎次

坡州記者團長　洪千吉

汶山小學校長　松本鶴一
坡州公普校長　久保田吉光
金村公普校長　中山義作
靑石公普校長　金永燮
本田嘉末
禹鍾麟
坡平公普校長　大塚欣一
泰日川公普校長　近田彰

汶山驛長　大石晋次郎
平山善作

金村郵便所長　野村節男

金村驛長　張鳳儀

汶山郵便所長　力武惠吉

三井物產會社汶山出張所　主任　李鍾林

普生醫院　內外科小兒科醫　李鍏九

◎金村驛前　運送店　李淙應世

臨津水利組合　迎寅記　中村辰之助

坡州郡農會　關野龜之助　中野人土

本町一丁目　文具商　篠崎商店

賀正　五大銘釀品
キッコーマン醬油
萬上マンジョウ味淋
チガミリウ醬油
美味滋養　ほまれ味噌
キッコーリウ醬油
本年も相變りませず御愛用の程を
資本金三千萬圓　釀石高六十萬石
野田醬油株式會社朝鮮出張所

京城內地人辯護士會

京城府太平通二丁目一番地
大海堂印刷株式會社
東洋オフセット印刷株式會社
電話本局二一一〇番・二三七六番・二二四〇番・二六二四番

京城府黃金町二ノ一九九
花月食堂
電話本局二一五七番

京城府長谷川町
合名會社　近澤商店

京城電氣株式會社工事委託店
黑野電氣工務所
黑野正太郎
京城府北米倉町九十三番地
電話本局一九六二番

池田病院
院長　池田季雄
清水禮三
外一同

京城府若草町通り
看板　伊豆天壽堂
電話本局一三八八番

京城郵便所長會
聯合會

京城府明治町
大原株式現物店
大原證券株式會社
電話本局四七七〇番・四七七一番・四七七二番・四七六三番

京城府本町一丁目四八番地
越田電氣商會
電話本局長一四三〇番
振替口座京城六五六七番

日本のファッショ運動と 其表裏に躍る人々

合法的革新運動には 全戰線の統一が急務

ファッショとか、ファッシズムといふと直ちに權力強化に依る獨裁政治や、革命行動を意味するかの傾向があるので、日本の愛國運動者は却つてこの語を排斥してゐるが、便宜上こゝでは、ファッショ運動は戰鬪的國家主義運動と同意語のものとして話を進める

新日本の建設へ！ 國家主義陣擴大

左翼は轉向流行時代

滿洲事變勃發以來、軍部の急進將校と提携して全國的に國家主義の大嵐を捲き起し、國家革新、新日本建設の第一線に飛び出した我國のファッショ運動は、國家改造の捨石として先驅的に敢行された血盟團事件や五・一五事件の既發事件に國際聯盟の脫退、對露、對英、對米關係の國交危機などといつた次ぎ〳〵に起る內外情勢の逼迫に刺戟されて、素晴らしい發展を示した

關西では田中國重大將を總裁とする明倫會が結成され、關東では林彌三吉中將と日本農民組合を牛耳つてゐる平野力三兩氏を中心としての皇道會や、遂くから日本主義者として雜誌日本及日本人に立籠つてゐた五百木良三、松村亮氏等と紫雲莊によつて知られてゐる橋本徹馬の國體擁護聯盟、それから深川の武部伸雄總分等の大日本薩國同盟などが生れるし、九州方面では大日本護國軍といふ純然たる軍隊組織による愛國團體が續く〳〵られるといつた具合で、地域的にも、數量的にも國家主義陣營は擴大強化された

殊に帝國主義戰爭絕對反對、萬國の勞働者團結せよと空疎な題目を國際の旗印にしてゐた無產諸團體までが、先きを爭つて日本主義の陣營に殺到し、イの一番に轉向した赤松克麿氏を始め、共產黨の佐野學、鍋山貞親等は獄中で轉向し、社大黨の麻生久、宮崎龍介、田所輝明氏等の轉向も時の問題と見られてゐる有樣であつて、正に無產戰線は轉向流行時代を現出してゐる。而も轉向の暴風は、獨り無產諸團體のみでなく自由主義の體驗者であつた學者、評論家、文壇人までが國家主義運動の波動に上つて押すな押すなの轉向振りである

一九三四年を占ふ米國大統領ルーズヴエルト

世を驚ろかした 神兵隊事件

併し財閥、特權階級、政黨を除いては、斯くの如く全面的に日本再建を基調としてのファッシズムの强行進軍が續けられてゐるにも拘らず、國家革新運動に大きな蹉跌を投じたものは昨年の夏摘發されて現に司直の手で豫審進行中の神兵隊事件であつた。事件の全貌については勿論知ることを得ないし、知つても未だ書けない譯だが、此の事件は兎も角行動的革新運動に甚大な影響を與へてゐることは事實だ、なぜならば、現在ファッショ運動の流れにある愛國團體は、大別して從來の無產黨張りの大衆運動によつて行かんとするものと、單に國粹的日本主義に止まり、國家改造についての指導精神もイデオロギーをも有しないものと、更に明確なる改造意識の下に強行運動せんとするものとがあつて、そのうちでも最も急進的であり、効果的であり、實踐的であるものは最後の強行運動だからであるが、生產黨、愛國社、神武會、大同俱樂部、全日本青年同盟はその代表的團體と言へやう

愛國團體の三躰 軍部・政黨・財閥 その內容と形態

ところで、神兵隊事件によつて頓挫した非合法の改革運動及び此の影響下に置かれる急進的革新運動は今後の展開に俟つとして、全面的に躍進してゐるファッショ運動の歸結としては、現下の國情から見て（一）軍部ファッショ、（二）政黨ファッショ、（三）財閥ファッショの何れかに突き當らざるを得ない。現に改革運動に直進してゐる愛國團體は必ず三つのうちの何れかに方向を置いてゐるからだ

第一の軍部ファッショは、軍政府の樹立又は軍の絕對支持の下にファッショ的改革を實行せんとするもので、前記の生產黨、神武會、愛國社を始め明倫會、國本社、國維新、全國大日本主義同盟、全日本青年同盟といつたやうな國家主義陣營に於ける愛國團體の大半は同一方向を示してゐる

第二の政黨ファッショは、政黨と軍部との提攜に依つて非常時國策を遂行せんとするものであつて國民同盟の中野正剛氏一派、政友會の久原房之助、中島知久平、秋田淸、津雲國利その他の諸氏が活躍して居り、平沼內閣、近衞內閣擁立派は殆んど此の一派に屬するものと見てよい

第三は財閥の自衞手段として頭策されてゐるもので財閥ファッショの形ちで現れてゐる。此の中には政界の策士として自他共に許されてゐる伊澤多喜男氏を參謀格に濱口直也、青木信光、望月圭介、山本悌二郎、山崎卓吉、次田大三郎、安達謙藏、山道襄一、藤山雷太、大倉喜七郎、其他の政友、民政、貴族院、財閥の有力者を始め、官僚、軍閥、言論界は勿論、皇道會の林彌三吉、平野增吉、同力三、林德夫、富次東洋雄、社大黨の麻生久、宮崎龍介、田所輝明、國社黨の小池四郎、山名義鶴、森百次、大根正秋といつた連中迄その渦中にある人々として囁されてゐる程であつて、各分野に亘り多くの支持者を有してゐる

斯うした今日の動向が、不動のものでないこと、客觀的情勢の變化に伴つて近衞擁立から財閥ファッショ運動へ、財閥ファッショから軍部ファッショへ轉化するが如きことは斷然ありうる譯だが、只、國政改革の危險を恐れたり、利益擁護の爲め財閥ファッショなどといふ事が果して許されるかどうか

一九三六年の危機を目指して非常時の重壓が更に倍加せんとしてゐるのに、齋藤內閣は依然スローモーションの歩みを續けて居るのだから、その反動としても國內のファッショ運動は一段の伸展を示すであらう

たゞそれと同時に新興日本の建設綱領を有たず、戰鬪的愛國團體たるの精神氣魄を缺除せるにも拘らず、國家主義全盛の風潮に乘つて來た所謂市井の暴力團や、一時的便宜主義から、國家主義の假面を冠て時局の重壓をカモフラージせんとする國際主義者達を清算せねばならない。之等の國家主義者は財閥、特權階級の番犬となり、或は共產ロシアの手先きとなつて新興日本の建設を阻害する

だが分裂主義は斷乎排擊せねばならない。合法的國家革新運動は全戰線を統一して、一つの大きな強い行進を行ふ事によつて始めて新しい次ぎの階段を築き得るのだ。ファッショ運動の明日こそ大いに期待し刮目すべきものがあらう

34年の國際舞臺に躍る獨裁五人男 その横顔を覗く

『誰か新しき葡萄酒を革嚢に盛るものあらんや』衆愚の統治と頽廢によつて、政治的無政府狀態を現出した民主政治自由競爭の名に於て生產と消費との不調和を來し、經濟的無政府狀態を醸成した資本主義、全世界は之等一切の自由主義的殘骸にお去らばを告げ、新たな社會關係を新たな獨裁政治の機構に盛らうとしてゐる。

かくして一九三四年を期して獨裁政治時代は到來した。新時代の前面に躍る五人男、曰く黑シャツ御大ムッソリーニ、曰く中歐の暴れん坊ヒトラー、曰く革新の使徒ケマル・パシャ、曰く赤い書記長スターリン、而して最後に新經革命の指導者ルーズヴエルト。

歐洲の顏役 ムッソリーニ 外交爆彈の名投手

シトロンの花咲く南の國に、ローマ帝國の再現を夢見て、ファシスト獨裁政治を布いて居るムッソリーニ首相。彼の最近に於ける活躍は愈上出て愈上目覺しい。一九三三年三月彼が提唱した四ヶ國條約は、歐羅巴主義のフランス政府の橫槍で大分骨拔きにされたとは言へ、一躍彼を『歐洲の顏役』に祭り上げるに充分であつた。ドイツ政府の脫退で一般國際軍縮會議が挽歌を奏し、歐羅が文字通り瀕死の土壇場に落ち込んだ際、ファシスト大評議會が聯盟の根本的改革を要議し、改革が出來なければ三下り半だと脅し文句を並べたのは、全歐洲の政局に大きな外交的爆彈を投じたものだ。一方『速かに我に政權を讓渡せよ、然らずんば武力を以て之を取らん』と啖呵を切つてから前後十餘年、只管強引に『鐵刀への道』を押し進めて來た彼は、いまやファシスト的國家の理想形態『組合國家』の完成に邁進しようとしてゐる。職業組合を近代的ギルドに組織化して國家の直接統制下に置くと同時に、組織化された職業組合から選出された代議員をもつて從來の下院制度に代へる。斯くして彼は完全な自主的生產統制を實現しようといふのだ『百年羊として生きんよりは一日獅子として生きるに如かず』これがファッショ王のモットーだが、彼こそは正に百年獅子として生きるものといへよう（寫眞―ムッソリーニ）

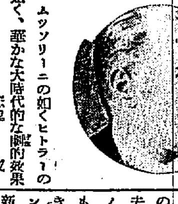
遮二無二頑張る 獨裁王ヒトラー 獨逸は何處へ行く

ファッショから出てファッショの上を行くのがナチスだ。共產黨や社會民主黨を叩き潰し、中央黨や國家黨を解消させ、全權委任法を遮二無二通過させた後の彼等は檻を出た虎の如くワイマール憲法をすつかり反古にして了つた上、軍備均等權要求が無視されたと云つて、聯盟からおん出て了つた。植民地は悉く取上げられ僅かに十萬の常備軍と敗戰の『神珍鐵棒』とを有するに過ぎぬドイツに、かゝる天下獨往の氣魄を注ぎ込んだのが、今を時めく獨裁執政アドルフ・ヒトラー氏だ。彼には該博な知識も深遠な哲理もない。彼にあるものは燃える樣な熱情だけだ。然も此の『愛國の熱情』こそ戰後疲れ切つたドイツ國民が、求めて已まぬ『一掬の淸水』ではなかつたか。ロカルノ條約もラインランドの撤兵も、陰鬱なドイツ國民に何等の慰安を與へなかつた。刻々に倍加する失業群、賠償金の重壓、『窮屈輸出』、彼等は具さに戰敗國の苦汁を甞めつゞけて來た。そこへヴエルサイユ體制の打破、ユダヤ民族の追放を叫んで現れたのがヒトラーとその一黨だ。國民の慾求を端的に且無遠慮に打ちまけた國粹社會黨の政綱を見れば、ヒトラーがドイツの救世主として全國民の歡呼裡にウイルヘルム・シュトラーセに收まり、更に去る十一月の總選擧を最後として、ナチスの一黨獨裁制を確立したのは寧ろ當然だ。『ドイツ魂』は今鬱勃の政治家アドルフ・ヒトラー氏の指導の下に、屈辱の鎖を吐き棄てゝ蹶ひ起つたのだ。然しファッショが十年で築き上げた獨裁的地位を、前後十ヶ月足らずででつち上げただけに、ナチス政權の足場は必ずしも盤石の强さを誇ることが出來ない。ドイツ國民がヴエルサイユ體制に對する外的興奮から冷めて靜かにナチス政權とその業績とを再吟味する時こそ、ヒトラーとその一黨とに取つて最も重大な危機（寫眞―ヒトラー）

ソヴエートの鐵人 ヨシフ・スターリン 第二次五年計畫の指導者

獨裁政治時代に斷然異彩を放つて居るのはソヴエート、ロシアだ。一億六千萬の人口を擁し世界陸地の六分の一を占據して、プロレタリア獨裁へ驀進する共產主義政權その牛耳を握つて居るのが、共產黨中央委員會書記長ヨシフ・スターリン氏だ。彼は『鋼鐵の人』の名に恥ぢず意志は鋼の如く堅く然も徹底實際的だ。所信を斷行するには手段を選ばぬ『力』の崇化、トロツキー、ジノヴイエフ等々左派の急進論者を叩き出し、更にブハーリン、ルイコフ等の右翼反對派に鉾を向けて獨裁的地位を固め取つたのも、だから彼にとつては政策遂行上の必要に基く朝飯前の仕事に過ぎない。一切の反對分子を掃蕩して今や書記長スターリンの權勢はレーニン生前のそれを凌駕し彼の意見主張はその儘に共產黨の黨是となり、ソヴエート政府の國策となる有樣、一九二七年十二月第十五回聯邦共產黨大會にて『一國內共產主義實現可能論』を確立した彼は、世界革命の理想を一時斷念し、所謂『五ヶ年計畫』による社會主義建設に大童だ。資本主義諸國が過剩生產恐慌と大衆失業とに直面してのたうち廻つてゐる時『一國內共產主義』が果して可能かどうか。第二次五ヶ年計畫を指導する書記長スターリンの腕前が見ものだ（寫眞スターリン）

土耳古の救主 ケマル・パシャ 悠然と建設工作



ムッソリーニの如くヒトラーの如く、華かな大時代的な劇的效果はない。しかし銀鑿で營々堅實に新興トルコ建設の過程を辿つて居るのが歐洲大戰の生んだ巨人ムスターフ・ケマル・パシャだ。彼が困難と障碍との裡に窒息しさうな舊回敎帝國を打倒して新たに共和國を建設し、近代的文物制度の確立へ一歩を踏み出してから茲に十年、トルコは今や完全に更生した。花の顏を隱くヴエールに包み人生の春をよそに閨房の裡に一切外界と隔絕した無味單調な生活を送つてゐた、曾てのトルコ婦人の姿は最早何處にも見當らない。帷幄の陋習とコーランの迷信との日は去つた。廢頹の舊都コンスタンチノープルから新都アンカラを訪ふものは近代的トルコの餘りにも大きな飛躍の跡に驚くだらう。コーランによる回敎的法制を廢止し、新たに近代的民法、商法、刑法典を整備し、ローマ字を國字として採擇する等、進步的改革政策を實現したケマル・パシャは、外イギリス、ソヴエート・ロシア、イタリア等の隣邦諸國と親善關係を結び更にルーマニア以下バルカン諸國との間に聯盟の結成を目論み、東歐の盟主たる地位を確保しようとして居る（寫眞―ケマル・パシャ）

青鷲革命の總帥 ルーズヴエルト 明朗快活の見本

『生命と自由と幸福の追求』とは天賦の人權だといふ獨立宣言の名文句が消えて無くなつた譯ではない。然し全米國を支配する『國家的非常事態』は、ルーズヴエルト大統領を世界で最も强力な獨裁者に祭り上げた。緊急銀行法、農業救濟法、國家產業復興法等々所謂『新政策』の七つ道具を振べるだけで、米國民の全生活が大統領の獨裁制の下に管理されて居ることが知れやう。金融恐慌の眞唯中にホワイト・ハウスに乘込んだルーズヴエルト大統領は先づ國民の『緊張』を除き、『理由無き根據無き恐怖』を去り得るとした。計畫は見事に當つた。青鷲の旗幟の下にN・R・A運動が全國を風靡するや、國民は非常時の陰鬱を蹴飛して『我等の大統領』の微笑と共に微笑するに至つたではないか、底拔け明朗快活な大統領、『失敗したらやり直すまでさ』と、拘らぬ彼の性格がグッとヤンキーの心を捉へたのだ

然し米帝國主義の疾患は意外に深刻だ。『新政策』はまだ蜜月を經へたに過ぎない。大統領の前途には無統制インフレーションの陷穽が待ち構へてゐる。果して資本主義を修正して『永遠の繁榮』をとり戻せるかどうか、『新政策』の結果如何は資本主義に最後の審判を下すものとして世界的興味の的を持つて居る

△△△△△ 輕氣球で虫退治

果實が實を結ばうとする時に植物のベストともいふ可きものに襲はれた場合に、之を防ぐ目的で現在行つてゐる方法は、防水布の袋をかぶせて中で瓦斯をいぶして、虫を退治しやうとするといふ法であつたが木の周圍に此のカンバスを張るといふ作業の爲に、人手を多く要したもので、當今航空廣告に用ひるが如き瓦斯の小型のものを以て大きい袋を持ち上げ之を木の直上から下す事を始めた。此の方法だと全體を掩ふ事が僅か二人の手で行へるといふので人手を要する事を嫌ふ米國では近頃大流行してゐる

謹賀新春

京城府南大門通五丁目 日韓ビル一號館
金華工業所 笠井組本部
電話本局三六九三番

東華洋行
京城府花園町九七
電話本局三九九二番

東洋畜產興業會社
京城新州通二ノ二四
電話本局五一七四 六六七番

京城本町四丁目
川井茶舖
電話本局四一〇二番

まるや京染呉服店
京城明治町二丁目
電話本局六六〇番

愛知產業組合
蘭谷牛乳
京城本町五丁目 電話本局三四〇六番
支店 電話龍山六九七番

京城府樂園洞二八九番地
朝鮮料理 松竹園
電話光化門二二〇四番

京城府茶屋洞一四五番地
朝鮮料理元祖 明月館
電話光化門[illegible]番

金剛山電氣株式會社

中央試驗所食堂

京城食堂組合

永樂食堂
京城府永樂町二ノ五三
電話本局三三〇五番

新町遊廓組合

京城旅館組合

京城驛前
朝日タクシー
電話本局八一・八三番

甲戌新年紙上名刺交換會

酒井與三吉

[illegible]

吉松幸次

[illegible]

櫻井秀專

[illegible]

武者錬三 京城電氣株式會社

[illegible] 丸三運動具商行

永岡惠 小倉石油株式會社 同 日鮮石油株式會社

[illegible] 大日本麥酒株式會社

[illegible] キリン麥酒株式會社

見目德太 京城電氣株式會社

[illegible] 朝鮮貯蓄銀行

大橋新太郎 京城電氣株式會社

谷多喜磨

淺野太三郎

金瑞圭

穎川忠治

[illegible]

小口肇

伊藤吉三郎

[illegible]

山根政治

多賀秀敏

杉原長太郎

[illegible]

米倉元一 京城電氣株式會社

本田建義

岩谷二郎

[illegible]

[illegible] 株式會社三越京城支店

山中大吉

[illegible] 大熊醫料器械店

加納一米

[illegible]

寺田榮

[illegible]

松田正之

[illegible] 朝鮮鐵道株式會社

朴興植

古庄逸夫

井上清 遞信局

清水重夫

[illegible]

石田千太郎

[illegible]

山澤和三郎

松本清次郎 京畿道[illegible]

水田直昌

[illegible]

[illegible]

榛葉孝平

[illegible] 第一銀行京城支店

近藤常尚

[illegible]

白石巖

[illegible]

松本正寛

[illegible]

吉川宇造

躍進また躍進の半島の春を讃ふ
自力更生運動のあと

脚寝下を照顧せよ
朝鮮農家の經濟更生
─指導宜しきを得れば易々たり─

農林局長　渡邊忍

內外の非常時に直面し擧國一致之を克服突破するに殷も多事多端なりし昭和八年を送り、乾坤一新更に一段の緊張と邁進を覺悟すべき昭和第九の新春を迎ふるに當り畏くも上 皇室の限りなき御繁榮を慶ぎ奉り、國運の益々隆昌ならんことを祈念すると共に八千萬同胞の生を日東大帝國に享くるを無上の光榮とし且誇りとして大に祝福して已まない次第であります。

就ては此の機會に於て當局として從來施設上努力しつゝあるは米穀問題、土地改良事業、畜産、蠶業並に林業等を始めとし近く大いに擴張與勵せんとする棉作又は新規施設の計畫にある綿羊等、各般の事項にわたり申述べたいとは考へますが限りある紙面でもありますが故に、茲には最近中央地方を通じ最も努力を拂ひつゝある農村振興運動に關し今日迄の經過と及び施設の基礎ともなるべき朝鮮農家の實相並に其の特異性の概略を紹介し、以て大方の御參考に資し、聊か年頭所感の辭と致したいと思ひます

即ち本府に於きましては昭和七年秋農村振興に關する根本方針を確立し、强く農民の自覺啓發を促すと共に、農家經濟の根本的立直しを企圖し具體的方策を指示し爾來農村振興計畫の遂行を期しつゝある次第でありますが、幸に本運動は官民の絶大なる共鳴と協力援助とを得て施設の趣旨普く徹底し振興の機運全土に漲り、初年度の計畫として全鮮二千二の邑面に對し各一部落を選定し五萬五千四百餘戸の農家に對し個々に經濟更生五年計畫を樹立し直に實行に移つたのでありますが、各地とも非常なる官民の努力により概ね豫期の成績を確守しつゝあることは最も欣幸とする所であります。仍て本年は更に前年以上の農家に對し同樣の計畫を進むる豫定を以て現に遂行中でありまして、この方針を持して年々更生部落を擴充し、遂に農村全般に企及し以て農村振興の大業を成就したいと思ふのであります。而して本運動上の具體的方策に關しては客年三月七日附政務總監通牒を以て委細示されてありますので、ここに細說することを省略致します

然るに多數者の中には動もすれば本運動なり施設なりの趣旨精神を充分に檢討吟味せず徒に外觀だけを見て困難なりと即斷し、危惧の念を抱く者、又は施設徒に多途にわたり多種多樣の實行事項を掲げて一時に之が勵行を期せんとし、其の結果は何れを中心とし何れに主力を注ぐべきか判然せず、施設計畫のみ愈々多くして實効の伴はざる如きものがあります、もとより之等の施設は何れも必要なるには相違なきも凡そ物事には順序あり緩急輕重があるからこれが實行に當つては大に思慮を要す必要があるとおもはれます、之等二者の意見をなす者は要するに朝鮮農家の實相と其の特異性とを判然と認識せざる結果であるとおもはれますので、茲に朝鮮の所謂「照顧脚下」の一句を提唱する所以であります、幸に左に揭ぐる「朝鮮農家の解剖」を一讀せられんことを切望して已みません

─以堂　金殷鎬畫伯─

蝸牛角上の爭を止めよ
朝鮮軍司令官　川島義之

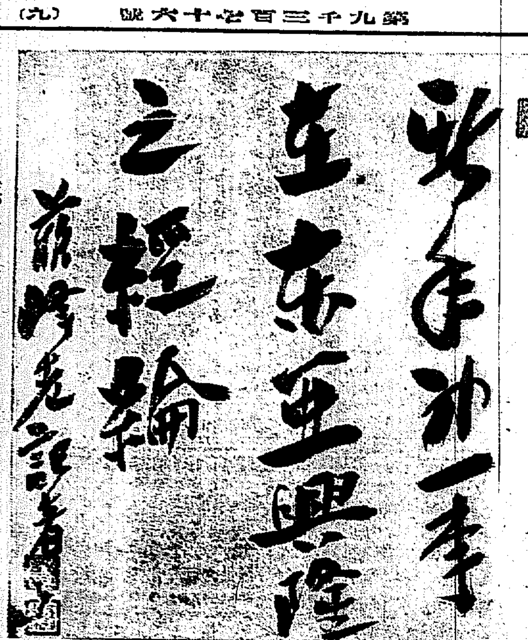
乾坤新に回り來りて昭和九年を迎ふ

皇祖の神々榮え皇威六合に振ひ仁澤朝野に洽きは國民の齊しく感激に堪へざる所にして殊に 皇太子殿下の御降誕は國家鴻福の源にして、萬民の非常歡喜措く能はざる次第なり

還に滿洲事變勃發してより我が國朝野を擧げて渾身努力せし滿洲國の建設事業は着々其步を進め、國威漸く敷く今や國民は東洋平和の光明を前途に認めつゝ希望に輝ける新年を迎ふるは邦家の爲慶賀に堪へず、而して此光明をして眞に隆盛たらしめ以て皇道を四海に宣布するは是國民の責務にして、所有困難を排し所信に向て勇往邁進せざるべからず、加ふるに我が國內外の事端は愈よ繁くして些の偸安を許さず、遂に國步艱難の秋なり、宜しく一致團結し剛毅なる精神を確認振作し、各々其業を勵み擧國一致以て東洋平和の國是貫徹を期せざるべからず

而して且つ外地に奉ずる者をして大いに共榮を顧からしむるものは內地在住同胞の結束鞏固なるに存す、須らく蝸牛角上の爭を止め深く內外の時勢を觀察し時局を認識し和衷協同真に一體となり、只管皇國の興隆と國光の顯揚に努力せんことを望む

聊か所懐を述べて新年の辭に代ふ



─德富蘇峰氏試筆─

農家經濟の解剖
農家經濟更生計畫を樹てる前に先づ農家の生活、經濟の實態を解剖してから更生してやりたいと思ふ農家の姿は大體こんなものだ

農村振興運動の中心施設たる農家經濟更生計畫の樹立に當つては正に醫師が患者に臨み其の容態、病源、體質等を檢診し患者の訴へ等をも聞き、是なりと信ずる治療法を決定して投藥施術する場合の呼吸と少しも變ることがあつてはならない、人動もすれば吾吾は常に民衆に接觸してゐるから『百姓のことなら』大體判つてゐると臆斷に濟ます向もあるが、然し割合に判つてゐない事が多い、尤も第一線に立つ指導者の如きも比較的通曉されてゐることと思はれるけれども平素仕事に直接しない者乃至指導監督の立場にあるものは總じてこの間の事情にうといものは無理のないことゝ思ふ、農村振興運動の重點は取りも直さず農家經濟更生計畫の樹立がその根本であるから、農家の實態が解らなければその可否を論ずることも指導監督することも出來ない譯である。然るにも拘らず農家の實態を顧みずして漫然計畫し或は之が適不適を指摘して兎や角指導することは恰も醫師が診察せずして投藥するのと同樣で、果して効果ある計畫の樹立が出來るかどうか疑を挾まざるを得ない次第である

農家と云つても色々程度がある現在行はれてゐる農家經濟更生計畫樹立の農家は所謂中農以下のもので、其の數は農家戶數の七割にも相當するのであるから農民大衆とも言ひ得られ、農村振興運動の目指す大切な相手方である。小農經營と言つても其々がある、細かながら自作農もあれば自小作農もあり、純小作、中には自作農以上にしつかりしたものもある、然しこゝでは其の中で最も多數で共通點を持つと思はれるものを左の三段階に分けて解剖することゝする之は勿論地方によつて大小相違のあることは免れ難き處であるが大體に於て農家の全般は此の程度のものと見て大なる誤りはなからうと思ふ

農家の標準　京畿道附近

(甲) 自作兼小作(畓田)　一町八反歩
(乙) 小作　一町二反歩
(丙) 小作　八反歩
『註』朝鮮の耕地面積は一戸當平均一町六反歩餘で內地は一町歩である、朝鮮は北西鮮地方は非常に廣くて南鮮が少い

農家の實態

農家の概況大要左の如くである固より之は標準に依り選定したものであつて從つて南鮮と北西鮮地方とでは耕地面積に大なる相違があるが大體に於て農家の姿を窺ふことが出來ると思ふ

氏名	家族數	所在勞力	種別	耕地面積	一年間に於ける現金 收入	支出	不足	負債	不足食糧	餘剩勞力
李成童	六名	二人九分	自作兼小作	一町八反	九六、四〇	一三一、七〇	三五、三〇	一三〇、〇〇	籾八斗 米四斗 粟五斗	二九〇日
金正容	五名	二人一分	小作	一町二反	五三、一〇	八〇、四〇	二七、三〇	四九、〇〇	籾一石五斗 米三斗	二六〇日
朴國洙	五名	二人四分	小作	八反	四八、四〇	五九、二〇	一〇、八〇	三三、〇〇	籾一石 米六斗 粟三斗	二八〇日

右表に就て見るに

現金收入　耕地一町八反歩と云へば中部以南では相當大百姓と云へるが、それでも現金の年收百圓を出でず小作農の四十八圓四十錢は頗る寂少の感あるも何れもそれ以下の貧農者が可なり多數にあることを想へば農村大衆の窮狀況や經濟生活の想外に單調であることが判然とする

現金支出　何れも收入よりは多い之が朝鮮現下に於ける農家の實相で尋常に苦しみながら斯る生活を續けてゐるのに同情せざるを得ない所であつて、之が積り積つて負債となる譯であるが何も一つは斯る生活にあつても冠婚葬祭だけは避け難いので殊に朝鮮では分不相應に此の入費が嵩んで借金となるのである

過不足　固より收支のバランスはとれないけれども、元來收入も支出も單調で從つて少額であるから、從つて其の不足額も實に極く僅少い之れ位のものなら何かと一寸緊縮すれば直に補ひ付けられさうに思はれるがそこは即ち幼稚な百姓で、僅か二十圓乃至三十圓位の不足でも之を捻出するの工夫と用意なくして苦しみ抜いてゐるのが現狀である

負債　殆んど農家の大多數は負債を有し然も高利に苦しめられてゐる、何に之位の負債なら一氣に返償出來るであらうと思ふとは吾々自己の家計から推した考へ方で、彼等細農者としての五十圓、七十圓は實に大金で而も此の狀態の生活なり經濟方法を續けておつたのでは恐らく高利が加算される計りで、負債が減るなどのことは絶對にない彼の三百圓、五百圓の大負債を持つてゐるのは皆此の少額から出發して年々段々加算された結果である

借金はたとひ返濟出來んでも殖さないやうに、また殖さんよりも幾分でも減らすやうに工夫努力せねばならんがそれには夫れ相當の工夫方法と努力とをなさぬ限り不可能である

不足食糧　之も固より大したものではないが然し多くの農家はかうした狀態におかれてゐる、秋收を築んでやつと返したかと思ふと、翌年には相變らずの春窮で現物の借入を餘儀なくされる有樣で益苦しむ一方である

餘剩勞力　各農家に之だけの餘剩勞力がある、之が朝鮮農家の特異性で疲弊原因の大なるものである、然し一面から考へると此の澤山に餘つてゐる勞力を有效に利用し經濟化することに依つて浮び上ることの出來る非常な强味でもある

斯る狀態にある『朝鮮農家の經濟更生は』決して悲觀するには及ばない、指導宜しきを得れば寧ろ易々たるものだ

以上解剖した農家の實態は何れも窮乏疲弊の極にあることは勿論であるが、然し其の程度は至つて輕微な又少額であるのみならず、各農家には澤山な勞力を餘してゐるから之を利用し之を經濟化することによつて農作物の如き其の增收をはかることも出來又一面多角形農法の收入によつて甘藷、馬鈴薯、蔬菜類の栽培により少し許りの不足を訴へてゐる食糧を充實することも極めて容易である

現金の收支に付ては各農家共多くの餘剩勞力がある位だから所謂一副業十圓主義で二、三種の副業を取り入れ指導したなれば不足の現金を産み出す位は何でもない、負債は以上の食糧充實と現金收支の均衡さへとれば必ず絶對に餘裕が出來て年次計畫で償還の方法は確實に立つ譯である、要は更生の途は眼前に横はつてゐるけれども其の方法を知らず工夫努力の足りないことゝ、今一つ大きな缺陷は農村民に之だけの自覺と熱意のないことが一大原因をなしてゐるから、指導者たるものは須く此の點に着眼して先づ以て農民の自覺と自作共働の精神を作興しさうして適切有效な經濟更生年次計畫を樹立し、寧ろ之を農民に呑み込ませた上、督勵監督に生活上の各般に亘つて懇切周到にして倦むことのない指導をなすことが肝要で農村振興運動の努力と呼吸はこゝにあると思ふ故に、總ての施設と計畫は要するに此の要點を見定め誤らざる診斷と用意とを以て遂行したなれば、如何に地域は廣く戸數は多くとも月に年に堅實な伸張を遂げ遂に半島の全農村をして悉く更生の歡喜を享受せしめ得ることも決して至難ではないかと思はれます

統治の基本工作
治水事業完成の急務
內務局長　牛島省三

昭和九年の新春を迎へるに當つて、一言所懐を述べることを得るは光榮且欣快とする所である

客歲十二月二十三日畏くも皇后陛下に於かせられては皇太子殿下御降誕あらせられ御肥立順調に涉らせらるる御趣であるが、竹の園生の彌榮之誠に畏き極みである

地方行政の過去を顧みるに官治、自治の兩方面に於て共に著しい發展をして來てゐるが、特に自治行政に付ては夙に地方自治を目標とし、地方制度の制定に着手して漸次その實現を圖り、大正六年まで大體其の基礎を作り、大正九年に至り諮問制度の制定及改正を行ひ各邑面に諮問機關を設けたが、當時に於て議決制度を設けたことは劃期的一大進歩であつた、爾來其の施行を續けて來たが時勢の進展と民衆の要望は遂に更に一段の進歩を促すに至つたので、昭和五年本制度に至り制度の改正又は制定を行ひ道制を施行、府又は邑に議決機關を設くることに成り、朝鮮統治上一新紀元を劃するに至つたのである、殊に內外はその成り行につき異常なる關心を拂ひつゝあつたのであるが、昭和六年に行はれた第一次の府會議員邑會議員面協議會員及び學校評議會員の選擧、昨年五月に行はれた道會議員の選擧の結果並にその後に於ける會議の狀況より稽ふるに、一般に改正制度を歡迎して居る事を認め得たのである、即ち選擧は最も圓滿且圓滑に行はれ、その後の運用にありても一般の期待に副ひて

豫期以上の成績を收め

民心亦之が爲一新するの兆を呈したのである。內地に於ける市町村制度施行當時に於ては制度の運行上、相當の長期間と困難を經たのであつたが、朝鮮に於ける地方制度が斯くも速かなる發達を遂げ、而も豫期以上の成績を擧げ得たる事は、一は著しく進展した文化の環境が然らしめた關係も多分にあるに違ひないが、半面するに官民協戮一致の結果であつて、深く敬意を表する次第である、然しながら現行の制度は完全なる自治制度へ僅かに一歩を踏み込んだ程度にすぎないのであるから、今日局に當る者は其の運用を誤らんか各般の施設に影響し、地方の發展を阻害する等その弊の及ぶ所測るべからざるものがあるのである、一面健全充分なる地方民諸氏の自治行政に對する理解の如何は之亦地方行政の振否に重大なる關係を有することと言を俟たないのである、茲に特に官民の和衷協力を望む次第である

次に土木事業に付て所懷を述べる、昭和八年度に於る土木事業は前年度に引續き洵に盛況を呈して居るのであつてその事業費豫算總額は實に三千八百萬圓の巨額に達して居るのである、尤も此の大部分は窮民救濟事業費であつて時局匡救施設費を加ふるときは二千八百萬圓に上るのである、この多額を擁する窮民救濟事業も一應本年度を以て終るのであるが、顧みるに窮民救濟事業は過去三年間に時局匡救施設費を加へ、約七千萬圓といふ大事業を殆んど何等の故障もなく、寧ろ

豫定以上の成果を收め

つゝ完成に近づき得たことは誠に異數とすべき事實で、之全く官民諸君が本事業の使命の重大なるを認識し、努力・致非常時突破の意氣を以て誠心其の目的達成に邁進した結果であると思はれ、感謝の念を禁じ得ないのである

右の結果鮮內の土木施設に劃期的進歩を來すのであつて、今之を字數に表示して見ると一、二三等道路の改修が五百三十里、同橋梁架設が千三百七十箇所、大河川の改修が十二河川、中小河川の改修が三十六箇所、漁港修築が十九箇所、上水道敷設が十二箇所、下水及市區改正等が六箇所と言ふ非常に多數に上る施設が一時に完成せられ、爲に面目一新し地方開發に資するところ極めて多からうと思ふのである、又本事業の正面の目的たる窮民救濟の方面に付ては當初より最も力を入れ細心の注意の下に最良の措置を講じ來つたのであるが、幸にも今日迄の實績に依ると非常に良好の效果を擧げてゐる、勿論七千萬圓といふ大金が三年の間に投下せらるゝのであるから鮮內財界に刺戟を生ずるのは當然であつて、各種の商取引は漸次活氣を呈し、殊に近年の如きは各金融機關を通じ著しく膨脹を來して居る、之等の現象は一面本事業に依つて勞銀撒布を受けたる地方民を通じての表はれであるべきは言を俟たぬ所であり、近時著しく市街の殷賑となつたことや、一般に納稅成績の良くなつたこと、貯金の增加したこと其の他種々の好現象を綜合して見ると、地方民の生活狀態は明かに緩和されつゝあるので、本事業の目的は

殆ど完全に達成し得た

と思ふ、凡て一國の産業なり經濟なりを開發し、其の文化を圖るには先以て交通運輸等の土木事業を施す必要がある、交通運輸の便なき所に文化は生れて來ない、之等土木事業の開けた所には必らず人や物資が集り文化は自ら進むのである、故に土木事業は國土開發上に甚だ重要な先驅的機能を有して居る譯である殊に財界の不況若くは之に依る多くの窮民を救濟する對策の一としては土木事業ほど適切な措置はないのである、故に古來政治家は求めて土木事業を盛にして居るのである、朝鮮に於ても併合以來土木事業に付ては相當力を入れられ、最近迄に之に投ぜられた經費は實に二億二千萬圓の巨額に達して居て、重要なる各種の工事は順次に進められて居るのであるが、尚今後施行を要すべき事業は決して尠くないのである、道路の如き重要路線は大體八割近く改修してはゐるが、近時自動車交通の激增に伴ふて路面鋪裝及橋梁改良等を考慮しなければならない、のみならず三等以下の道路の改修は殆ど今後に屬してゐるのである港灣に付ても開港に對しては一回必要の施設を爲したのであるが、國運の發展及國際事情等の變化に依り擴張を要するもの多々あるのみならず水産開發上速に急施を要する漁港の修築も相當に多い、又上水、下水、市區改正等の都市施設の施行を要するものも極めて多く、殊に治水施設に至りては大中小河川共殆ど大部分は今後の施行に俟たねばならない狀態にある抑も朝鮮に於ける治水事業は特殊の重要味を有してゐるものと信ずる、單に國土の開發保全が達せられると言ふ物質的のことばかりでなく、國民性陶冶にも重大なる役割を有してゐるものと思ふ、元來朝鮮に於ける農業は從來殆んど投機的感念を以て營まれつゝあつた感がある、之は古來全く

治水施設の施されたる

ものなく降雨に對する水旱害を全然自然に委するの外なき直接の原因を爲したものであるが、永年に亘るこの現狀が習慣性となり、一般農民をして生活そのものを投機化せしめ、遂には總てを天運に委するといふ宿命的人生觀を抱かしむるに至りしものと思はれる、而してこの悲しむべき習性を矯正し覺醒せしむるには先以て治水事業を盛にし河川整理を行ひ、旱水害を防御し以て投機的生活の根元を芟除することが最も緊要であると思ふ、何分にも朝鮮の山河は未だ原始的狀態を去ること遠からずして荒廢甚だしく爲に水害の度合も極めて激烈で最近十年間の統計に依ると每年平均三千萬圓近くの被害を出してゐるのであつて、非常なる水害國であるのであるが、朝鮮の農民が殆んど投機化したのも亦故なきに非ずと思はしめるのである、全鮮北部管內の流域は從來殆んど每年洪水氾濫し一番は水害苦甚を極めたものであるが、同江改修工事が殆んど完成したが爲に相當猛烈なる昨年の水害から完全に免れたのである。之は全く河川工事の恩惠が如何に顯著であるかを物語つて居る次第である

前陳の如く土木事業の施行が政上經濟上極めて必要なことであることは至て明瞭であるが、殊に治水工事の如きは朝鮮統治の基本工作である樣に思はれるのであるが故に、今後は一層之等事業を增進し國步の進展に努めたいと思ふて居る次第である

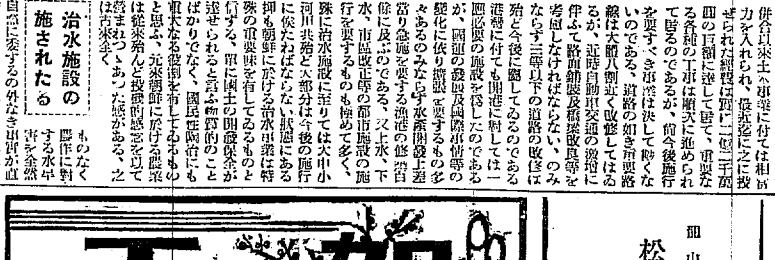
京城府三坂通一〇三　楠見組出張所　電話龍山八四九番

京城府漢江通十三　石炭商　寶榮商會　電話龍山一〇七・六二二番

京城府京町十一番　朝日酸素商會　電話龍山一〇〇四番

京城府漢江通一三　戸張工業所　戸張又市　電話龍山五三四番

龍山桑町　松華　電話龍山三二八・九九二番



銃砲火藥店　瀧川靜江　京城府黃金町一丁目　電話本局三〇二一番

谷岡商店　京城府本町四丁目　電話本局二四〇番・一八四番

清和園　京城府岩三洞六〇　電話光化門一八二七番

製藥問屋　谷野末松商店　京城府元町二丁目　電話龍山一五九番

鐵原驛前　消防組頭　上坂宇八

鐵原邑　消防組頭　長田清一

鐵原不二農場　村上靜

鐵原驛前　鐵原館

鐵原公立學校組合評議員　多田儀一郎

鐵原第二金融組合理事　稲光榮一

鐵原驛前　道評議員　小宮山八郎

中央水利組合理事　清田三郎

鐵原邑土木建築請負業　坂本組　坂本幸村

鐵原金融組合

鐵原邑　東州金融組合

鐵原邑金融組合

鐵原邑外村里　設樂安男

洗浦驛前　平康郡高揷面事務所員一同

鐵原公立學校組合評議員　永山階行

鐵原公立學校組合評議員　勝部菊太郎

肉加工種子組合主事　蘭谷機械農場

洗浦郵便所　及川誠一

淮陽郡　蘭谷金融組合

鐵原郵便局

鐵原警察署長　佐藤廣

鐵原邑　道評議員　李德一

鐵原公立學校組合評議員　中下岩太郎

鐵原道立醫院　院長　池澤實

鐵原郡廳

鐵原邑　殖銀支店長　井田德次郎

鐵原公立學校　職員一同

民衆と二人三脚を一層圓滑に進めたい

警務局長 池田清

茲に昭和九年の新春を迎ふるに際し一言年頭の所感を述べたいと思ひます。滿洲事變勃發以來我國は國內的にも亦國際的にも極めて多事多難でありまして、朝野を擧げて非常時來が叫ばれ人心動もすれば安定を缺き、治安上憂慮すべき情況にあつたのであります。その間常に確固不拔なる大方針に基き內外に對しその所信を披瀝し、正々堂々東亞永遠の平和を確立すべき大理想の實現に向つて邁進し來りたる我國の態度は、內外の狀勢に頗る好影響を齎し、爲めに民心漸次安定に向ひましたことは御同慶に堪へない次第であります、翻つて半島

民心の 傾向を大觀致しまするに、一般民衆はよく統治の精神を體し帝國の國是に信倚し各その堵に安んじて居る現狀であります。殊に農村振興、自力更生の運動に對しては官民一致協力、眞劍なる努力を傾倒し着々その實績を收めつゝありますことは、朝鮮統治のため寔に欣快に堪へない次第でありま す、併し乍ら民心裏面の動向を仔細に偵察致しますならば、內外情勢の動搖に乘じまして不良の徒輩が或は農村に或は工場に、或は學校にその魔手を延ばして相當尖銳過激なる不穩運動を展開し、一面徒らに流言蜚語を放つて大衆を煽動し施政の妨害を企つる者未だその跡を絕たざる等治安の前途は必ずしも樂觀を許さぬものがあるのでありまして、私ども警察の職責にある者と致しましては、苟くも國論の統一を紊し國策の遂行を妨げ民心の惑亂を企つるが如き者に對しては嚴重なる取締を加へ、これが根絕撲滅に努め以て治安の十全を期して居る次第であります、次ぎに

言論界 の狀勢を見まするに、新聞雜誌等の論調は概ね中正穩健であり、健實なる態度を以て克く朝鮮統治の爲に貢獻せられ、半島文化の開發向上の爲に盡瘁せられつゝあるのであります、殊に昨年中は時局に伴ふ內外各般の事象及大小幾多の諸事件の發生を見ましたが、各新聞言論機關は克く當局の方針を理解共鳴せられ、公正なる輿論の指導と民心安定の爲に努力せられましたるため當局の施設成績と相俟つて治安の上にも大いに貢獻せられたのであります。願くば新春と共に更に面目を新にして、その本然の使命に立脚し朝鮮統治の爲半島文化開發の爲益々所勵せられんことを祈る次第であります

朝鮮に於ける衛生施設は年と共に面目を一新し、公衆の衛生思想も亦漸次普及向上いたしましてこれを十數年前に比較しますると實に隔世の感を深くするのでありますが、當局におきましては國民保健の良否は直接國力の消長に影響する所甚大なるものあるに鑑みまして、昨年以來

農山村 に於ける衛生模範部落の設置と蔬菜の栽培とを獎勵いたしましたる處、官民各位の一致協力に依りまして着々所期の成績を擧げつゝありますることは洵に御同慶に存する次第であります。併し乍ら傳染病におきましては昨年は幸にコレラの侵襲を免れましたが各地に痘瘡が流行して多數の患者を出し、腸チフス、赤痢等も例年に比し多少增加を見ましたことは甚だ遺憾とする處であります、傳染病の豫防制遏に關しましては常に最善の努力を傾倒して居るのでありますが、向後一層防疫施設の改善と一般衛生思想の普及徹底を圖り、十全の效果を收むる所存であります、朝鮮に於ける癩の豫防施設として昭和七年十二月財團法人朝鮮癩豫防協會が設立せられました以來、官民各位の多大なる贊成と同情に依り一般寄附金は豫想額を遙に突破するの好成績を收め得たのでありますが、畏くも 皇太后陛下に於かせられましては本會の事業を聞し召され、多額の御內帑金御下賜の御沙汰を拜し、又李王殿下よりも多額の御下賜金を拜受致しましたことは寔に恐懼

感激に 堪へぬ次第であります而して、計畫に基きまする救療所は既に療養所建設の好適地として小鹿島全島の買收を完了し、將來三年間に三千名の患者を收容する豫定(昨年秋既に四百名は收容濟)を以て建築工事其の他諸般の施設の進捗を見て居りますので、これが完成の曉には鮮內に浮浪徘徊する患者を一掃して本病根絕の第一步に入るばかりでなく惱むべき彼等多數患者の爲に新しい樂園を建設する譯でありまして、單に半島の公衆衛生上に止まらず人道的見地よりも洵に欣快に堪へない次第であります、家畜傳染病豫防につきましては施政以來極力防疫施設の擴充に努めつゝありますが、昨年四月平南北及黃海三道に亘り口蹄疫の流行を見、時恰も農繁期に際會いたしたる爲、之が防疫には渺からず苦心を致しましたが、官民一致豫防措置の徹底を講ぜられました結果發生地域を右三道に局限し病毒の南下蔓延を防止することを得ましたことは不幸中の幸であつたと思ひます、家畜防疫施設の適否は直に產業の伸暢、農家經濟に影響する所多大なるものがありますので、本年は更に之が刷新

向上を 圖り防疫實績の擧揚に努めたいと存じます

以上は警察事務の大體に付て所感を申述べた次第であります、而して刻下の非常時局におきまして國內の治安を保持することは最も緊要のことに屬するのでありますが、警察行政の對象でありますところの百般の社會事象は時勢の進展文化の向上發達に伴ひまして、愈よ錯雜多岐を極め時代に順應する警察事務の執行は洵に難事たるを失はぬのであります、加之朝鮮におきましては隣國滿洲國は創建後日尚淺く國內の治安全からざる爲め國境警備は未だ偸安を許さぬ情況であり、一方農山漁村に於ける振興運動に關しましては警察事務の範疇を出で、物心兩面に亘る各般の施設乃至は運動に參與しつゝある現狀でありまして、今日に於ける警察官の地位は國家的にも社會的にも、誠に重要なる存在であると信ずるのであります、而してこの地位に伴ふ責務を完ふする爲に私共は常に深甚の考慮を拂つて居るのでありまして、警察機構の十全なる運用に留意しまするは勿論部下職員の教養訓練を一層周密にして素質の

改善と 勤務能率の增進を企圖しつゝある次第でありますが、一般民衆におかれましても克く今日に於ける警察官の地位を理解せられ、この非常時局に於ける警察官の職責遂行に協助せられ諸般施政の根幹たる治安の十全に貢し、以て帝國の隆昌と國民の康寧增進に寄與せられんことを切望します

非常時に於ける朝鮮の初等教育

學務局長 渡邊豊日子

『教育は國家百年の大計なり』とは言ひふるされた言でありますが國家非常時の年頭に際しまして、國民たる者齊しくこの言葉の意義を更に强く深く認識せられんことを切望するものであります。現下朝鮮に立ち上つてゐる自力更生運動が有終の美をなすためにはその根基を培ふの要あり、根基を固うするの途は教育振興の外にないのであります、生活の改善と云ひ、產業の開發と云ふも一に國民の自覺を基礎としなければ、恰も砂上の樓閣を築くと同じく、百年の後その成果を期待し得ないのは茲に喋々するまでもありません、而して

朝鮮教育の振興に就いて は諸種の問題がありますが、中でも最も緊切なりと認めらるゝ二三に就いて述べませう、第一に考へらるゝのは教育の普及のことであります、世間周知の如く昭和四年に樹立されました所謂一面一校主義は、たまたま未曾有の財界不況に際會したにもかゝはらず、一般の教育に對する自覺と熱意とによつて着々既定の計畫を遂行し、その完成をみるの日も遠くないのであります、しかし、よしんば一面一校の計畫が實現されましても、その就學率はやうやく三十パーセントと內外に過ぎないものと豫想せられ、之を內地の就學率に比較する時、兩者の懸隔の大なる實に驚嘆もただならざるものであります この現象は朝鮮文化の基底がまだ十分培養せられてゐない事實を物語るもので、教育の普及こそ現下の朝鮮教育にとつて焦眉の急を要する問題であります

さて、普通學校における就學歩合の低率の原因は種々ありませうが、農山漁村の經濟力の低いことゝ、要求の形式や人口の分布から必然に來る通學距離の遠隔との二つは見のがすべからざるものでありませう、しかるに幸にも朝鮮には私設初等教育機關として舊き歷史と、廣い分布とを有する凡そ一萬に近い書堂が存在してゐます

この書堂の改善助長こそ 今日の朝鮮の現狀に即した教育普及の簡易にして有效適切な方法であると思はれるのであります、學務當局に於ても夙にこゝに着眼してその調査研究に着手し、又昨秋開催せられた道學務官會議に於ても書堂改善に關する具體的方案が諮問される運びとなつたのであります、之を要するに書堂の改善は眞の農山漁村子弟の啓成を目的とし、從來の教育法に代へるに普通學校教育の本旨にのつとつて、國語による讀書算術の基礎教科を授けこれに實習を主眼とせる職業教育及び簡易な公民教育をほどこし、もつてなるべく多數者を國民教育の恩惠に浴せしめて、よき國民、よき國民の育成を期するものであります、約一萬にのぼる書堂の改善に一齊に着手することは至難な事情もありますが成るべく新年度より漸を逐うてその組織及び教育內容を改善して書堂の健全なる發達を助長し、もつて普通學校教育の發達と相俟つて教育の普及及び教育機關の擴張に資し、かくて邑に不學の家なく、家に不學の徒なき理想の實現を期せねばならぬと思ふのであります、次に朝鮮教育、現下の實狀にかへりみて、頭の教育、觀念的な教育よりも現實の社會生活の實際に即した實學を急務とすることは、是亦何人も異論のない所と思はれるのであります

初等學校の教育において もすでに五年前から『職業に關する普通の知識技能を得しめ職業を重んじ勤勞を好愛するの精神を涵ひ兼ねて適切なる職業を指導する』ことを要旨とする職業教育を實施して兒童が在學中より自らの額に汗を流して得た勤勞の所得をもつて學費を支辨しつゝある實例は枚擧に遑ないほどであります、さらにこの職業教育は農山漁村の中堅人物養成を目的とする卒業生指導に發展し、全鮮こぞつてこれが施設に努力し大いに、その成果を收め、現下の非常時に際し、所謂指導生が農山漁村の振興、自力更生運動の第一線に活躍しつゝあることは世間周知の事實であります、この卒業生指導の施設は他の追隨をゆるさない朝鮮教育獨特のものであります本年も引き續いて國家の非常時に直面してゐる際、如上の職業教育と卒業生指導とに一段の工夫と研究とを重ね、ますます之を徹底普及せしめて、勤勞好愛の美風を助長し以て農山漁村更生の一助たらしめるのみならず、朝鮮開發の礎石たらしめんことを期してゐるのであります

最後に申し上げたいことは國語の普及についてであります。『言語は血よりも濃い』と言はれるやうに、言葉による融和ほど力強いものはなからうと考へます

內鮮融和のくさびとして 國語の普及によく多くを期待するのであります、朝鮮在住の內地人がすゝんで朝鮮語の習得に志すは勿論、朝鮮人も單に生活の方便といふ功利的な立場からでなく、眞によき我が國の國民たるため、我國民精神の理解體認のため、今日より一層國語の習得に努力せられんことを希望するものであります、從來內鮮人ともこの方面に努力して、各地の先覺者によつて國語普及上種々適切な施設が考案實施され、着々實をあげつゝあるのは誠によろこばしいことであります、いふまでもなく國語の普及は朝鮮教育の根本でありますが、この問題はその性質上ひとり、學校教育に委すべきものではなく、社會教化の見地からも將來地方人士の協力援助によつてますます之を振興し、以て一層內鮮融和の實を擧げ、朝鮮統治に錦上更に花を添へんことを熱望してやまないものであります

半島財界の指針

非常時の覺悟を一層强固に

財務局長 林繁藏

茲に新春を迎ふるに當り回顧しますれば過ぎにし昭和八年は誠に多事多難波瀾重疊の一箇年でありまして、國際聯盟における我國の主張は容れられずして我が國の聯盟脫退となり、聯盟組成以來空前の危局を思はしめましたことを始めとしまして獨逸の聯盟脫退聲明、軍縮會議、米國の大建艦計畫の發表、米蘇國交回復、比律賓獨立問題等政治的に世界の耳目を聳動せしめたる事件相踵いで起りましたのみならず、經濟問題に就てもロンドンに於ける世界經濟會議、印度其の他に於ける對日通商條約の破棄聲明、シムラに於ける日印會商を初め米國に於ける不景氣對策等重要問題が頻發しまして、我國は勿論世界各國に對し政治上經濟上極めて無氣味なる空氣を釀らしかも其の多くは今日尙未解決の儘進みつゝあるのでありまして際會する所極に

深刻 で、恐らく有史以來未だ嘗て前例なき多難な年廻りで眞に愈心の裡に歲を更むる事となつたものと申すべきでありませう

然るに我國におきましては幸にして非常時來に對する充分の覺悟と決心とを以て、既に前年來國難打開に努め來りました結果朝野官民の堅き結束協力の下に以上の如き政界財界の國際的暴風に遭遇するも聊かも動搖する所なく、殊に對外貿易に至つては日貨の向ふ所恰も水の低きに就くが如く世界各地に日本商品の販路を開拓し、今や世界を擧げて日本商品の躍進を驚歎畏怖せしむるの狀を呈するに至れる次第でありますが、吾が朝鮮の貿易も此の大勢に順應して極めて好調裡に昭和八年の幕を閉ぢたのであります、即ち昨年十一月迄の朝鮮の對外貿易は輸出四千七百餘萬圓、輸入五千八百萬圓で前年に比し輸出二千七十餘萬圓、輸入二百十萬圓の

增加 を示し、殊に輸出の增進著しかつた爲入超額が前年に比し千七十餘萬圓で近年稀に見る輸出入權衡の改善を得ましたがこれ主として滿洲國の經濟的發展と其の關稅一部の改正に依るのでありまして、從來終始入超に偏した吾が朝鮮の對外貿易が昨年八月以來俄然出超に轉向しましたとは朝鮮の貿易史上實に空前の記錄であります、又對內地貿易の趨勢を一瞥しまするに移出二億七千四百餘萬圓、移入三億六百餘萬圓差引入超三千二百餘萬圓を示し前年に比し移出四千餘萬圓、移入七千四百餘萬圓の增加を示して居るのでありますが、移出貿易の增加は農產物を首め水產物、鑛產物等の出荷好調に基くものでありまして移入にあつては輸移出貿易の活躍と生產品値上りの影響を受け鮮內の購買活況を示し、殊に事業建設材料に棉花及肥料等の需要頗る旺盛でありました爲であります、鮮內に於ける財界の情勢は

米作 が昭和五年に次ぐ豐穣を告げましたのを初めとし、畑作も相當增收を示し水產界も亦年初以來相當豐漁を續けましたが、鑛業界殊に產金事業に至つては金地金の値上りに伴ひ正に白熱的にある觀があります、しかも、前年來繼續實行中の窮民救濟土木工事は各地に生業の資を撒布し、全鮮に亙り物資の運行を圓滑ならしめたると同時に自力更生農村安定の方策は漸く高潮に達し、財界の難局に處しつゝも漸く農村に希望の曙光を認め得るに至りましたことは二千萬同胞の均しく慶賀に堪へぬ所であると存じます、金融方面に於ては內地に於ける未曾有の低金利に刺戟せられ、昨年七月朝鮮銀行の貸出標準利子歩合引下げと呼應して各地組合銀行の預金協定利率も引下げを行ひ、鮮內に於ても

空前 の低金利を現出するに至りましたに拘らず金融狀態は頗る緩漫を告げ、從來常に資金難を喞ちたる朝鮮の銀行業者も潤澤なる手持資金を有するといふが如き奇現象を持續して居るのであります、斯の如き低金利時代に於ては投機思想熾烈となるの虞がありますが、金融業者に於ては往年好況時に於ける苦き經驗に鑑み能く自制せられつゝある結果、今尙穩健なる情勢を持續して居るものかとも考へられますが歲末の資金繁忙期に際し昨冬の如き平穩裡に越年致しましたとは近年稀なる現象と申すべきでありませう、更にありまして金融機關を見ますれば銀行に於ては地方の資源產業の開發に資する爲福原の地に支店を開設する一方行々として銀行の合同を行ひ、資本信用の

增大 を圖つて居るのであります、即ち朝鮮商業銀行は北鮮商業銀行を、湖南銀行は東萊銀行を、又漢一銀行は鮮南銀行を合同し、資本資格を兼如せる殖銀行は隆榮するに至りまして鮮內銀行界は愈よ其の陣容を整へ新銀行令の下に完全に運行することゝなつたのであります。次に昨年一月開業せる朝鮮信託株式會社は群山信託の買收を手始めとし更に釜山信託及共濟信託を買收し、その使命の達成に最善の努力を拂つたのでありますが、信託業の合同は尙本年に於ても引續き努力を重ね今後益々朝鮮に於ける信託業の統制とこれが普及發達とに寄與することゝ信ずるのであります 金融組合にありましては昨年八月關係者の熱望が容れられ、既設各道金融組合聯合會を合併して新に朝鮮金融組合聯合會が創設せられ、愈上名實共に完き强力なる機關となり指導統制の諸機能を充分に

發揚 するに至りましたが、組合近時の形態を見ますれば本支所合せて八百三十餘、組合員九十二萬四千餘人貸出金約一億三千八百萬圓、預り金一億九百餘萬圓といふ尨大なるものとなり牢乎として拔くべからざる陣容を示し組合員の增資指導金融の徹底を圖り高利負債整理に努力して農村振興の根幹を確立しつゝあることは慶びに堪へません

內外四圍の諸情勢が本年に入り如何に推移するかは容易に豫斷を許さぬのでありまするが、難局は依然として解消せず、非常時に對する覺悟を愈上强固たらしむることこそ本年に處する一大指針であらうかと考へます、かくて同胞團結つて一路難局打開に勇往邁進し國運の進展に寄與致したいものと存ずる次第であります

大京城建設へ

四十萬府民各位の戮力協同を切望す

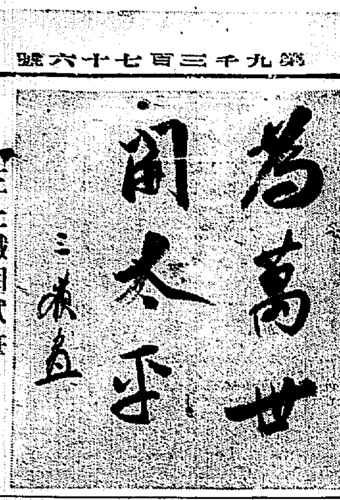
伊達京城府尹

現下の國情は內外多事多難、之を外にしては國際上容易ならぬ立場に在り、之を內にしては財界の不況依然として去らず、加ふるに彼の矯激輕佻なる思想風潮今なほ跡を絕たずして須臾の偸安を許さざるものがあります

此非常時に直面し此難局を突破して國運の發展を圖らんが爲には國民等しく眞に時局の重大性を自覺し奮然蹶起して自力更生の新生活に進み、盤根錯節の大精神を發揮して、官民一體となり、協心戮力勇往邁進しなければならぬと信ずるのであります、客秋國民精神作興に關する詔書渙發十周年記念日を以て起せる府民精神作興運動も亦之れに外ならないのであり、茲に多幸多望なる新年を迎ふると共に、吾人は更に生新溌剌の意氣を鼓舞し萬古不磨光輝赫々たる國民精神を愈々振作し、各々其の執る所の職分の上に只管精進することを期せねばならぬと痛感するのであります

惟ふに半島の統治は夙に 先帝の洪範に則らせられ、撫育馴化の仁政を布き給ふ所、佐命の當局亦能く獻替に努め、今や施政の治績概ね良好にして着々其の步武を進め、我京城府政の進展亦幸に府民各位の翼賛に恵まれ、逐年大京城建設途上に行進を續けつゝあるは府民各位と共に洵に同慶に堪へない次第であります

私儀乏しきを京城府尹に承けて日子未だ幾何ならず府政各般に對する成案其の十分を盡さないのでありますが、凡そ施設の立案計畫に當りましては內は仔細に研究討議を進めて緩急適切を本旨とし、外は四十萬府民各位の愛府精神を唯一の發露とし至公至平赤誠を披瀝し、全力を傾倒して府治の健全なる進展を期する覺悟であります、希くば識見の存する所を備さに開陳下さいまして十分御援助を賜ひ、大京城建設の爲に戮力協同の實を擧げられんことを切に懇請する次第であります



三土鐵相試筆

◇松林桂月畫伯◇

俠劍風來坊【63】

國枝史郎作　佐々木格繪

高原狂亂（一）

仆れて、

『人殺ッ――ッ』

だが飛び起き、

『どなたか助けて――ッ』

と走り出した。

そのお妾をなほ追ひかけ、周章てたために不覺至極にも、切り損つた自分を恥ぢ恥ぢ、

『逃げやうとて逃がさうや、くたばれ、汝、淫婦、淫婦』

陣十郎は執念く追つた。

仆れつ、飛び起きつ、刀を避けお妾は走り走つたが、やうやく街道へ出ることが出來た。

馬、博勞、提灯、松火――馬市へ向ふ人の群が街道を埋めて通つてゐた。

そこへ驅け込んだ女賊ひ師のお妾。

『助けて――ッ――、皆様、助けて助けて!』

『どうした/\?』

『若い女だ!』

博勞達は騷ぎ立つた。

『狂人が妾を手籠めにし…殺さうとしてアレ/\其處へ!』

躍り込んで來た陣十郎

『逃げるな、淫婦、逃がしてならうか!』

切り付けやうとするやつを

『女を助けろ!』

『狂人を殺せ!』

『ソレ拔身を叩き落せ!』

ムラ/\と四方からおつとり圍み、棒や鞭を閃めかし、博勞達は陣十郎へ打つてかゝつた。

『汝等馬方何を知つて、邪魔立ていたすか、命知らずめ!』

揮つた刀?

首が飛んだ!

『ワーッ』

『切つたぞ!』

『仲間の敵!』

『逃がすな!』

『たゝんで了へ!』

『狂人め、泥棒め!』

十、二十、三十人! ムラ/\と寄せ、鮮めいた。

狂奔する馬! 地に落ちて燃える、提灯、松火、パーッと立つ火焰!

悲鳴に續く叫喚怒號! 仆れる音、叱咤する聲!

百頭に餘る馬の群が、音に驚き光におそれ、野の方へ宿の方へ驅け出した。

『馬が放れたぞ――ッ』

『逃がすな、追へ――』

『捕へろ!』

『大膽だ――ッ』

『人殺し――ッ』

殆んど狂氣した陣十郎、劍鬼の本性を現して、馬と馬方の渦巻く中を、

『お妾! 何處に! 逃がさうや!』

と、右往し左往し走り廻り、邪魔になる博勞、馬の群を、見境ひも無く切りつ薙ぎつ、追分宿の方へ走る!

と、この時一挺の駕籠を、宵の闇に足かためとした、三十人あまりの博勞が守り、裏に包んだ金箱や駄箱、これを擔いで戀々と宿の方からやつて來たがそこへ驅け込んだ馬の群に廷き、街道を反れて野に立つた。

上尾宿に長く逗留し、夜道をかけて歸らないことには、間に合はないと木倉福島の納めの馬市に、低恩して、限りを急ぐ馬大盡を守護して高萩の猪之松とその乾兒とが同じく夜道をかけて來た。――同勢は宵に手れなのであつた。

温陽面長 崔奉植
彦陽酒造所 朴炫鍾
溫山漁業組合 吳鴻洙
中南水利組合 朴坤洙
彦陽小學校長 宇留間敬三
彦陽學校組合管理者 國本久吉
三南面長 金元龍
上北面長 金錫漢
彦陽面長 金奎談
靑良面長 李相喈
蔚山彦陽公普 島捨次郎
蔚山 鶴城印刷所
蔚山消防組
蔚山 門丸貞夫
蔚山 椙山榮一 電話三五番
蔚山土木請負業 五島哲雄
蔚山電氣株式會社
蔚山 瀧田正良
蔚山彦陽普通學校長 副島儀一
蔚山商工會長 松重淺太郎
日本航空輸送株式會社蔚山出張所主任 小田荒太郎
蔚山自動車組合
橋村齒科醫院 慶南蔚山
蔚山 九州旅館 電話一〇二番

蔚山郡廳職員一同
蔚山郡酒造組合
蔚山 富士屋旅館 電話三三番
蔚山中央醫院 醫學士 辛島泉鶴
御寫眞 中村寫眞館 蔚山本町
蔚山 臼井叶
蔚山本町 西谷寫眞館 電話六九番
蔚山 黑崎峰三
蔚山 松本與三
飛行場長 松尾靜磨
蔚山穀物檢査所長 松屋八五郎
方魚津漁業組合 理事 吉田義男
蔚山 カフエープラム 本店 蔚山大倉町 支店 蔚山本町
蔚山釀造合資會社
蔚山 金佐性
蔚山慶南道會議員 李圭正
蔚山慶南道會議員 金尙熙
蔚山 池田正義 岩下久榮 關屋實善
蔚山邑長 桂登利藏
山海春 王本之義

北青電燈株式會社
北青郡北青邑 大黑屋旅館 主 大石貞 電話一九番
咸南北青邑德濟醫院 醫師 弓恩德
咸南北青郡北青邑 新北青 新昌間 乘合自動車業 咸一株式會社 社長 長 基述 電話一〇二番
咸南北青邑一八 北鮮ラヂオ電機商會 主 片山煥太郎
甲山郡邑內 甲山醫院 村永
蔚山郡把揆公立普通學校 平間倫
菓子商 柳光明
桝見旅館 主 桝見ヤヱ
蔚山金曜會
慶源郡廳 郡守 李贊郁 庶務主任 中村藤七 財務主任 松岡驥
慶源邑 長崎屋旅館 松岡辰次郎
慶源郡下面洞 松川洞金融組合 井上湧吉
慶源 秋山孝一商店
慶源郵便局
慶源 道會議員 朴文欽
慶源金融組合 理事 黑佐正義
慶源公立尋常小學校長 浦田三作
慶源警察署
慶源邑 慶源醫院
慶源面長 高聖協
慶源普通學校
慶源 多田耕
慶源學校組合議員 賈盛且新

謹賀新年

仁川內里 若林商店 電話四一九番

仁川花町 ラムネ製造業 中山宇之吉 電話七三二番

仁川 松浦元商店

仁川本町 龍榮堂 電話一五五番

仁川 田邊寬一

仁川 横田藥房

仁川新町 諸紙文具 野田紙店 電話四四四番

仁川本町 阿波屋金物店 電話八三六番

仁川府旭町二七ノ三 衛生請負業 安河內善太郎 電話長一一五一番

仁川市外長意里 活牛移出 谷本茂三郎 電話七五三番

仁川 中川工作所

仁川宮町 磯永洋服店 電話二二五番

仁川 京仁鐵工所 阿閉孝十郎

仁川 小谷益次郎

仁川 後藤組運送店 後藤信藏

仁川港町 仁川汽船會社 電話五一番・六一番

仁川仲町二丁目 肥料包裝材料 澁谷商會 電話三五四番

仁川神社 磯野勝見

仁川金融組合 理事 上野進一郎 電話九五一番

仁川花町 二宮鐵工所

仁川本町三 米穀貿易 土居喜七商店 電話六七三番

仁川宮町 福岡藥局 電話三二九番

仁川山手町 米穀商 山口商店 電話五八七番

仁川花房町 天一酒造 仁川分工場 電話一二四番

仁川新花水里一八八 合資會社 金泰勳精米所 代表者 金泰勳

仁川 ㊆仲立組合

仁川濱町 大阪商船株式會社 仁川支店 支店長 小山忠秋 電話二〇番・三二一番

仁川郵便所長 宮原猪一郎

朝鮮米穀倉庫株式會社 仁川支店長 高橋俊忠

朝鮮海事會仁川支部 船舶給水部 部長 太田忍

仁川宮町 西野入外科 婦人科醫院 醫學博士 西野入眞澄 電話二二六番

仁川商工會議所 會頭 吉田秀次郎 電話長六五七番

仁川稅關長 芳賀文三

仁川商工會議所 副會頭 太田忍

仁川海岸町二丁目 仁川鹽共同販賣組合 電話八一六番

三井物産株式會社仁川出張所 太田政太郎

仁川仲町 運送業 大和組 電話長五三八番

仁川酒造組合

仁川港町 國際通運株式會社 仁川支店 電話一〇番・四七番

仁川府尹 永井照雄

仁川府本町四丁目 仁川無盡株式會社 電話七六八番

仁川府仲町三 和洋雜貨卸商 南方新一 電話長一六六番

仁川萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

朝鮮精米所仁川支店 三戸守三 電話三三五番

仁川米穀組合長 仁川商工會議所議員 朱命基 仁川府內里一三一 電話九四六番

仁川支那町 仁川水産會社 電話二八六番

仁川府本町三ノ一 株式會社 北島藥店 仁川支店 代表 末永豐 電話三三四番

仁川本町 天辰齒科醫院 電話九六八番

仁川本町 酒類販賣 千鳥正宗支店 電話三五九番

仁川稅關沿岸貿易地帶使用組合

朝鮮證券金融株式會社 仁川支店 支店長 澁谷鐐

仁川 銀水 電話長一二一番

京仁線朱安 精米業 渡邊儀市

仁川 府會議員 加來次夫

仁川府質商組合

仁川山手町三丁目 岩井病院 電話一〇三番

仁川宮町 加藤精米所

仁川桃山町 朝日釀造株式會社 電話一〇六〇番

仁川土木建築請負業組合

辰馬汽船株式會社代理店 (本店 京城)(支店 鎭南浦、釜山) 仁川府本町四丁目二番地 株式會社朝日組仁川支店 電話長五二九・六八二・九六四番 電略(ア) 振替口座京城六一一番

仁川府濱町一 朝鮮運送株式會社 仁川支店長 仁川商工會議所副會頭 太田忍 電話五二・一四三・三四八番

仁川敷島遊廓組合(いろは順)
入船樓 一力樓 常盤樓 大國樓 松山樓 丸山樓 紀の國屋 新富樓本店 新富樓支店 敷島樓 一二三樓

天日製鹽 食卓鹽 精製鹽 眞空式再製鹽 粉碎洗滌鹽 販賣 京城專賣支局 仁川出張所 所長 石谷寅三

仁川萬石町 有馬精米部
黄海道龍塘浦港 有馬精米部 海州支店

鮮航同盟會仁川支部
日鮮海運株式會社
朝鮮郵船株式會社仁川出張所
大阪商船株式會社仁川支店
高杉商店回漕部
慶田組
國際通運株式會社仁川支店
朝日組回漕部
協同海運商會
嶋谷汽船株式會社仁川出張所

仁川海事出張所長 大賀文喜 電話八四八番

仁川支那町 王成鴻

朝鮮燐寸株式會社 仁川松林里

仁川濱町 ㋣バケツ仁川工場 電話一六八番

仁川穀物取扱人組合

仁川宮町 ㊇ゴム白工作所 電話九八二番

仁川府內里九七 朝日洋行 鬼頭兼次郎 電話長六六番

仁川新町 牧瀨産婦人科外科病院 電話四八五番

仁川府花房町一ノ一六 株式會社 林兼商店 仁川出張所 所長 南初太郎 電話五七番

仁川府會議員 吉木善介 電話五二三番

仁川教育會

仁川移出牛檢疫所長 伊佐山伊三郎

仁川海岸町四丁目 仁川自動車部 電話六六〇番

仁川氷組合

朝鮮總督府穀物檢査所仁川支所 支所長 上山雄次郎

仁川府山手町一ノ一九 寫眞師 梶谷靜風 電話八八二番

仁川府外里二四〇 株式會社王組商店代表社長 仁川商工會議所議員 宇惠吉藏 電話長六五一番

仁川本町 綿糸布商 平野商店 電話九七二番

仁川港町 運送業 福島喜三郎 電話四七三番

仁川本町 共益社 仁川出張所 梅田常博 電話一八六・四三〇

朝鮮鹽業株式會社 電話七七八番

仁川山手町 府會議員 今村覺次郎

仁川濱町 米山病院 電話九一〇番

阿波共同汽船株式會社 大連支店

仁川海岸町 貿易商 庄野仁川支店 電話長五四番

仁川材木商組合(いろは順) 劉君星材木店 山下材木店 株式會社丸二商會 安藤材木店

仁川港町五丁目 織物貿易商 波佐間浩造 電話長二〇六・二九三

仁川海岸町四 回漕業 野口商會 電話長一二七四・五七三番・七五〇

仁川觀測所長 國富信一

仁川港町 京畿道水産會

朝鮮取引所米穀部取引員組合(順序不同)
桑野健治 堆浩 新田義民 金仁梧 內海清藏 菰淵紋七 竹多柳三郎 小林幹三 康益夏 劉君星

仁川金物船具組合
池末商店 電話八〇七
チトセヤ金物店 電話二一六
大井商店 電話七六二
横田商店 電話七
村谷勘一商店 電話一二〇
內田商店 電話一二九
松本商店 電話四二七
姫島商店 電話一二三

仁川海岸町三ノ一 回漕、運送、通關 木村組 電話三二一番

京畿道立 仁川醫院 職員一同

仁川府廳 龜田市平 小野廣吉 森山清吾

仁川府長意里三二 仁川窯業株式會社 社長 谷本茂三郎 專務取締役 浦崎政吉

仁川本町 仁川ベンネット商會 電話一〇一番

仁川本町 運送回漕 福島組 電話長五三三番

小畑豐七

川口漁夫 園田隼人 藤藤正夫 井戸叡 李時文 生野元一郎 頴眞佐夫

仁川府仲町 川口病院

仁川 藤木利右衛門

仁川仲町 鈴木硝子店 電話九一四番

仁川本町 大淸菓子店

仁川穀物協會 電話三二一番

仁川府濱町(電話長六四三) 馬場精米所
仁川府濱町(電話長三一五) 朝鮮精米株式會社仁川支店
仁川府花町(電話長六〇八) 株式會社奧田精米所
仁川府宮町(電話長五五〇) 株式會社加藤精米所
仁川府花房町(電話長六九) 辻川精米所
仁川府萬石町(電話長九一二) 直野精米所
仁川府萬石町(電話長八五〇) 有馬精米所

仁川府濱町一七 力武物産株式會社 電話一七・長三五八番
社長 力武嘉次郎
專務取締役 力武黑左衛門
專務取締役 吉岡久

仁川府宮町 京城電氣株式會社 仁川支店 電話三四番・二二四番

仁川組合銀行
朝鮮銀行仁川支店
朝鮮殖産銀行仁川支店
朝鮮商業銀行仁川支店
安田銀行仁川支店
株式會社十八銀行仁川支店

朝鮮取引所仁川支店
三戸守三

生活の虹(1)

菊池寛作
志村立美畫

エレヴエーターガール (一)

王の宮居に眼近く、大阪系の資本で建てられた、様式のかはつた新しいビルデイング。丸ビルなどの壮大さはなけれ、それだけ小ヂンマリとして、感じのよい建築である。

八階まで窓を連ねた二百近いアパートは、有名な會社、辯護士事務所、歯醫者、醫院、雜誌社などが借りてゐる。

エレヴエーターが正面に五臺並んでゐる。地下室には美味しい割に安いので流行つてゐるオーロラグリルの食堂があり、ホール、休憩所、喫茶店などもある。だから普通のビルデイングよりは、どことなく華やかな空氣がたゞよつてゐる。

十七から二十一、二位までの少女が凡そ十五人位、交代で、エレヴエーターの運轉をしてゐる。

さびた金色といはうか、莊重な感じのする扉に、深いグリーンの昇降機に、白いカラーのついた制服を着た少女が、一人づゝ乘つてゐる。彼女等も亦、近代文明の生んだ制服の處女達である。

小さいハンドルの上げ下げで、エレヴエーターは、生物のやうにスルノ\と昇降する。彼女達の黒い愛らしい頭の上に、眞鍮の名札がかゝつてゐて、何某何子と記してある。

『何階ざいます』

（でございます）が略されてゐるのである。

『四階』

アメリカ人らしい明るい顔をした青年と、背丈も服装も遜色ない程、堂々とした日本の青年紳士とが四階で降りた。

一階から四階までのまたゝく間に、二人の會話に、ビューチフルと云ふ言葉が、二三度交はされた。

それは、彼等を運んだエレヴエーター・ガールに對する批評であつたらしい。

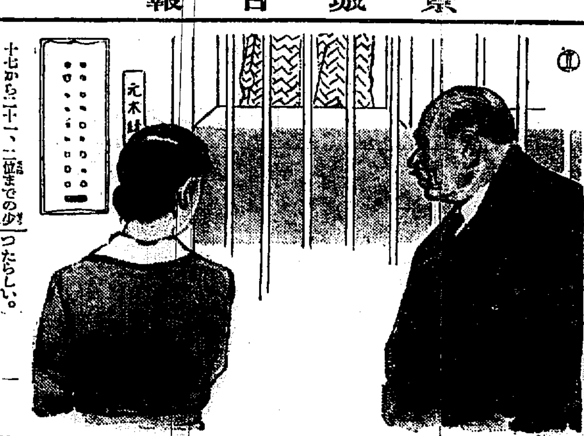
その少女の頭上には（元木額子）と云ふ名札が、かゝつてゐる。

ビューチフルの讃辭も偶ならず見事な黒髮と睫毛の濃々とした明眸の主である。肉を切り削いで出てゐるやうなかさな顔にやゝその顔のあたりにたゞよつてゐる高貴な感じ、冒瀆しがたい處女的な品位を持つてゐる職業婦人としては、犯しがたい品位を持つてゐる。

彼女は、お客に媚びもせず、と云つて無愛想でもなく、エレヴエーターに附屬してゐる美しいロボツトのやうに、餘計な動作をせず、餘計な口をきかず、その職務を正しくしてゐるのである。

『八階ざいます。お待ち遠さま』

そこまで、たゞ一人殘つてゐた重役級らしい禿頭の老人が、ニヤ\/\と好色らしい微笑を、やゝうつむき加減の額子の頭上へ殘したまゝ、廊下へ降りて行つた。



將棋新手合(三)

於東京市日本橋區蠣殼町二ノ七 溝呂木將棋所

左香落 六段 △阪田三吉(東京) 四段 ▲鈴木頑一(東京)

(圖は九六歩迄の局面)

▲鈴木氏 持駒 歩歩

▽ 阪田(前號より)

▲三八銀 △二四歩 ▲一六龍 △五二銀 ▲二二歩
△三三角 ▲四八玉 △六三銀左 ▲三九玉 △七四歩 ▲四六龍
△六四歩 ▲二八玉 △五二飛 ▲一一歩成
△四三金

溝呂木七段講評 (上手)三三角上りは當然の陣構きである (下手)一六龍は面白くない、茲は八五龍と廻つて九筋の位を占める策を狙ふべきである (下手)一二歩打は、敵角を牽制する手であるが、歩の少くない時の大切なる一歩であるから早いやうである茲は四八玉とする處である (上手)五二銀と引いてから、六三銀と固め金銀の陣纏りを圖つたのは本筋である

俳壇

新年募集文藝 新春雜詠 本社編輯局撰

天位(賞) 京城府本町四ノ三三 小島蜃氣樓
人形の瞳の光りたる初日影

地位(賞) 京城府黄金町六ノ六六 守分美沙江
潮遠き元日の門暮れゆけり

人位(賞) 仁川濱町一七 武川千代
兒等歌ふ初日まつ間の雪明り

＝五客＝

飾りみかんに暫らく匂ふ夕日哉 京城 安田翠甫
賑やかにどんど火の粉が空へ散つ 京城 山田佐人
街天や子の凧はやも舞ひ流みし 京城 澤野久子
刈田の光り元日の朝ゆくひとり 京城 守分美沙江
初日ほの〴〵松の青さが明けてくる 京城 澤野久子
初まふで松風ないで雪ふれる 京城 中島郁子
初日出窓の赤さをとりのゆく 京城 馬場笠峰
初日影満ちくる潮のゆたかなり 仁川 大橋明
初日まぶし風邪の子にしてひそかなる 仁川 下田秋也

『お斷り』 俳句短歌川柳とも、この外降り山の佳作秀逸がありますが、それは、次號より連載します

佳句(その一)

觸れ合ふて門松雪をふらす逃 京城 大和三四子
門松に雪舞ふのみの夕となる 京城 鍋石翠花
海からの匂ひ初東風の緣日向 京城 中島郁子
師柳白白と浮く夜の月覺め 鼠海 岩永征矢
若水の日向となつて舞ふ亙 京城 春海美貴子
初夢やまだ夢にゐて子に泣かれ 仁川 岸本以穫
世の雪飾り殺いろうるみ 京城 山田佐人
餅花のうす明りして夜の亙 金泉 小塚あや子
足袋の汇りうれしくきみと初詣 仁川 岸本以穫

川柳

新年募集文藝 新春雜詠 井上劍花坊選

天位(賞) 新義州府常盤町六ノ二四 吉川黎火
元旦へ錦秘す身の作業服

地位(賞) 仁川 信國柳葉子
中繼のラヂオで足らぬ寢正月

人位(賞) 仁川府本町二ノ二四 杉本笑門
履歴書を書初めにして失業苦

五客

轉向の心明るく屠蘇を受け 京城 島田磯次
刑務所へ廻送される年賀狀 仁川 河合露驛
餅焼が若返らせる今朝の春 咸山 小宮桃花
新探に郷里の年賀なつかしむ 京城 杉本美奇浪
改選が近く代議士から賀狀 仁川 池田可宵

佳句(一)

元旦はいづれも人の顏になり 咸山 李道長
元日を遊び疲れたとはなんだ 咸山 江口木蓮
新世帶餅にうつる春の顔 濟州面 小餅むならば
庭球の腕に羽子板あつけなし 水原 井上翁菜
春の歌君乘る旗の下 春川 大内露蝶
松の內嫂の化粧を觸み見る 平壤 藤井一夫
給仕看雜煮の膳が少し拗れ 大邱 新庄比沙府
元旦の大氣腑腑に浸みと任り 仁川
餅花に今年を光る裸兇 龍山 大西癸墾
雪道踏初日拜んだ信倒れ 京城 古川香作
トラックで運ぶ初荷のあつけなさ 京城 大西寶月
元日の寒い日向に丸くゐる 福岡 濱下秋水
採便二日三晩は睡しい 京城 小林夢庵

短歌

新年募集文藝 新春雜詠 尾上柴舟選

一等(賞) 仁川仲町一ノ五佃方 松永まさし
人のゆきゝひそけき見ればにひごしをまごころにほぎてつゝましからし

二等(賞) 京城城内町五〇 渡邊たけの
戰の父はかへずうからごち圍み合へる膳に雜煮一つ冷ゆ

三等(賞) 香川縣三豐郡西米島村志々島 山地哲雄
我が家の守りの船の船魂に春大漁の御酒たてまつる

秀逸(その一)

京城 松尾弥春
明君の子膝に乘すれば指先きにつける蜜の香が匂ふなり

郡川 久光はるみ
年のたつ宮居しづけし大鳥居の檜皮の雪のしづきそめつゝ

京城 深田秋水
居醉にほてる我が首筋に羽織裏の甲斐絹の冷えが觸れてこゝろよし

龍山 黑河多鶴雄
手のふれすよべのかるたの親しさを秘し想ふ今朝の目覺めに

春川
厚氷破れば溢るゝ溪水を嬉しみにつゝ若水に汲む

佳(一)

名古屋 安藤敏
神苑の木の間の闇にくだけつゝもえさかるなりみかがりの火は

名古屋 安藤宗太郎

元日の朝まだ明けず神棚にあげし燈明は赤くもえつゝ 明川 倉澤翠川
頭髮にときをつくれるレグホンの眞白き羽に射す初日かも 水原 矢野綠哉
あかつきを待ちつゝ居ればともし消えて障子明るく年立ちにけり 京城 島田磯次
初風呂に浸りて悔ゆる酒多き過ぎにし年を思ひゐるかな 京城 磐山卓朗
雪深き谿にせゝらぐ音のして春は漸く來らむとする 大邱 背木貫
もう一つと妻がしひたる屠蘇の醉ひやゝ過せしと父のたまふも 仁川 中田すぎ
旅ゆきて夫しまさねば訪ふ人もあらずさぶしき年始めなる 京城
うら山の森の林をつらぬきて小學校へ入る息かな

京城本町入口 阪井耳鼻咽喉科醫院 電話本局六四二番
京城本町二丁目 合資會社 山岸天佑堂
株式會社 京城美術倶樂部 京城南山町二 電話本局一三六〇
京城本町一丁目 合資會社 日章堂時計店 電話本局二八七四
京城湯屋組合
賀正
京城本町二丁目 北村帽子店 電話本局二四七一番
京城黄金町二ノ一九五 中西自轉車店 電話本局二三六七番
電本三〇〇三番 早川造型社 黄金町二丁目六七番地
京城鍾路 大東館 電話本局二八二〇番
京城鍾路一ノ七六 鍾路樂器店 電話光化門一五七〇番
京城長谷川町 絹糸布商 加藤商店

京城長谷川町 門田寫眞製版所 電話本局三一三〇番
京城府若草町一九 中田屋商店 支店 元山府旭町二ノ一 中田清一 電話本局三七三三
京城府太平通一丁目 印刷帳簿 博文社印刷所 電話本局三〇六一番 振替京城八一四五番
京城長谷川町 砂糖菱形 中島京城支店 電話本局四九六・二〇〇九
京城府公平町 大昌貿易會社 電光六一〇・七三 四二・三七 大昌貿易會社咸興出張所 電話光化門六九五
元山府會議員 猫橋勉 電話一〇五一番
元山府會議員 齋藤捨吉 元山本町五丁目 電話六一五番
元山商工會議所議員 池田一太郎 石油肥料貿易商 元山府本町三丁目 電話三一一番
元山府會議員 元山商工會議所議員 金鎭國 電話八二三番
元山府會議員 新谷新七 酒造業 元山府泉町 電話四三八番
元山府幸町 石版活版印刷業 小林印刷所 電話四四八番 振替京城一〇九四番
元山府仲町二丁目 レストラント 香陽軒 電話一〇六番
元山府本町三丁目 丁子屋出張店 電話三三番
元山府仲町一ノ一四 生牛肉 生豚肉 卸小賣 福永精肉店 店主 福永武介
元山府仲町三丁目 印刷業 佐藤廣吉 電話八二五番 振替京城一四二八番
元山府仲町 御料理 いろは 電話一〇一四番
元山府本町五丁目 喜久屋旅館 電話七四三番
元山府旭町三丁目 小泉藤三郎 電話四五一番
元山府本町一丁目 宮内醫院 宮内司 電話一一〇番
元山府仲町三丁目 食料品雜貨 濱屋商店 電話二二九番
元山府泉町一丁目 東書店 電話五五七番

元山府泉町二丁目 玩具商 オトヒメヤ 電話六四六番 同 本町二丁目 ユニオンバー 電話八五八番
元山府仲町二丁目 キリンヤ洋品店 電話七一七番
元山府仲町三丁目 つるや洋品店 電話一〇一番
江原道通川郡邑内 湖月旅館
元山府會議員 海陸物産貿易商 金永根 元山府北村洞 電話五六七番
元山府旭町二丁目 巴旅館 電話四五七番
元山府本町二丁目 金物商 杉村正治 電話五〇九・九二四番
元山府仲町一丁目 御旅館 愛媛館 電話三三三番
元山海産物商組合
元山旭町二丁目 合資會社 村谷商店 電話二一四番
各有名都市三中井ニテ販賣シマス 元山名物 磯乃雪 元山 吉野屋本店 元山 吉野屋支店
市内タクシー 家永自動車部 元山旭町二丁目 電話六〇四番
元山府本町三丁目 梅田寫眞館 電話六三五番
元山府春日町十一 朝鮮第一區潜水器漁業株式會社
元山無盡株式會社 元山府京町 電話三六・四六四番
江原道 通川郡教育會
江原道 通川五月會
咸南高原邑 鐵道局指定 松廼屋旅館
咸南高原邑 綠屋旅館

咸鏡南道 永興郡農會
咸南永興 永興警察署 署員一同
咸南高原邑 御料理 支那料理 蓬萊館
元山商工會議所議員 三隅儀一 貿易商 大盛商會 元山府春日町 電話七六六番 元山府仲町一 電話一二二番
元山府會議員 元山商工會議所議員 北谷徳一 元山府本町三丁目 電話九番 九六八番
咸南高原邑 藥種商 中島藥店

元山官署懇話會

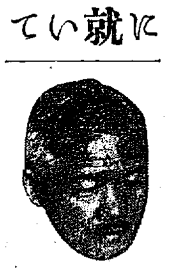
元山府會議員 元山商工會議所議員 藤岡喜一郎 材木商 元山府旭町三丁目 電話七一二番
元山府會議員 元山商工會議所議員 小野文吉 元山府京町 電話四六・三二一番
元山商工會議所議員 飯山喜三郎 洋品店 元山府本町三丁目 電話六五番
元山商工會議所議員 佐々木準三郎 水産業 造船業 元山府春日町 電話一五六番 一五九番 八五七番
元山商工會議所議員 中尾儀十郎 自轉車商 元山府本町四丁目 電話三六四番
咸南高原邑 武田作次郎

元山穀物商組合 元山精米業組合
川内里公立普通學校 小學校職員一同 咸南川内里
咸南高原驛前 鐵道局指定 旭屋旅館
咸南永興 永興産業組合
元山商工會議所 元山會議員 杉野多市 元山府泉町四丁目 電話五四〇番
元山府本町四丁目 自轉車商 藤本商會 電話四〇七番
山川醫院 元山府本町一丁目 臨海莊 元山府春日町海岸 院長 山川恒之
元山府春日町 元德漁業組合
絹糸布商 伊藤繁商店 元山府仲町三丁目十六番地 電話五一六番 振替口座京城七一四〇番
元山府海岸通四丁目 元山商工會議所議員 大村鎌次郎 大村製材所(電話六〇六)

元山商工會議所議員 葭濱信夫 元山府泉町一丁目 電話一〇四番
咸南川内里本町 御旅館 富士屋旅館 (高原驛前營業中)
咸南水産試驗所高原支場
沈瑞河 咸南高原郡上山面
川内里郵便所長 猪原方作 咸南川内里
小野田セメント川内里支社 酒保 星野兵次 咸南川内里
各種酒類品評會一等賞受領 松月燒酎製造所 高原釀酒所 咸南高原邑
元山府旭町二丁目 御旅館 大東館 電話二五番・二六番
御旅館 甘泉亭
元山府泉町三丁目 元山便利社 力德芳郎 電話九四〇番

元山府泉町三丁目 丸芳本店 電話六二番・一五〇番
元山府本町四丁目 丸芳會館 電話一三〇番・一一四番
元山府本町一丁目 芳丸自動車商會 電話四三番・一一〇番
元山府廳職員一同
元山遊廓組合 (いろは順) いろは樓 入舟樓 玉川樓 高砂 吾妻樓 清見樓 新盛樓
元山府本町三丁目 小林儀三郎 電話五五番・一〇三番
元山水力電氣株式會社
島谷汽船株式會社
咸鏡南道 安邊公人倶樂部
咸南高原郡邑内 高原官民有志一同
咸南永興邑内 永興公立普通學校 永興公立農業補習學校 永興公立尋常高等小學校 職員一同
元山水曜會 朝鮮郵船元山支店 朝鮮運送元山支店 國際通運元山支店 元山倉庫株式會社 元山冷藏株式會社 元山水力電氣株式會社
元山土曜會 東洋拓殖株式會社元山支店 東一銀行元山支店 朝鮮銀行元山支店 朝鮮殖産銀行元山支店 朝鮮商業銀行元山支店 十八銀行元山支店

朝鮮犬に就いて



城大豫科教授　森為三

東亞固有の犬

東部亞細亞には古來固有の犬がある。その特徴は、耳が立つて居て尾を背上に卷いて居る所謂卷耳卷尾のキリッとした姿態をもつて居ることである、この耳の立つて居ることは、他の獸類にも見る所であるが、尾を卷き上げて居ることは、全く他に見ることの出來ない點である。この特徴は內地、朝鮮支那、シベリア等東部アジア固有の犬に通ずるものである

朝鮮固有の犬

朝鮮固有の犬は、前記の如き特徵のある犬であるが、近時洋犬が多數入りこんで雜婚の結果、耳は垂れ尾は下がりダラッとした姿態のものになり、郡部に於ては全く純粹のものを見ることは出來ず、僻陬田舍に行かなければ見られない樣になつた。內地固有の日本犬も同樣で、否もつと甚だしく殆んど絕滅に近い狀態なので、從つて近時內地に於ては、日本犬保存會を設け、日本犬の調査保護増殖をはかり、日本犬の一種秋田犬の如き天然記念物として保存さるゝ樣になつた。朝鮮固有の犬も純血のものは交通の發達するに從ひ、急激に減じつゝあるから、內地と同樣に、速かに適當の處置をとり保存をはからねばならぬと考へる

この朝鮮固有の犬は、自分が朝鮮の動植物調査に廻つた序でに調べた結果によると、日本犬に就て故東京帝國大學理學部教授渡瀨庄三郎博士の御調査になつたと同樣に三つの系統のものがあると考察される

最北系統

この系統の犬は體が大形で體色は純白のものが多いが中には黑や褐色のものもある。毛は厚くて長く柔かいから毛皮として珍重される尾は太くて短かく之を背上に卷いて居る。耳の先は丸くして左右に開き、眼はある角度をなして上に向つて居る。鼻先は黑く、口吻は尖つて居る樣に見える。自分はこの系統の犬を咸鏡南北道の高地帶（蓋馬高地）に於て多く見た。この犬は蒙亞大陸の北部から支那の一部に居るものでパレオシベリア民族に伺はれたもので、朝鮮では北方に多く、北方から入つた樣に思はれる

中北系統

この系統の犬は、體は中形で、耳は長くして立ち、口吻は長く、體は三角形を呈し尾は卷いて居るが少しく横に向いて居る、毛は短くして長くない、體色は種々あるが褐色又は黑赤の交り等が普通で喉から上胸の白いのもある、全鮮到る處で見られたが洋犬の血が混じて純粹のものを見ること稀である しかし江原道や慶尙北道の田舍に行くと、今でも純粹のものが見られる。この系統の犬はペレオシベリヤ民族を追ふて勢力を占めた、ネオシベリア民族に伺はれて居たもので、シベリアの南部支那から朝鮮內地に分布して居る

南方系統

この系統の犬は體は中形又は小形で色は赤く、毛は短くして粗い尾は割合に長くして毛は短く、後肢は發達して居ない。この系統の犬は朝鮮には少く、自分は濟州島で見たのみである。この種の犬は東印度、フイリッピン、臺灣內地の南部に多く見られる

家犬の起原

古來家犬の起原は論議の焦點である。或は狼の一種或は印度に產するヂアッカル、或は朝鮮に產するヌクテ、或は內地のヤマイヌを之に當て、或は支那產の豺、其の他是等に類似せる小形食肉獸より由來せりと云はれて居り錯する所がない。かの有名な進化論者のダルウキン氏は『犬は凡ての狼及び之に近い小形の食肉獸から起つたものだ』と云つて居る。兎に角、其の骨骼、殊に頭骨を調査すると、其の構造殆ど狼に類似して居る

朝鮮犬研究の必要

かくの如くその起源は尙不明であるが家畜としての特性が遺憾なく見へて居り人類最初の家畜動物であり、既に新石器時代の遺跡に其の骨骼が認められる。朝鮮に於ても、慶尙南道金海の遺跡から故濱田耕作氏により、同東萊の遺跡から及川民治郞氏により、咸鏡北道油坂の遺跡から故松野敏治氏により、同羅南近くの元師臺の遺跡から横山將三郞氏により、平安南道平壤近くの美林里の遺跡から横山將三郞氏と予とにより、發掘された犬の骨骼（主として頭骨）が予の手許にある。是等の犬の骨骼を調査すると朝鮮の石器時代の住民が如何なる種類の犬を飼養せしかがわかるのである。それで予は現在の朝鮮の固有の犬を調査すると共に、石器時代の犬の遺骨を集め調査しつゝあるものである。既に美林里と金海との遺骨に就ては東京の人類學雜誌に其の結果を發表しておいた。其の要點は美林里の下層の古い所から發掘されたものはヨーロッパの石器時代に棲息して居つた杭犬と云ふ犬に近いもので極めて小形で（現存のテリヤ種の如き）しかも上下顎とも大齒の牙が切られて居ることは興味ある事實である。多分家畜となつて年代を經ない所から、咬裂かない樣に切つたものと思はれる。美林里の上層と金海出土のものは、ヨーロッパ石器時代に棲息して居つた灰犬種に近いもので中形種である

犬は家畜として狩獵、衣食、運搬軍用其の他用途極めて廣汎に亘り人生に甚大なる關係がある 殊に未開の民族には必須缺くべからざるもので其の移住に際しては必ず同伴されたもので從つて民族の由來を知るには其民族の飼養せし犬を調査することが必要である。朝鮮の固有の犬も先史時代に於ける民族の移住に伴つて渡來されたものと見做されるべきである故に自分は現在の朝鮮固有の犬の系統を調査すると共に石器時代に於ける犬の遺骨を調べ、而して兩者の關係を究明し、是等を飼養せし民族に及ぼし、以て太古に於ける朝鮮民族の由來發展の狀態を考察する一助としたいと思つて居る勿論この目的を達成するには、犬そのものを動物學的に研究するはいふまでもなく之を考古學的に或は古文學的に、其の他種々の方面より研究することが必要である。

狛犬に就て

內地に於ては神社の前に石彫又は銅の狛犬の像がある、この像を見ると獅子と犬との間の子のやうなもので、現在の朝鮮犬にこれに似たものはない。多分朝鮮の古代に於て空想的に作つた動物の彫刻物が內地に渡り、コマイヌと稱される樣になつたのではないかと考へる、狛犬のことは種々の書物に出てゐるが、『こまいぬ狛犬と書けり。其の始め高麗より渡りける獅子の像なり云々』とあるのが、最もあたつてゐると思ふ。又狛犬の字を解くは矢張り同書に『狛犬とよべるは其の始め狛の國より來れる犴也』とある、其の狛の國の中狛の國から來た犬と云ふ意味で狛犬と書きコマイヌと讀むものならんか

犬物語り

犬に關する種々の傳說

總督府農林局にて　吉田雄次郞

戌の年と犬とは學問上何等の關係もないなど、理爪らしく理窟を並べる必要もあるまい、支那の星學家は十二支に狗を配して戌に配せしめ第十一列に置いてある凡そ戌年に生れたる人は皆狗に關する障である、文學家は馬、羊、虎、狗の四動物を以て忠孝節義の獸としてある而して狗は動物中忠堅實穀を以て重んぜられて居る、漢高は功臣を功狗と言つた韓信は狡兎死して走狗烹らると喩へた諸葛氏の三兄弟は並龍虎狗と云ひ時の人相傳へて蜀は其龍を得吳は其虎を得魏は其狗を得たりと稱へた、以て古來狗は龍虎と併稱せられて居る

三戸萬象畫伯作

犬は 斯くの如く人類に重んぜられ今では遂に家族の一員として無ければならぬ程珍重せられ可愛がられてゐる日本の小兒は先づ犬張子によつて犬と親む犬張子を小兒の側に置いて置けば魔の怪が近寄くのを防ぎ且丈夫に育つとの事で生れて卅三日目に親族故舊から犬張子を祝として贈られ宮詣りをし稍長ずるに及びては玩具としてはなくてならぬ物とされてある

×

姙娠の岩田帶は五ヶ月目の戌の日に行はるゝは狗の如く安產なれとの祈願から出たのである又四國邊りには犬神と云ふ巫術師がある關東地方の狐使ひと同じやうなもので犬の靈を使つて人々の肉體や精神上に或變化を起させると信じて居る迷信もある

我國 で歷史に初めて犬の見えたのは垂仁天皇の八十六年丹波國桑田村の甕襲といへる人の飼犬足往を殺し其貉の腹部より八坂瓊の勾玉出でしとの說話あり犬を材料にしたお伽噺は可成ある中でも我々は曾て一度は必ず聞かされた桃太郞の鬼ヶ島退治にも日本一の吉備團子そいつを一つ貰つて犬が先頭を承つたと云ふことや裏の畑でポチが鳴く正直爺さん掘つたれば大判小判がざく〳〵現れた

×

伊勢曾物語りに出て來る犬は慾張りであつた彼れは肉切れを啣へて橋の上を通り不圖下を見ると水面に一匹の犬の姿が現れた見れば其の犬は美味しさうな肉を啣へて居るのでそれを取り返さうと思つてワーンと思はず口を開いて吠えた途端にボタリと自分の啣へて居る肉を川の中へ落して了つた

×

文學に現れた犬と謂へば直ぐ馬琴の八犬傳を思ひ出す唯一匹の八房と云ふ犬からあれだけの大作を出した事は犬文學として稀有のものであらう八犬傳の中で

最も よく犬の描寫されて居るのは、八房が伏姬を戀慕ふ處夫から富山の山中である如是畜生發菩提心、と水晶の珠數の文字の現れる處など實に面白い、八犬傳に就ておもひ出すのはおなじ馬琴の描いた犬に山雄と野風がある、即ち籌明が八丁碌の夏平治と山中に獵し眠くなつて眠つてゐると犬が頻りに裾を引く籌明はまだ起きない餘りに執拗くするので短氣な籌明は忽ち一刀の下に首を切ると犬の首は樹に飛んだ、不圖見れば今しも大蛇の梢から鎌首を垂れて一口に籌明を喰はふとした蛇の咽喉笛見事に喰ひ切つてゐたのである

×

之れに能く似た話が今昔物語りにも出て居るが略する。昔播磨に枚夫と云ふものあり、其の從僕と通ず、從事の現れん事を恐れ主を欺き山中に猪、鹿の集まる所あり

二人 竊かに行き獵せんとて飼ひ置ける二匹の獵犬と山中を行くこと數十里、從者高處に上り弓をひきて將に枚夫を射殺さんとす、枚夫膽の敵狼を解き、二犬に分ち與へて曰く我死せば屍を噉み遺餘あらしむなかれ、我少壯より弱武の變あり今從に欺かれて空しく山中に死す、國人我屍を指笑せんことを恐ふ、と言終るや一犬は躍りて從の

咽喉 を咬む枚夫家に歸り喪を送ひ二犬を子とし、我死田資を傾へて二犬死す枚夫即ち田資を捨て伽藍を建て其靈を祀り二神を地主神とす播州犬寺之なりと云ふ

×

支那に有名な義犬の碑といふものがある、其の由來が和漢三才圖繪に載せられて居る吳の孫權の時李信純と云ふものがあつた、家に一匹の犬を飼ひ、黑龍と名付けて非常に寵愛して居た、一日純大醉して野を行き、偶の叢の中に寢た、恰度此の時太守鄭瑕と云ふ人獵に出たが其の邊り偶りに

草が 深いので、臣に命じて燒かしめた、草は忽ち紅蓮の焰となつて、漸次信純の寢て居る方へ近づいて來た、大醉した信純未が悟らず、火は益近くなつて危機は迫つたのである、此時愛犬黑龍は狂氣の樣になり直ぐ傍の谷の中に入り全身をぬらして信純の寢て居る側の

草の 中を轉げまはり僅かに火を防ぎ再三再四谷の中へ入りそしてこのやうに主人をたすけた然も畜類の悲しさには全身疲勞し皮膚は傷つき、遂にその傍にたほれてしまつた信純の目を覺ました時には火は消えたが犬は蘇生しなかつた信純初めて夫れと覺り慟哭して犬の死を悼んだ太守鄭瑕此の事を聞き大に感じ、犬の恩を報ずる事人よりも深いと、感心し立派な棺を造りて其屍を入れ鄭重に葬つて義犬の基に十餘丈も高い碑を紀宿といふ處に建てたと云ふ

×

逗子の忠犬碑は昭和六年九月十八日奉天北大營の夜戰に於て戰死せる、故陸軍步兵少佐板倉至氏の愛犬金剛、那智の忠犬の

戰功 を永遠に記念せんが爲逗子の延命寺畔に建設せられたもので、荷閑な緣の木立を背景として、ブロンズのりりしい姿の兩像は、北村利男氏の作で『忠犬の碑』てふ題字は陸軍大臣荒木貞夫氏の筆になつたもので、此の二匹の軍犬は今回はじめて制定せられた軍用犬功勞章を授けられ、その戰功の偉大なりしことはすでに周知の通りである。殊に建碑の端緒が故板倉少佐遺族の居住せらるゝ逗子の小學兒童の純情になつたことが一層この舉を美しくし有名にしたことは否めない。シェパード、現在全盛を極めてゐる軍用犬シェパードは獨逸が原產地で

その 祖先は南獨逸から瑞西あたりの牧羊者が牧羊犬として飼はれたものである、一八九〇年頃ドイツの都會地方で狼みたいな犬を警察犬として飼育することが流行した當時チ市から狼類似の耳の立つた狼色した犬をさがし出したけれど、體が小さく理想とする標準さもない同業者も種々考へて同國ピ市に狼色した體軀の堂々たるゲートの立派な犬が居ると云ふので

調べ たが惜しい事には垂れ耳で狼に似付かない、ピ市の人達は元來動物の飼育並に改良淘汰に特殊な技能を有つて居るので羊よりも犬の飼育改良に興味を持ちチ市から耳の立つた前記の小さい犬を輸入して自分の郷土に育つて垂耳の犬にかけて拵へた犬が理想として居たシェパード、今日のシェパードの始祖である、それから盛んにシェパードの飼育が行はれたが、其後有識者が集まつて『シェパードの飼育繁殖の

目的 は使役犬となすに外ならない、之を措いてシェパードの飼育、繁殖はない』といふスローガンの下に、シェパード協會を組織し獨逸人らしく犬の資格を制定した。昌慶苑動物園に飼はれてゐるヌクテ（狼の一種）の牝にシェパードの牡を交配して雜種仔犬を研究する計畫も中々面白い結果を齎すことであらふと思ふ

宿なしの、こたつ夜中にくらいつき
侍の犬もやっぱり椽の下
犬のふん、口三味線の糸が切れ

古來犬は人間と最も密接な關係があり、人間の生活とこく因緣の深いことは世界各國の傳說によつても明瞭であります

然るに犬に關する古川柳は餘り澤山ありません故に、犬そのものゝ句以外犬と關係のあるものや、狆についての句をも列舉して披露することに致しました

宿なしの炬燵夜中にくらひつき（名代が犬を炬燵代りにする）

犬を追ふ棒を投げるが仕舞なり（逆も人間は追ひつけませぬ）

犬嫉ひ尻投げのやうに袖に石（こんな人間にかゝつては犬もやりきれません）

病ひ犬ちと追はれてはたんと逃げ（可哀さうです）

眞つ白な犬谷須屋に揺どられる（いたづらをしてはいけません）

源左衞門盆を蒔ると犬が吠え（謠曲の鉢の木にある佐野源左衞門が鎌倉よりの召集に應じ、古ぼけた鎧を着て馳參ずる）

子を持つて近所の犬の名を覺え（親の子供に對する愛情が目に見える樣です）

うなされる座頭犬の尾踏んだ夢（ふき出したくなります）

犬の椀のけてつくぼう茶園とり（下賤な茶園とりの姿がありありと目に浮びます）

猿の子を犬の長輔佐するつぶれ前

大阪屋尾間の白い犬を飼ひ（逆君は大野道犬治長を愛し馬中その言を聞いて遂に豐臣氏を滅亡に陷れた、猿は秀吉犬は大野治長、尾の白い馬は主人に禍すると云ふ諺を尾間の白い犬にしたもの）

猿末期犬と虎とに子を託し（犬は戌年生れの前田利家虎は寅年生れの德川家康、秀吉死に臨んで後事を兩人に託す）

まきざへに資朝犬に吠えたられる（日野資朝東寺の門で雨宿りして多くの乞食の集まりを見てゐる）

犬腹が枯れてかひなき柳腹（犬腹は犬公方といはれた將軍綱吉、柳腹は當時將軍の寵愛をうけ寵威を逞うした柳澤吉保のこと）

臭ぎに來た犬に屁を喰らはせる（犬は間者、赤穗はさび刀、忠臣藏大石良雄の苦心を諷したもの）

一力で性根をさぐる犬とさぎ（一力は大石の遊興した祇園一力樓のこと）

一力で犬に喰はせた赤穗（右に同じ）

侍の犬もやつぱり椽の下（右に同じ）

九代目の末にまちんの値がさがり（まちんは木の實で毒物）

九代目はそこいら中が犬だらけ

一とさかり鎌倉中が糞だらけ

高時の夜廻りやたら踏みつける

初鰹高時犬にくらはせる（初かつをは極めて値が高い）（鎌倉九代目の執權高時鬪狗を好み諸國にふれて多くの犬を鎌倉に集め、魚鳥肉をくはせ錦繡の衣をきせ、月に十二度犬合せとて犬を放してたゝかはせ上下に見物させた、五分ともこれを諷したもの）

犬の姿口三味線の糸がきれ（御自慢の口三味線、よい氣分で步いてゐたところ犬の糞をふみつけた）

國寺で勅使と見ると犬が吠え（小野小町老衰して近江關寺のあたりにゐるといふことを時の帝御召され大納言行家を遣はし『雲の上はありし昔にかはらねど見し玉だれの內やゆかしき』との御歌を賜はつたと申します）

了竹は娘を餌に犬となり（了竹は太田了竹とて忠臣藏の天野屋義平の舅であるが犬となつた惡い奴です）

何とぞ狆をお次へと狼廻し（お正月の狼廻し）

鉦打の中で地犬に吠えてゐる（鉦打は御乘物）

花の御神もつれてと御意なされ

奧家老地犬を叱る花の山（二句とも大奧のお花見）

蒸籠の蓋を閉ると狆が吠え

狆を縛つて蒸籠の蓋をとり（繪島は將軍大奧の老女、元來淫婦なもの、山村座の俳優生島新五郞と深くなり密かに城中に引入れ樂んでゐたが遂に露見して死一等を減じ遠島に處せられたと云ふ）

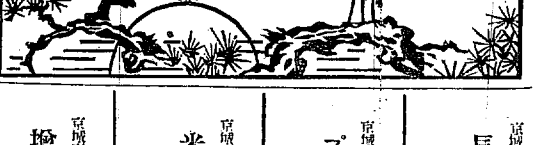
京城櫻井町一　拔天工務所　井手實藏　電話本局一八七一

京城黃金町二ノ九　石福京城出張所　電話本局三三六八

大日本人造肥料株式會社　京城出張所

朝鮮トラック運輸會社京城出張所　京城黃金町五ノ二九　電話本局一八六八番

賀正



京城本町五　長崎屋本店　電話本局二一九三

京城本町二（本ビル一階）　プレイガイド　電話本局三七七四

京城本町一（明治町入口）　米澤萬正堂　電話本局四〇一六

京城南大門通二　增田食料品店　電話本局二五三九　四二

メトロ映畫配給所　上田虎雄　電話本局二三一六

京城鍾路二丁目　樂園會館　電話光化門一六〇八　二七一七

富士電機製造株式會社代理店
古河電氣工業株式會社京城出張所
古河石炭鑛業株式會社京城出張所
東亞ペイント製造株式會社京城出張所
橫濱護謨製造株式會社朝鮮出張所
京城府南大門通り五丁目一番地

京城齒科醫師會

京城府貞洞　社團法人朝鮮放送協會　電話光化門二一五〇番

京城府本町一丁目　株式會社三中井　電話本局四〇五〇番

京城府長谷川町　盛文堂新聞舖　萩森寅市　電話本局四二一六番

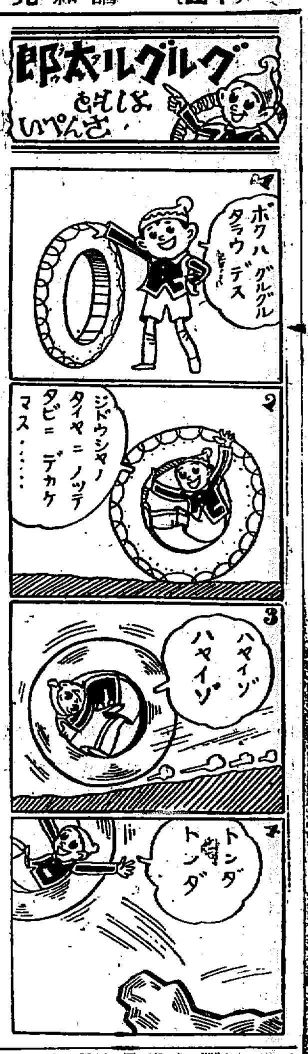
京城府永樂町二ノ二五　共濟無盡株式會社　電話本局二六四一　一六〇〇

京城府本町三丁目九四　京城演藝館　分島周次郞　電話本局一五一四番

京城府南大門通三ノ九五　高瀨合名會社京城支店　電話本局三三八　三九番　四七八

京城府明治町二ノ二二　秋田株式現物店　秋田秀穗　電話本局四八二〇番

京城南大門市場　食料品洋酒罐詰問屋　刃辻本商店　電話本局七五番・六四一番・一七七五番



太平洋時代の序曲

國際爭霸戰の開幕
じりじり迫る英、米、蘇

躍進日本の腹藝
大義を宇内に顯揚

『地中海時代は米大陸の發見と共に滅びた、大西洋時代は今や發展の絕頂にある、すべてのもの〻內最も偉大な太平洋時代は、今將に曉を告げようとして居る』

——セオドア・ルーズヴエルト——

際涯無き大海原の彼方水天相接する所、一抹の瑞雲が段々擴がつて東天紅を告げれば茲に一九三四年太平洋上國際爭霸戰の幕は切つて落される。南北九千三百哩東西實に一萬哩、此活舞臺に登場するものは曰く大英聯邦、アメリカ合衆國、曰くソヴエート・ロシア、而して最後に新日本帝國！朝日に映じて目映ゆい許りの金波銀波の底には、やがて萬丈の狂瀾を捲き起こすべき黒潮が渦つて居るではないか

新興日本の躍進
世界市場の戰慄
尖銳化する國際經濟戰

太平洋上に霸制を確立するものは、先づ國際經濟戰に於ける優勝者とならねばならぬ。社會主義經濟學者オイゲン・ヴアルガ氏が、いみじくも道破して居る通り『資本主義の破局面に現在の循環性恐慌を資本主義の土壤の上で打開しようとした』國際經濟會議は全世界六十餘國の『ブレーン』を總動員したにも拘らず、惨めな失敗に終つて了つた。而してその後に來たものは？『狭い利己的な經濟的國家主義』ではないか。國際爲替比率協定案を蹴飛ばしてロンドン會議に引導を渡したルーズヴエルト大統領は、ホーリー・スムート關税によつて代表される高率保護關税の障壁の內に御自分だけの經濟復興運動に大童だ。アダム・スミス以來自由貿易政策に據つて全世界に無敵な商權を確立した英本國も、藏相ネヴイル・チエムバーレン氏の音頭取りで、保護政策へ鮮かな轉向振りを示し、日沒のないその厖大な版圖を悉く自國品だけに獨占しようとして居る。然し乍ら高度の合理化を遂げた工業組織と低廉な勞銀と、而して圓爲替安とを武器とする新興商業國の商品は、之等一切の人爲的障碍を突破し、『メード・イン・ジャパン』の商標に乗つて、印度に濠洲にアフリカに縦々乎として販路を開拓してゐる。イタリーで越後產のマカロニーが幅を利かし、カサブランカには清水港の茶が輸出され、米國のクリスマス・トリーは日本製豆球で飾られる。曾て『世界工場』と稱せられランカシア綿業界は殆んど操業停止の狀態に陥り『ブラック・カントリー』に再び黒煙を見ない有様、更に所謂九・一八事件を轉機として激化した支那の排日運動は、塘沽停戰協定の成立、華北に於ける南部政權の確立並に財政部長宋子文氏の下野で著しく緩和し、長江一帯に於ける日支貿易は俄然好轉するに至つた。熱河を併せて沃野千里、滿洲國と提携して東亞に强力な經濟ブロックを構成するのが帝國百年の國策である以上、長江の通商權を確保しようとする英國、門戸開放、機會均等の原則を固執し、『支那の領土的行政的保全』を根據に、所謂『侵略の成果』を認めまいとする米國と、經濟的乃至政治的に緊迫した對立關係に陥るのは必然の趨勢だ

かゝる險悪な國際情勢をよそに大西洋聯合艦隊に太平洋戰鬪艦隊を綱羅する所謂合衆國艦隊百餘隻の精鋭は、昨春四月サン・ペドロ根據地出發し紐育相銜んで大西洋へ、パナマ運河開始以來の大回航を行ふ。然し『長期航海により海戰演習の蘊蓄を積めば』九月再び太平洋岸へ歸還し遙かに東洋の一角を睥睨しようといふのだ。ロンドン海軍會議以後過去三ヶ年間に、主力艦四隻の改裝を完了し大巡洋艦九隻輕巡洋艦三隻を竣工就役させ、目下大巡洋艦五隻、航空母艦一隻、驅逐艦二隻、驅逐艦八隻を建造してゐる米國政府は、『ワシントン・ロンドン兩海軍條約の最高限度迄』と稱して更に國家產業復興法による公共事業案で卅二隻、一九三四年豫算で五隻、合計卅七隻の新艦建造に着手しようとして居る。然も假想敵たる帝國海軍に對しては、あく迄『五、五、三』の比率を押付けようとして居ることは、海軍長官クロード・スワンソン氏の報告に明かだ。空の女王『メーコン』號を先頭に一千數百機の優秀機を總動員し、渡洋作戰に基く輪形陣を以て『合衆國艦隊』が太平洋を西へ西へと進航する時、六割の劣勢にある帝國海軍が洋上の生命線を確保することは、海戰に關するN自乘の法則を援用する迄もなく至難と言はねばならぬ。更に一九三六年豫定の通りシンガポール要塞の工事が完了すれば、帝國の南方航路を扼するマラッカ海峡の入口に、新に難攻不落のジブラルターが出現することゝなろう。新要塞に空軍一個中隊を配置するに決した英本國政府の意圖は言はずして明かだ。然も一聯の不可侵條約及び侵略國定議協約により、西部國境の平和の險出を頸き、遙に帝國と主義と握手したソヴエート・ロシアが、かゝる國際情勢の緊迫を好機として『東方經略』を策し早くもウラヂオストック及び黒龍江の防備を固め、赤軍の精鋭をソ滿國境に集結して居るとすれば、腹背の强敵に脅かされて帝國の危機は遂に到來しやう

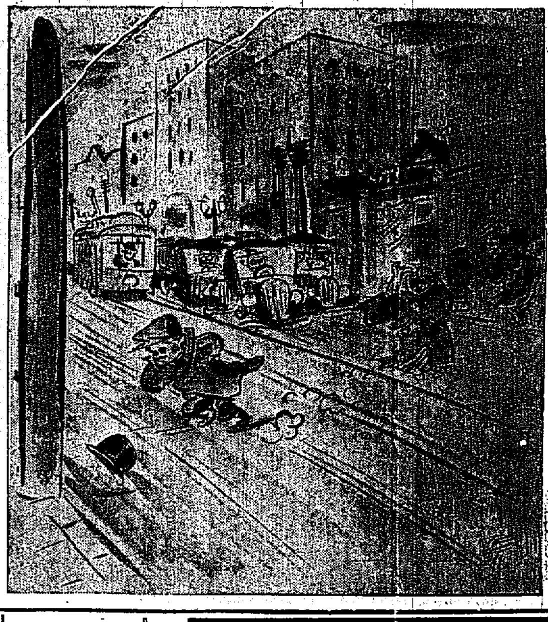
三五年の危機へ
泰然不動の日本
帝國堅持の三原則

『五、五、三』の日英米三國海軍力比率が、到底帝國の安全を保障し得ないとすれば、來るべき第二次ワシントン會議に於て、帝國政府は現行比率の撤廢、軍備平等權の確立を主張するであらう。更に帝國政府が聯盟を脱退した結果として、南洋委任統治領の歸屬問題が會議に持出される樣なことがあれば、帝國政府は一九一九年五月聯合國最高會議が舊ドイツ領を分割委任した事實を根據に、現委任統治領の主權を確保するに努めねばならぬ。況んや滿洲國承認に就いては斷然既に決して、現實を逃避した九ヶ國條約の解釋論等で毫もゆるぎもしやしない。以上三原則は狭隘な國土に幾何級數的に増加する人口を擁する帝國政府が所謂『太陽の下に地位』を求める最少限の要求なのだ。今を去る四世紀の昔、スペインの探檢家フエルヂナンド・デ・マゼランが、僅か白帆の輕舟を操つて南米の突端を迂回し、平穏湖のやうな海洋に入り込んだ時、彼はこの海洋を『太平洋』と名付けた

悠々上下三千年此の巨海に沿ふて生存を續けて來た日東帝國は、太平洋をしてその名の如くあらしめる以外まつたく他意あるものではない

『信ヲ國際ニ厚クシ大義ヲ宇內ニ顯揚スル』とは聯盟脱退の詔書に闡明された帝國の國是である。太平洋を第二次世界大戰の修羅場と化せしめるか否かは、英米兩國が國家的生存權の認識に基く帝國政府の公正な主張を受け容れるかどうかによつて決しやう

犬 近藤浩一路畫



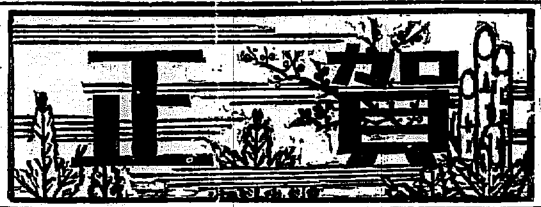
坊ちやんのラグビー
宍戸左行

おトウさんの帽子が飛んだ とたんに 坊ちやんは脱兎の勢ひで追ひついて ラグビーのドリブルの要領をもつて蹴ころがしながら向ふ側に渡つた 御蔭でおトウさんの大切な帽子は自動車に轢き潰されないで助かつた

お姑さんに氣に入る法

【シカゴ發】聯合】シカゴ大學社會學教授バージェス博士は古今東西共通する家庭の問題『花嫁は如何にすれば姑御の氣に入るか』といふことに就いて六千人の若夫婦に質問書を發しその回答を纏めて見たところ大體次の樣な結果を得た。即ち若くも姑と仲好く幸福に暮したいとおもふならば

一、斷じてお母さんの『流儀』を批判してはいけません
一、お母さんの家政方法を改めようとしてはいけません
一、お母さんのお伴をすることを嫌つてはいけません
一、お母さんの病氣を輕く蔑視してはいけません。縦令それが本當の病氣にせよお母さんが自分だけで病氣になつた樣な振りの時にせよ
一、お母さんの癖をとやかくいつてはいけません
一、忍耐を實行することを忘れてはいけません。何時如何なる時にでも



京城酒類卸商組合 (イロハ順)

京城府公平洞 河野本店 電話光化門三四五番

京城府明治町二丁目 山邑酒造會社支店 電話本局八四九番・一四五四番

京城府本町二丁目 山本酒店 電話(八局五七五番

京城府本町二丁目 株式會社 前田商店 電話本局一三七番・七六四番

京城府長谷川町 株式會社 增田屋支店 電話本局三五四番・七九六番

京城府長谷川町 朝鮮土地信託株式會社 電話本局一一九番・二七九六番

京城府黄金町三丁目 平井勳材木店 電話本局二七九四番

京城羅紗組合

京城本町二 貿易石炭 林田金次郎 電話本局六五□

京城左官組合

京城本町三丁目 蓄音器三味線 土出松音堂 電話本局二一六七番

京城府本町二丁目 日韓書房 電話本局一四五番

京城府本町二丁目 高木鞄店 電話本局一三四番

京城府本町三丁目 近藤無線電氣商會 電話本局二六九九番

證券取引組合員 (登錄番號順)

櫻井秀專
金光準
白井友之助
全北企業株式會社
德泰公司
山口恒太郎
京城證券株式會社
成清竹松
松山主計
古野義行
金益證券株式會社
田中道太郎
立山榮吉
白樂三
取引員組合事務所

京城銀行集會所倶樂部會社團

東洋拓殖株式會社
京城電氣株式會社
三井物產株式會社
三菱商事京城支店
朝鮮鐵道株式會社
朝鮮郵船株式會社
金剛山電氣鐵道株式會社
朝鮮火災海上保險株式會社
株式會社朝鮮取引所
不二興業株式會社
朝鮮土地改良株式會社
朝鮮運送株式會社
滿鐵京城販賣事務所
朝鮮信託株式會社

コドモノペーヂ

あけましておめでたう

今年は　紀元二千五百九十四年　西暦一千九百卅四年

戌の年と申します

オトギバナシ　犬・犬　上

梶　吉雄

1

ある公園のベンチのところに、年老つたルンペンがゐました。まづしいルンペンながら、犬が大好き、どこからか一匹の犬をもらつてきて、それを可愛がつて育てゝゐました。

その犬は、とても強くて、喧嘩をしても負けたことがありません。それがいつのまにか都いつぱいに評判の有名な犬になつたのです。

ルンペンの爺さんは、それを自慢にしてゐましたが、よく喧嘩を申込まれるのには困つてゐました。

『乱暴の犬がやつてきて、うちの犬をいぢめて困る。また、台所へきて食べものをとつていつて困る』

さうかと思ふと、遠くからわざ／＼強さうな犬をひつぱつてきて

『さ、どつちが強いか一騎討をさせやう』

といどんできました。しかし喧嘩すると、大きな強さうな金の犬のほうが負けて、まづしい小さなルンペンの犬のほうが勝つてしまふのです。――だから、ルンペンの爺さん、とても愉快でありました。

ある日のこと、公園内で、ズドン、といふ無気味な鉄砲の音がしたのです。

『なんだらう！』

と、道ゆく人々がその方をふりむきますと一匹の犬が、草の上にたふれて、まつ赤な血に染んでゐました。それはルンペンの犬でした。

2

『あんまり強い犬だから、憎まれたのだ』

『これはルンペンの爺さんの犬でせう』

『誰かがピストルをうつて殺したかも知れないが、卑怯なことをするもんだ』

と、そこにあつまつた小僧や商人などがこんな話をしてゐました

ルンペンのお爺さんの嘆きは、もう申しやうもないほどです。歌の文句にあるとほり、三年三月、泣いてくらしたほどでした。

けれどもルンペンの爺さんにも意気地がありました。どこから拾つてきたのか、死んだ犬とそつくりの犬をひろつてきて、育てたのです。それがまた、死んだ犬よりも強かつたのです。

と、そのうちに寄る年波は争へず、とう／＼このお爺さんは、身うごきも出来ないやうな大病にかゝつたのでした。ルンペンでも、お医者さんが必要です。

『お前さんの病気は、百圓出したらなほしてやる。百圓の金がなければ、わしにこの犬を売りなさい、さうしたらなほしてあげやう』

お医者さんは、ひげをひねりながら云ふのでした。

ルンペンは、可愛い犬の頭をなでながら二三日考へこみました。しかし、病気をおもふと、犬を可愛いなど云つてゐられない、と悟りましたから、その小犬と、泣きの涙でわかれたのでした。

3

犬は、さびしさうな顔をしてゐましたが、よく主人のいつたことが判つたやうです。丁度つれにきたお医者さんと一緒に、くん／＼なきながら、別れてゆきました。

お医者さんは、医者としての勉強よりも、犬を闘はして勝つたほうに金をかけるといふことの勉強がだいすきで、世間の人から

『それほど犬がすきなら、なぜ犬猫病院の院長さんにならなかつたんだらう』

などと、陰口をいはれるほどの人でした。

お医者さんは、ルンペンからもらつた犬だから、ルンといふ名をつけまして、さつそく都で有名な闘犬家のもとへつれて来ました。

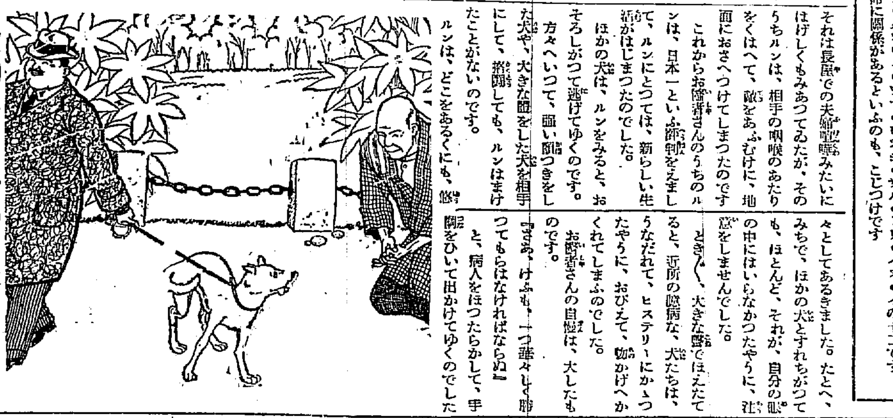
すると、闘犬家は、ルンを一目みて、

『おや、弱さうな犬だが、強さうでもある、さゝ、わたしの犬と勝負させてごらんなさい』

といつて、幾匹かの犬の中から一番強い犬をそこへ出しました。

ルンは、いかなる犬が目前にあらはれても、それをこはがる風がありませんでした。

やがて、二匹は、にらみあひ、くひつきあひ、かみあつて、工



それは長屋での夫婦喧嘩みたいにはげしくもみあつてゐたが、そのうちルンは、相手の咽喉のあたりをくはへて、敵をあふむけに、地面におさへつけてしまつたのです

これからお医者さんのうちのルンは、日本一といふ称号をえまして、ルンにとつては、新らしい生活がはじまつたのでした。

ほかの犬は、ルンをみると、おそろしがつて逃げてゆくのです。

方々へいつて、強い顔つきをした犬や、大きな顔をした犬を相手にして、格闘しても、ルンはまけたことがないのです。

ルンは、どこをあるくにも、悠々としてあるきました。たとへ、みちで、ほかの犬とすれちがつても、ほとんど、それが、自分の眼の中にはいらなかつたやうに、注意をしませんでした。

ときどき、大きな声でほえたてると、近所の臆病な、犬たちは、うなだれて、ヒステリーにかゝつたやうに、おびえて、物かげへかくれてしまふのでした。

お医者さんの自慢は、大したものです。

『さあ、けふも一つ華々しく勝つてもらはなければならぬ』

と、病人をほつたらかして、手綱をひいて出かけてゆくのでした

戌（イヌ）犬

甲戌の年の話

今年は、十干十二支（えと）からいふと『甲戌』（きのえいぬ）の年に當ります、戌の年を犬の年といひますけれど、戌と犬とは『イヌ』といふ音が似てゐるので十二支を動物にあてはめた時、犬にしたのです、ですからほんとうは戌と犬とは何の關係もありません、けれども昔からの習慣で今でも『犬の年』と老人たちは申します

十干といふのは、甲乙丙丁……木火土金水を組み合はせて、キノエ・キノトから……ミズノエ・ミズノトまであります、十二支といふのはネ・ウシ・トラ・ウ・タツ・ミ・ウマ・ヒツジ・サル・トリ・イヌ・イの十二です、生れ年と人間の運命に關係があるといふのも、こじつけです

懸賞　コドモ考へ物

締切は一月十日、本社學藝部宛にハガキで回答のこと
正解者の多い時はくじ引きで十五人に賞品を進呈

一　花子さんの追ひ羽根の羽根が一つお庭に落ちてゐました、犬のボチ公はその羽根を、くはへて、じやれてみたいと思ひました。でも、ボチ公には二メートルのクサリがついてゐます、そして羽根はボチをつなぐ柱から、六メートルもある所に落ちてゐるのですボチはどうして羽根をとつたでせうか

二　マッチの棒が六本あります、これを一本くはへて、五本にして下さい

三　お庭に、さしわたし五メートルの圓い池があります、池のまん中の水面から上に八メートルほど出てゐる（竹ざを）に旗がつけてあります、太郎さんと、花子さんは、日が暮れたので、旗をとりたいと思つたけれども、手がとゞきません、でも、幸に太郎さんが、丈夫な麻糸を持つて居ました、そこで太郎さんと花子さんは、うまい智恵を出して、とう／＼旗をとりました、どうしてとつたのでせう、糸を輪にして投げても八メートルも高い竿の上にはとゞきませんよ

今度は古い問題ばかりですから、わけなく出来る方もありませう、お父さんやお母さんに、教はらないで、考へて下さい

軍用犬の訓練のはなし

帝國軍用犬協會審査員・獨乙シエパード協會員

常廣義臣

現在我が國では軍用犬としてシエパード、ドーベルマンピンシエル、エーヤデルテリヤの三種が訓練されて居りますが、然し其の大部分がシエパード犬でありますのでシエパードの訓練についてお話しませう

シ　エパード犬の特徴は大膽に賢い事、勇敢な事そして忠實であるといふ事で軍用犬に使用されるのであります、しかしこの賢い事も、勇敢な事も、忠實である事も、全て訓練の如何によるのでありますから訓練の無い犬は、いくらシエパードでも野良犬と同じです。先づ訓練を始めるには訓練者と犬との調和が最も大切でお隣の家のシエパードを、一寸と伴れて来て気紛れに訓練して見ても其れは駄目なのです。

自　家で飼つて朝夕可愛がつてやり、お友達のやうにまた兄弟のやうな気持で愛してやり犬と人とがすつかり仲良くなつてから初めなければなりません、またいつも訓練は犬の元気の良いウキ／＼した時に始める事です、訓練中はムチを使用したり、スパイクカラー（釘のついた首輪）を使用したり、無茶にしかつたり、長時間訓練を續けたりしてはいけないのです、犬に悪い習慣をつける事になりますから。

普　通シエパードは生後六七ケ月頃から訓練を始めます、最初は服従訓練即ち基本訓練の極く簡単なものから始め一つ一つ順序にやつて行き一度に色々な訓練をしてはなりません學校の生徒のやうに一年生から二年生、三年生といふ順序に進みますので一年生から一度に六年生に飛んだりしては何にもかも分らなくなつてしまひます――

基　本訓練は▲第一課停坐（スワレ）▲第二課紐付左側行進▲第三課紐無し左側行進▲第四課伏せ▲第五課吠えろ▲第六課静かに▲第七課持つて来い▲第八課飛べ▲第九課サガセ▲第十課拒食（嫌食）以上が大體の基本訓練課目であります、皆課目が完全に出来るやうになりましたら高等訓練はすぐに出来ます、高等訓練には『警戒』『物品監視』『襲合』『運搬』『斥候兵搜索』『追跡攻撃』『水中作業』で、今日は基本訓練だけお話し致します

第　一課停坐（スワレ）　犬の行儀作法の一つで總ての訓練を始めるときに、又は終るときには必ず訓練者の左側に坐らせるやうにしなければなりません、教へ方は右手で首輪を持ち左手で腰を地につけさせるやうに押さへて『坐れ』と命令をするのでこれはすぐに出来る事です。

第　二課紐付左側行進　これは案外難かしいものです、訓練中は常に訓練者の左側について歩くやうにしなければなりません、行進中犬の肩が訓練者の前方に出てはいけないので犬が前方に出やうとした時には紐をグッと引きしめて『アト』と云ふ命令で新時犬が自分の定位置を知るやうになるまで努力を續けなければなりません、外出の時も正しく左側について行くやうにしなければなりません

第　三課紐無し左側行進　第二課が十分に出来ればすぐに出来る事ですから、第二課を完全に仕上げてからする事です、第二課が不十分ですと犬は勝手に走り出したりします

第　四課伏せ―此れは訓練者の命令に對し絶對に服従する事と後日物品監視等の場合に必要な訓練です最初『伏せ』の命令と同時に犬の前足をつかんで前に引くか、胴を抑へるかして教へるのです前足後脚をそろへて、頭部は前足の中間に入れて下アゴが地面について居る姿勢をとるのです　つゞく

賀正

平澤警察署　々員一同

京釜線西井里驛前　西井里荷主組

京釜線西井里驛前　鄭宗鉉

京釜線平澤驛前　會席御料理　生駒樓　電話三八番

京釜線平澤驛前　材木商　岡田商店　自轉車部

京釜線平澤驛前　坂井百貨店　電話一九番

平澤學校組合管理者　西村折太郎

平澤消防組々頭　橋本右一

平澤面面職員一同

商業銀行平澤支店　和久田政

平澤金融組合　職員一同

平澤病院　公醫　崔鐘完

中央土木合資會社　村上泰造

平澤農業倉庫　緒方尚

山口清

鄭寅昌

平澤公立尋常高等小學校　職員一同

京釜線西井里驛前　朝鮮運送株式會社　西井里代行營業所

岡田熊一

京釜線平澤驛前　平澤合同運送株式會社　社長　李成烈

平澤精米製造組合

京釜線平澤驛前　米穀精米商　垣内恒太郎　電話九番

京釜線平澤驛前　共榮社　米穀商　鄭客運　電話四六番

共榮社工場　金炯哲

京釜線平澤驛前　商業組合　米穀商　成周漢　電話四一番

京釜線平澤驛前　米穀商　共應商會　電話五四番

京釜線平澤驛前　米穀商　李敏垣　電話三三番

京釜線平澤驛前　米穀商　大成商會　電話六番

京釜線平澤驛前　米穀商　徐相浩

京釜線平澤驛前　米穀商　李洪植

京釜線平澤驛前　米穀商　李氣鍾

京釜線平澤驛前　米穀精米商　金正洙

京釜線平澤驛前　米穀商　東成商會

京釜線西井里驛前　米穀商　殖産商會

京釜線西井里驛前　金文煥　朴樹勳　劉良植

京釜線西井里驛前　長安里産米改良組合　李容孫　車相建　朴英和

京釜線西井里驛前　米穀商　西成商會

京釜線西井里驛前　米穀商　趙鳳九

茂山郵便局長　永井春生

振威郡平澤面平澤里　平澤電氣株式會社　電話五番

京釜線平澤驛前　平澤自動車運輸株式會社　電話五番

振威郡廳職員一同

道會議員　森賢吉

茂山製材所

會寧　土木建築請負　遊仙岩礦　岩村組　茂山郡出張所

羅南本町　土木建築請負　杉野組　茂山出張所

茂山公立普通學校長　山本菊太郎

茂山警察署

茂山公立尋常高等小學校　校長　川崎仲二

茂山面長　韓繼隆

吉田屋旅館

茂山金融組合

唐津郡新平消防組　組頭　金東烈

忠南唐津郡沔川郵便所長　入江秀夫

唐津郡機池市　釀造場　韓百憲

唐津郡松嶽面長　具滋昇

唐津郡新平面長　姜信九

唐津郡松山面長　李種商

唐津郡合德面長　金喆鎬

唐津互助會

唐津郡　松山公立普通學校　松嶽公立普通學校　沔川公立普通學校　石門公立普通學校

唐津郡新平面　道會議員　李龍淳

唐津學組會長　梁載億

唐津郡警察署長　小林重好

唐津郡沔川面長　具命書

唐津郡順城面長　尹桂承

忠南唐津　大洋商會　張元淳

唐津郡唐津面邑内　李健永

唐津郡機池市消防組　組頭　菊地恒吉　小頭　安瓚玉　小頭　金伯敬

唐津郡合德消防組　組頭　高橋正一　外組員一同

唐津警察署員一同

唐津郡廳職員一同

唐津郡唐津面邑内里　金東善

唐津郡石門面　印謹植

唐津郡機池市　中和醫院　金聖培

忠南唐津　雜貨商　桑原商店

忠南　唐津公立普通學校　職員一同

忠南唐津　鮮東醫院　公醫　李文世

唐津郡　新平消防組員一同

忠南唐津　唐津釀造場　印仲植

忠南唐津　日月釀造場　元容泰

唐津麴子組合

京城日報唐津支局　野上喜作　販賣員　鄭允摸

忠南唐津郵便所長　原田進

忠南唐津　旅館　唐津館

沔川消防組　組頭　日原茂作　副組頭　朴堯欽　小頭　朴仁欽　小頭　朴順天　小頭　辛長鉉　小頭　兪健濟

唐津消防組　組頭　小野亮清　副組頭　兪鎭遠　小頭　中島宗雄　小頭　赤間勉　小頭　朴出俊

謹賀新年

慶北九龍浦港 漁業 鮮海組
慶北九龍浦港 漁業 大石嘉太郎 電話一三番
慶北盈德邑 山岡旅館 電話四番
慶北 盈德酒造株式會社
慶北迎日郡 清河酒造株式會社
慶北浦項月浦港 漁業 松岡龜吉
慶北 神光酒造株式會社
迎日郡神光面長 崔憲澤
慶北浦項 漁業 新田源吉
慶北浦項 書籍文房具雜貨 印章彫刻 村田大陽堂 電話二一三番
慶北浦項 漁網製造 慶北製網所 電話二五一番
大興電氣株式會社 浦項出張所
慶北浦項 邑會議員 貿易商 田中貢 電話長三三番
浦項 慶尙北道水產會 電話二二三番
慶北迎日郡 滄洲公立普通學校長 九龍浦公立尋常小學校長
慶北九龍浦港 船具漁具 魚油肥料製造 齋藤規一商店 電話一四番
權泰鎬
慶尙北道土木課 江口港擴築工場 職員一同
慶北江口港（電話一六番） 御料理 江口屋亭 部井ツネ
慶北盈德邑內 醫師 白行謹
慶北迎日郡 東海面長 朴泰珪
都邱金融組合 理事
慶北迎日郡 大松公立普通學校長 日月公立小學校長
慶北浦項川口 漁業 生魚仲買 增野熊雄 電話一二三番
慶北浦項川口 大久保虎市 電話一四七番
慶北浦項川口 漁業 生魚仲買 中島浮吉 電話三一三番
慶北浦項川口 漁業 邑會議員 岡部與一 電話二八番
慶北浦項 古川釀造場 電話六番 振替釜山六番

慶北尙州郡商工會長 稻垣德三郎
慶北義城 義城麴子組合
慶北慶州郡 甘浦漁業組合
慶北 慶州土曜會
慶北尙州 道會議員 呂相源
慶北慶山 道會議員 足代守民
慶北 安東電氣會社
慶北 永川官公吏一同
慶北英陽郡 英陽二火會
慶北 高靈公立普通學校
慶北高靈 生部文一
慶北 成昌公立普通學校
慶北柒谷郡若木面 道會議員 李鍾震
慶北安東邑內 道會議員 權寧烔
慶北 成昌產業組合

大邱郵便局
大邱府會議員 古谷治輔
大邱府內 酒造組合
慶北倭館 道會議員 入山昇
大邱府元町 土木建築請負業 坂野組
大邱府會議員 大場金藏（鑛泉）
大邱商工會議所議員 青木勝
大邱府東城町 朝鮮酒釀造株式會社
大邱測候所長 技師 布村重次郎
大邱府東門町 醬油味噌製造元 今金屋商店
大邱府上町 片倉生命大邱支社
大邱府內 金融組合理事
大邱府錦町 南鮮運輸株式會社
大邱印刷合資會社
慶北果物組合

慶北金泉 松本是
慶北金泉 吉岡鑄造所
慶北 金泉煉炭工場
金泉城內町 初音 電話一六〇番
金泉驛前 金泉齒科醫院
牙川公立普通學校 職員一同
金泉少年刑務所 職員一同
金陵公立普通學校 職員一同
慶北道立 金泉道立醫院
金泉道立醫院長 醫學博士 佐藤千三郎
慶北金泉 立川書店
京釜線金泉 丸金旅館
金泉邑長 曾田篤一郎
金泉酒造株式會社
慶北金泉 仁宣病院
果谷公立普通學校長 菅滿春
慶尙北道金泉 中川太平
慶北金泉 小塚主計
大邱初等學校長會

慶尙北道農會
會員組織 大邱米穀取引所
慶尙北道 金時權 古川秉秀
慶尙北道食堂會員
道立大邱醫院
大興電氣株式會社 社長 小倉武之助
大邱府廳職員一同
大邱穀物株式會社
朝鮮生糸株式會社 片倉生糸紡績株式會社 大邱生絲所
大邱製絲株式會社
大邱產業金融株式會社

慶北 安東專賣局出張所
慶北醴泉 道會議員 田內鶴男
慶北軍威 郡守 吳在淳
慶北義城 中島米太
慶北安東邑 邑長 峰屋孝之
慶北 安東警察署
慶北 安東戌辰會
道會議員 金秉翊
慶北善山郡 朝鮮酒々造業者組合
慶北義城郡邑內 益盛泰商店 金圭植 柳萬壽 朴琪元 吳夏洙
義城醫院長 金弘鎭
慶北 盈德改良麴子製造組合
慶北 盈德土曜會

大邱府東雲町 道會議員 秋秉和
大邱府壽町 六十五番 タクシー
大邱府本町 南方商店
達城公立普通學校
大邱驛前 土產品雜貨 九州堂
大邱府會議員 裵永悳
慶尙北道 山林種苗組合
大邱府榮町 土木建築請負業 龍岡組
慶北達城郡廳
大邱醫師會
慶北漁業組合聯合會
大邱無盡株式會社
慶北蠶種業組合
大邱府元町 夏川分店
大邱府鳳町 蘇鎭武

慶北迎日郡 寧海公立小學校長 同公立普通學校長
慶北浦項 酒類醬油 株式會社 福島商店 電話一五番 仲町販賣部一八番
慶北浦項 小山旅館 電話一〇三番 橋本旅館 電話八番
慶北浦項 迎日麴子製造株式會社
朝鮮慶北浦項港 浦項運輸株式會社 電話二三番 二五六番 三六四番
慶北浦項 無盡會社長 邑會議員 脇村辰藏 電話三六番
慶北浦項 邑會議員 貿易商 大上留造 電話長一〇〇番 電話三六〇番
東海中部線 浦項驛長 大塲好
浦項 慶尙北道水產試驗場 職員一同
浦項警察署 職員一同
慶北九龍浦港 漁業 鮮魚運搬 肥料製造 井上組 代表 井上庄七 電話五番
慶北九龍浦港 株式會社 林兼商店出張所 電話四番
慶北九龍浦港 日本水產株式會社 出張所 電話七番
慶北九龍浦港 漁業 蛭子丸事務所 代表 神崎甚佑
慶北江口港 江口漁業組合 電話六番

慶北軍威酒造會社
慶北義城郡 義城釀造株式會社
慶北 慶州電氣會社
慶北甘浦港 渡井口清太郎
慶北 安東公立農林學校
慶州 佛國寺ホテル
慶北善山郡 龜尾七星會
慶北高靈 道會議員 李正圭
大興電氣 清道出張所
慶北高靈郡 所長 久野逸三
慶北 高靈金融組合
慶北 高靈酒造株式會社
慶北高靈警察署
慶北 安東公立普通學校
慶北 安東道立醫院
慶北榮州 酒造株式會社
慶北 安東郵便局
慶北 軍威官公吏一同
慶北慶州郡廳
慶北 醴泉官公署一同
慶北 慶州釀造株式會社
慶北奉化郡 乃城官公吏一同

大邱金曜會
金融組合聯合會 慶北支部
同 道內理事一同
朝鮮運送大邱支店 支店長 守屋柳治
大邱朝鐵自動車部
大邱府東雲町 棟居酒造場 東門町 小賣部
大邱旅館組合
大邱土木建築協會
慶北金泉警察署
慶北金泉金曜會
大邱專賣支局

『全日本三分の計』
めざせ王座、陸上日本
手を握つて一路驀進せよ【上】

總督府　家永正彦

めざせ王座

めざせ、王座、陸上日本
勝てよ、勵ませよ、陸上日本

それこそ吾等が萬國オリムピツク制覇第一年に當つて高く掲げ強く叫んだ標語である。さうして八年計畫第一年が過ぎ次の一年が廻つて來た吾等はそこに何を見、何を悟つたか？進歩する世界の競技界のそれであり乗り越えて進まねばならぬ陸上日本の荊棘の進路である、躍進又躍進陸上日本の強化は實に我に若人に希望を漲らせ世界陸上競技界への飛躍向上である。試みに見よ

一九三三年度世界記録更新の數を—男子二十三種目女子三種目總計二十六に達し陸上競技全種目の三分の二に及ぶを。而もその内容を詳にたどる時そこに脚を揃へて迫り來る無數の强敵に一驚する。伯林を飛び取れローマでは吾等の制覇の下にと全日本をあげての叫び狂氣も尋常ならぬ困難を感ぜしめる所以である。然しこの困難に吾等陸上日本はなす所を知らざる程無方針でもなければ又無氣力でもない

現實進展已むなき世界の前にヂリヂリと迫り行く日本短距離マラソンの姿

吉岡は百の十秒四、二百の二十一秒二に世界ベスト・トエンテーの位置を不動のものとなし、更に續いて二百の二十一秒二に世界第八位にランクした市島は四百に四九秒を以つて第二十位に然して不振の中距離を措いて輝しきマラソンの快挙よ—津田は二時間三十一分一〇秒の記録を以つて世界最高の記録を樹立し、始めて半島が代表せる南君記は世界第二位と續き以下六位迄を日本が占める壯觀さ

又昨夏オリムピツクに跳躍日本の偉容を示せる跳躍陣は走高跳に稍不振を感じたが新進の續出するありて完全にその姿を消し矢田の新日本記録一米九八（世界第五位）を最高に一九〇を越えるもの朝隈（一米九五世界第十三位）木村（一米九四世界第十八位）以下十指に餘り八十を越えるものに至つては實に五十を數ふ、三段跳は滿洲に新進メトカルフ（十五米三一世界第一位）の出現あつて一抹の不安あるも織田南部の殘した偉業は容易に動くまい、走巾跳、棒高跳は南部（七米六〇世界第二位）西田（四米二〇世界第九位）も安心して居られない原田（走巾七米四六）田島（走巾七米四一）大江（棒高四米二〇）の出づるあつて跳躍は制覇の中心となるべき確信を益々深めたのである。

かく見る時陸上日本は跳躍を中心に短長の兩極端から次第にその王座に近づかん氣配である、だがそれらの確實なる情勢異常なる躍進があつても中距離（八百米、千五百米、五千米、一萬米）投擲の斷念は世界制覇への斷念を意味して來る

吾等は聲を大にして數年來この方面の劃期的進歩を招來せんと努力し續けて來たのであるがこの劃期第一年のスパイクの跡は亦も失敗の二字に盡きて來る。只近來漸く多數の士が諸方に於て說を立て競技者自身そこに局面打開の計を策する氣運を見るに至つたのはせめてもの慰めである、この不振の原因は何か？私は敢ていふ目標の低きにあると自己の光明を高く掲げよ自らの眼を遠くに注げそこに凡ての路は拓かれると信ずる陸上競技の全面的目標の向上こそ中距離の必須の條件である吾等青年諸君特に中距離投擲の部門に臨むものの光を高く遠く求めよ

めざせ王座陸上日本の一郭のみ

強化の目標

何人も競技界を愛しその隆盛を翼望しつゝ一度その經綸を行はんとすれば結果は區々にしてその股に反するものを仇敵視猜疑心を以つてこれを白眼視しともすれば最初の翼望に背反した事態を惹起する、何のためか？それは目指す目標の差異にあるその目標に對する手段の相異にある。さうして時には兩者の混亂による誤謬にあると思ふ、各自が自らを正しと信じ信ずるが故にその抗爭は益々烈しきものとなつて來る、或者はその競技者の多數を以つて競技界の最高目標としてその方法を考へる、或る者は記録の好記に置きその向上にあるものは競技會観衆の數の多きを誇りその達成に或は又精神的高揚を叫んで之を招來せんとするもの等その目指理想は雜多にして一ならず方途又多岐にして容易に決し難いのである而して多くの場合競技者自身若しくは競技そのものとは餘程かけ離れた人や事件に就いて尋ぬが

腹けられてゐる

一口に競技界と言つても自ら競技をなしこれをエンジョイする者即ち競技者の世界とこれらの競技をエンジョイするもの即ち競技愛好者の世界とは大部異つた内容目的を持つて居るものでその隆盛發達には絶えず兩者を考慮に入れなければならぬ、この競技者とファンとは常に必ずしも同一の目的方法を以つて同一のコースを歩んで居るわけではないのであるから從もすると紛議が醸生されて來る今日の情勢では一方の目標を明かにしその方法を遂行せんとすれば他を犠牲にせざれば成立しない樣な複雜な情勢になつて來た

前記の例の樣な競技界隆盛の目標方法といふものにはその兩面的目標を一方的方法によつて解決せんとしたり目標を一方的に考へたり或は又目標と方法とを取違へたり見當違ひの進みを續けたりして居るかに見うけられる

則ちその中の或者は選手世界の向上進歩を意味しながらファンの增大を強ひ或ものは選手ファンを一諸にした目標でありながらその方法は同一に歩めないものを歩ませ樣とする方法であつたりする認識不足の歩き方で大部混雜して居るのではあるまいか？

吾々はアマチュアの一アスリートとして競技界の目標を定め道路として前者即ち競技者自身の考へる

世界の隆盛發達の方法を取りそのために努力しつゞとめて來たのである

私は兩面とも競技者の世界もファンの世界をも躍進せしめたいと冀ふ然しその途上において一方を捨てなければならない立場となれば躊躇なくファンの世界を捨てるのである

競技界を最く解した時にもその中心はやつぱり競技者だ競技界の第一義的存在は競技者以外にないと

銀嶺は招く
スキー・ファンにこの便宜
京日ヒユツテも出來ました

純白にメーキアップの施された壯麗無比の銀嶺に、氷雪と戰ひ風と戰ひ乍ら銀嶺を蹴つて山野と馳驅する爽快さはトピアである、年々增加する全島のスキーファン！これと呼應してファンのため凡ゆる便宜をおしまぬ鐵道局！この京城組合する所必ずや秀光照り映ゆる銀山は本春に入つて更に一しほの賑ひを見せるであらう—左にスキーファンのため與へられた種々便宜を掲げてファン出陣の參考に供す

□□スキー列車□□
毎週土曜午後十時四十分京城驛を發し翌午前七時三防着、同日午後五時三十一分三防發、九時四十五分京城驛に歸る

□□用具一時預け□□
スキー用具の持回る不便を除くため三防、洗浦、城津驛では次の料金で一時預りの取扱をなす
一日限十錢▲八日迄廿錢▲十五日迄四十錢▲廿二日迄六十錢に

□□スキー旅館□□
三防の京城旅館では一泊三食付八十錢の格安でサービスする
洗浦里は内地人一圓五十錢程度

□□ヒユツテ□□
從來三防に鐵道局建設の約百名程収容するものがあり食事頗る好評だが本年は二子山附近に新設した本社のヒユツテが完備した

□□貸スキー□□
三防、外金剛退潮洞でスキー搬行割引往復乘車券を持つてゐるものに對しては各驛でスキー貸與の世話をする、大人用は一台一日卅錢、小人用同二十錢

□□汽車賃割引□□
三防、洗浦里、退潮、城津行三等往復にはそれぞれ割引がある

目的を確認しよう
京城師範　梅澤慶太郎

年頭にあたりての希望は目的を確認しようではありませんかと言ふをおいて外にない。世界中不可解な國は何と言つても米國、支那、露國の三國であることは誰しもが肯首できるところであらう。此の三國の間に介在して世界を睥睨して居るのが我が日本である今や非常時を絶叫して興國難局の時期であることも言を俟たぬ。運動競技界に於ても此の狀勢に立脚して堅實なる邁進を期すべき時であるのに昨年度運動競技界は明朗公正を缺き識者の顰蹙せざるを得ないことが多かつた。ひとり朝鮮のみでなく明治神宮奉讃體育大會にも選手替玉問題などあり寔に慨歎の極みである。誠に申譯ない次第である。より高く、より強く、より速く記録は向上しても一面に遊ぶの跳力には及ぶまいと言はれるとのあることを考へたとき斯界たる不斷されやうか。スポーツを樂しむ競技者自身も行はしむる局に當るもの自身も眼前の小計にとらはれることは慎むべきだと信ずる。換言すれば目的を確認して各々そのところを得る樣にすべきであるのである。吾人の振興するあらゆる運動競技の價値はアマチュアリズムの高唱に伴ふて益々其の光を發し運動精神の翔揚もできるのだ。今年度催さるゝ大行事は何を言つても極東大會であるが各方面とも既に日本に勝るものなしと樂觀し得る最近の斯界の飛躍である、此に於てか益々競技運動の目的を確認して新進精神の發揚に努むべきを高調せざるを得ないのである

體育課 體育館の設置
その他の希望二三
城大豫科　藤井秋夫

三四年を迎ふるに當つて朝鮮スポーツ界に對する希望をこそあげておく

【昨】年度の朝鮮スポーツ界は隨分華やかな成績をあげ、殊に最近の明治神宮競技における結果の如きは誠に誇るに足るべきものがあつたのは愉快なことだ。只些か遺憾なのはスポーツの世界に望ましくない一二の紛擾があつたことである。いやしくもフエヤー・プレーをモットーとするスポーツ界にそんなごたごたのあることは絶對にいけない。それが一時の感情の行違いや、思ひ違ひの結果であるならば、すぐに諒解されることで大して問題ではあるまいが、長く禍根を殘すやうな性質のものは今年度から斷然絶さぬやうにしたいものだ。これが希望の第一である

【文】部省に體育課があるやうに、總督府にも體育課が設けて欲しい。これが希望の第二だ、體育課は單に學内の諸學校の爲にのみでなく、一般人士の體育向上の爲にも絶對に必要だと思ふ。なるほど體育協會があるにはあるが、朝鮮全體の體育を現在の體育協會のみにまかせておいてよいといふわけには行くまい。私の如きが彼是言ふまでもないことゝ思ふが、

【體】育館が欲しい。これが希望の第三である。バスケツトにしろ、ピンポンにしろ、スケートにしろ朝鮮には練習の出來る、試合のやれる建築物は皆無と言つてよい。バスケツトを何日までもアウトドアでやつたり、ピンポンの試合を試合のある度にあつちこつちと運び廻るのは恥しい話だ。スケートの屋内リンクなんて話は京城で持出すと一笑に附されるのが通例だが、内地の現狀に照しても考慮すべき時機に達してゐるのではないあるまいか。水泳の如きもインドア・プールの出來ぬ限りは十分の發達は見えまいと思ふが、素人考へであらうか？

【要】するに金だ。朝鮮體育界の爲に今少し金が出して貰ひ度い。御役所から出して貰つてもよい。民間からの寄附でもよい。金が今少し欲しい。これが希望の第四だ。癩病豫防の爲に百萬圓の金があつまるなら、スポーツの爲に千萬圓あつまつてもよいはづだ。米國大統領のフーヴアはアメリカン・フットボールの試合で息子を失つた時、『アメリカ魂』を鍛成する犠牲と思へば一人の息子の死もあきらめると言つたといふ、朝鮮二千萬の人口全部の爲の體育、次の時代の帝國を背にすべき青年を造る爲に千萬圓の金をおしんでならうか、況んやその十分の一の金があれば十分に近い結果をあげられるのだ。朝鮮の人々と今少しスポーツの爲に私財を擲げて欲しい

圓滿に朗かに
相原白頭

スポーツ界の紛擾せること昨年ほど甚だしきはなく眞に空前であつた然るに雨降つて地固まるとか大に躍進する兆とか顧みる點も少くないが私はスポーツ將來の爲めしかく樂觀に醉ては居られない、論ずるまでもなくスポーツは吾人に精神方面の糧を與ふること即ち人格の修養を以て第一義とせねばならぬ、從つて困難にして正義の道る人を求むるにはスポーツ界に於てするが最も容易であらねばならぬ、學生が一時の興奮に支配されて、向見ずの爭鬪を演ずるが如きは場合によつて多少同情的見方をしてもよいが、それすらスポーツ人としては宥すべからざることに屬する、まして年若き多くのアスリートを率ゐ忍耐の範を越え、正義の峰に發ち和氣藹々たる大洋に棹さむとする大先達の方々の一擧一動は如何なる感響を後に來る者へ與ふるかを考ふる時、吾人は背に粟を生ずるを覺えるのである。この祝福すべき年頭にあたり我が半島のスポーツ界が更新以てあの麗はしき初日のもの如く圓滿に朗かに躍進せむことを祈つて已まないのである

恭賀新年

株式會社 大倉洋紙店 京城出張所
京城南大門通二丁目一三七　電話本局四九〇番

紙商 北内商店
京城本町一丁目　電話本局二一五二番

片倉生命保險株式會社
朝鮮支社長 村本幸三
京城府太平通一丁目　電話本局三五八一番

杵屋號
京城本町二丁目　電話本局四三四四番

杉山商會
京城明治町一丁目　電話本局長七四番

壽し久
京城府本町二ノ二　電話本局一九一〇番

銀松亭
京城黄金町二丁目　電話本局九五番

南山莊

北京料理 雅敍園
京城黄金町一丁目　電話本局二五八二番 二八六二番

花園町公設市場

永樂町市場

御料理 京喜久
京城府旭町二ノ三九　電話本局七六番・二三二五番

日本共立火災保險株式會社
資本金 五百萬圓
一、當會社は賠償を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
一、電話又は御一報次第社員參上可仕候
本社 東京市京橋區銀座西六丁目二番地五
京城出張所 京城府本町三丁目三九番地（電話本局長一五六六番）
取締役會長 原 錦吾
出張所長 三鍋才次郎
朝鮮内代理店所在地 京城、仁川、水原、清州、忠州、公州、大田、江景、鳥致院、全州、群山、裡里、光州、木浦、麗水、大邱、金泉、浦項、晋州、馬山、釜山、統營、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、新義州、元山、咸興、城津、會寧、雄基

株式會社朝鮮取引所
荒井初太郎
小杉謹八
秋山滿夫
田崎藤雄

林安平
京城府漢江通三番地　電話龍山五五五番

東京建物株式會社京城支店
京城府黄金町二丁目　電話本局長一三八一番 一六八一番

中華料理 金谷園
京城長谷川町　電話本局一五二五番

京城金物商組合

奥田洋服店
京城本町二丁目　電話本局一六九一番

土橋金光堂
京城本町二ノ二　電話本局一五二二番

山岡時計材料店
京城府黄金町一丁目　電話本局二三四八番

岩見屋呉服店
京城漢江通十三番地　電話龍山二三五〇番

希望する白紙の年

武者小路實篤

新年に別に變りはないと思ふが、しかし年が新まるのは何となく嬉しいものであり、あかるいものだ。

今年こそはといふ氣になる

今年こそよき年であれ、さういふ氣になる。そして今年こそよき仕事をして見せると云ふ氣になる。決心が改まり、心が何となく新鮮になる。齡とると云ふことがもう嬉しい齡でもないが、しかし新年を迎へるのは嬉しくないことはない

殊に子供が大きくなることはうれしい。僕の處には十一、九つ、六つの女の子がゐるがそれが新年と共に十二になり、十になり、七つになる。一日で不意に大きくなるわけでもないが、何となく愉快である。子供達は大きくなつたやうに喜ぶ。しかし僕も子供にまけずに新年が來たことを喜びたいと思ふ。そして新しい年を無事に迎へたことを祝したい

そして希望する白紙の年が來たことを喜ぶ。逝ゆく人も嬉しさうだ。一休は新年を迎へることを冥土の旅にたとへたが、それは事實だが、我等はさう云ふことは忘れて、今年こそよき年にしたいと思ふ。自分の家族のよくゆくことを切に望む。新しい計畫をする。今までの力の足りない處を補はうとする。今迄出來なかつたことを今年こそやつて見やうと思ふ。一歩進んで見せる氣になる

新年といふものがなかつたら、我等はぼんやりするであらう。しめくくりがなくなるであらう。

シンガポールに二十年程住んでゐた友達の話だが、熱帶では四季の變化がないので、人が訪ねて來てくれても、春だか秋だか、冬だか夏だか忘れ、何年前に來たか忘れがちになると云つてゐた

冬はいいものでないかも知れないが、冬があるから春がある。秋がある。四季の變化のあることは我等には喜びなのである。浦島が何處へ行つたのか知れないが、常夏の國は嬉の國ではなかつた。しかし我等は常夏の國で春を迎へるよりは春夏秋冬のある國で春を迎へる方が喜びだと思ふ

國々にちがう特色はあり、喜びはあるものだ。だから常夏の國には又常夏の國のよさがあるかと思ふが、我等は冬もある國に生れたことを喜んでいゝやうに思ふ

殊に冬の最中に正月がくるのは面白いと思ふ。その間とは思ふが、正月は矢張り冬がいゝ。それも習慣として今のまゝがいゝ。昔の人は昔の方がよかつたかも知れない。ともかく正月は冬の最中、寒さを連想する時、炬燵や蜜柑を連想する時である。寒さを連想する時である。凧をあげたり、羽根をついたり、百人一首をしたりすることを連想する。それ等は正月と結びつき、子供の時の思ひ出と結びついて正月をなほ樂しいものにする

いくつになつても樂しい子供の時の樂しかつた記憶である

正月のたのしみを、子供の時の記憶が頭にこびりついてゐるからと思ふ。子供時代をすごした故郷の思ひ出こそたのしいものであらう。正月は都であらうと、田舍であらうと、ひとしくたづねて、我等の心を新しくし、うきたゝせるものと思ふ

それには新聞なぞも役に立つ、子供の時、新年の新聞のくるのは樂しみなものだつた。いつもより頁が多く、色がついてゐたり、いろいろの繪が入つてゐたりするので、それがいかにも正月の新聞らしく、我等を喜ばしたものだ

この頃は新年の新聞を見ても子供の時のやうな喜びは元より感じられないが子供の時の思ひ出がのこつてゐるので何となく賑かでたのしい

新年は皆、いつもより早く元氣に起き、着物を着かへて、一間にあつまり、雜煮を祝ふ。皆會ふとお互に『お目出たう』と云ふ。何となく平常とちがつた感じがして心うれしくなるものだ。僕はこの頃そんなことをする氣になれなかつたが、子供のことを思ふと、自分の子供の時の思ひ出と、同じやうな思ひ出を子供にさせたく思ふので、矢張り正月は正月らしく祝ひたく思つてゐる

心が新になるし心うれしくなる。今年もよき年であれと祈りたくなる

人は非常時だと云ふ。それは事實かも知れない。國民の生活は樂には却々ならない。しかしそれにもかゝはらず、年が更まると我々の希望は改まり、今年はよき年でありたいと思ひ、よき年であることをのぞみたくなる

しかし我等はたゞ望むだけでは駄目である。本當に心からしつかりしなければならない時が來つゝあることを感じる。我等は正月だけは何も忘れてたのしんでいゝが、それと同時に我等は、決心して今年こそこの日本をよき國にしなければと考へるべきである

日本を世界中一番進んだ、一番立派な國にすることは我等の使命である。我等は少くもその意氣で今年は進みたいものと思ふ

どうすれば日本は世界中で最もよき國になるか。それは我等國民はすべて兄弟である。この事實を生かしてゆくことが出來ればいゝのである。我等はお互に協力して親の云ふことをきゝ、そして正しい仕事をすれば安心して生活出來る國をつくるべきである

他の人をたよつてはだめである。自分達の求めてゐる世界をつくるべきである。それは一年や二年では出來ない。出來なければ求め方がわるいのだと思つてまちがひはないと思ふ

二宮尊徳位の本氣さがあれば、出來ないことはないと思はれる。其處までの力がなくとも多くの人との協力がよくゆけば、面白い世界はつくれるのだと思ふ

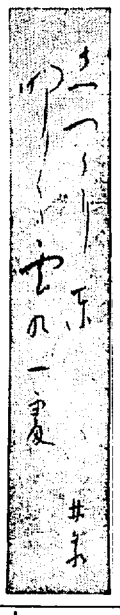
それには求めるものをはつきりする必要がある。我等は何を求むべきか。僕は正しい生活を求むべきだと思ふ

そしてそれには正しい仕事を先づ求むべきだと思ふ。そして今の世でそれが困難なら、それが困難でない世界をつくるべきである。このことはいかに困難であつても、實現するやうに骨折らなければならない。そしてその骨折りが生き甲斐だと思ふ

正しい仕事の基礎は矢張り僕は農業だと思つてゐる。東洋人は清貧に甘じることを長年敎はつてゐる。食へさへすればあとは正しい生活をすることを欲してゐる。そしてまれには先づ食ふ問題を解決しなければならない。だから先づ農の仕事を一番正しく解決すべきだと思ふ。しかし農業だけが唯一の仕事だとは云はない。國民の生活の向上に何等かの役に立つ仕事ならば、すべて正しい仕事だ。たゞ金はとれるが國民の生活を向上させる力はないと云ふ仕事は正しい仕事とは云へない

このことを本當に知つて、正しい仕事をすれば正しく生活が出來る。そして誰でも正しい仕事がしたければ誰でも出來る、さういふ社會を築き上げることが、我等日本人に賦された使命のやうに思ふ

この使命は樂に見へて決して樂ではない。いろいろの人の協力が必要である。僕は新年を迎へるに際して、今年こそ國民が自覺して國民全體が正しき仕事を求める、他人に求められなければ、それを求める人達が協力してその求める世界を生み出す、さう云ふ決心を以て立ち上る人が一人でも多いことを望むのだ。そしてこのことが實現出來たら、日本こそ世界一の國であり、光は東方より云ふ言葉が眞であることを示すことが出來ると思ひ、世界、人類を救ひ得る國民は日本だと云ふことになることを信じて疑ひないものだ。新しき年を迎へて、少しく自分の常に持つてゐる夢を話してもらつた。私は私なりにこの夢を實現するために働きたいと思つてゐる



賑かな囀り

庄司瓶仙

元日の浪あたたかく島へのび
◇
門松や家並々々の空晴るる
◇
松飾りこの家の主饗なり
◇
賑かな囀り聽きゐる松の內
◇
酒樽のまぬ負侘びしお元日
◇
厄明けの心かろげきお元日

新しい生活の朝

前田夕暮

朗かな新しい生活の朝、新興日本の意欲を高くかかげる旗
◇
新しい旗をかかげて新興日本の朗かな生活の朝を喜ぶ
◇
何といふ朗和さだ、新興日本の意欲を赤く表象したこの旗
◇
朗空にかかげる新しい旗、成層圏の深い藍にうつる
◇
碧、成層圏の朝のみどりの旗、銀翼がちかりと光つた

元日の思ひ出

馬場孤蝶

昔は大晦日の買ひ物も、それから、正月になつてからの年始廻りも、面白い樂しいものであつたが今では、そんな樂しみもなくなつてしまつた

大晦日の買ひ物は、年齡のせゐもあり、又財布の實力のなくなつた吾々には、よし買ひ度いものがあつても、全く思ふにまかせぬのであるから、大晦日の店飾りの華やかな、人通りの賑はしい町々を見て歩きながら一寸した好奇心の動くまゝに、さまざまな小買ひ物をして、除夜の夜を過すといふ樂しみをば持ち得なくなつたのは仕方のないことである

ところで、年始廻りの方は、全くできなくなつたといふのではないにしても、少くとも、不便にはなつたといふのが、一般の傾向になつてしまつたのではないかと思ふ。それは東京とか大阪とかいふやうな大都會の區域でのことではあるが

昔は、吾々壯年の小生計者どもは大抵市内若くは市内に極く近く接した郊外に住んでゐたので、人力車より外に交通機關のないやうな時代にでさへ、義理を缺いてはならない先とか、正月には是非一寸顏を出してみたいといふやうな極く親しい間柄の者のところだけは、それ程時間を費さずに、年始廻りをすることができたのであつた

し、又、親しさから、或ひは義理から、年始の時だけは、此方を訪ねて來られることが通例であつて、さういふ訪はれたり、訪ねたりするのが、實に正月のなごやかな團欒な氣分の表現であるやうな氣がして、如何にも快いものであつたのだ

ところが、今日のやうに、大都會の市域が何如にも擴くなつてしまつてからは、よし交通機關の發達のため、昔にくらべては、距離はずつと縮められて居るに拘らず、餘り閑暇な人でない限り、郊外を廻り歩るく年始廻りはやり兼ねるであらうと思ふ。何らかすると小旅行でもしてゐるやうな氣になつて、何處でも腰が堅はり、一杯、二杯でおしまひになり、他へは廻りきれないことになつてしまふことになりさうである

さういふ風で、遠くへ出る年始廻りが億劫になつたのから波及して、近くの年始廻りも、幾分怠り勝になりだしたやうに思はれるのである。少くとも、腰を据ゑて、酒を飮んで行くやうな年始客は何處でも餘りなくなつたやうである。昔は元日には勢ひよく赤い顏になつた人が道を歩いてゐるのをよく見かけたのみならず、夜になると、横町の闇のなかに醉ひ倒れて、壓言のやうな放歌をうたつてゐる者が必らず一人や二人はあつたものである。けれども、近來はそんなのは全く稀有なことになつてしまつた。近頃の人々は行儀がよくなつて、泥醉などはしなくつたといふところはあるにはあらう。それはさうにしても、近頃の年始客に酒の缺りないのは、誰もが何處でも腰を据ゑて正月氣分にひたるといふやうなことがなくなつたためではなからうかとも思ふ

昔は酒は年始客に取つてはまことに有りがたい馳走であつた場合が隨分多かつた。人力車で吹きさらしのなかを一時間近くも走らせては、先方へ着いた時分には、からだらうが殆んど凍へたやうになつて、顎の根も合はぬやうになることが少くない。さういふ場合に先きで取り敢ずと云つて、正月物の有り合せの肴で出される燗酒のきゝめは、吾々下戸でも甚だ捨て難く、ぎには全く持つて來いの御馳走である。上戸ならば、さういふ時の燗酒には所謂天の美祿の實があると讃嘆するに相違なからうと思ふ。言葉が理に落ちる嫌ではあるがさういふ場合の酒は年始客に取つての必需品と云つて宜しいものであつたのだ

けれども、今日のやうに、電車のなかや、自動車では、それ程寒さを感ずることはないのであるから、寒さ凌ぎの意味では、酒の有りがたみはそれ程でないと共に、飮んだ酒の醒めることも遲いのであるから、さう方々で飮んでゐる譯には行かぬとにもならうと思ふ

要するに、かゝる知人同志が飛び離れた場所に住むことになつては、大都會の年始廻りはできなくなり、正月氣分の大半は失はれるのであらうと思ふ

其所へ行くと、地方の小都會の人々の方が何のやうにも正月を享樂することができるであらうと思ふ。狹い土地での交友は平常から往訪を重ねてゐるのだから、正月になつて逢ふことも珍しくないと云ふのであつたら、正月だけは殊に落ち着いて訪ひ訪はれる習慣にすることもできるであらうし、又近いところは、平常から度々會つてゐるからといふので、其所はあと廻しにして、平常尋ねかねてゐるやうな近村の人々のところへ年始に行くといふ風にすることもできるであらう

關西での女子どもの羽根つきなどでも、大人の男などが中へまじつて、つき負けて、赤い顏へ墨を塗られながら、羽子板を振り廻してゐる光景など、如何にも正月らしい氣分のものであつたのであるが、現今ではそれ程街路規則はやかましくないにしても、今の交通の狀態では、横町でさへ、そんなをさなげな遊びをする事は危險であらう

男の子の紙鳶あげをする場所さへ、郊外へでも、いや郊外の偏僻なところへでも行かなければなくなつてしまつた。市内などでは、吾々の子どもの時分に弄んだ長さ三尺ぐらゐの紙鳶さへ、空へ上がつて居るのを見ることは、殆んどないと云つていゝくらゐである

地方では、人々がそんな遊びをする餘裕はまだ／＼十分にあるであらうと思ふ

關東の正月は春ではなくて冬なのだから、陽氣な氣分を以つて迎へるには少し無理であるが、さういふ點で吾々が羨ましく思ふのは中國からかけて、四國の南、九州といふ風な暖かな土地に住んでおゐでの人々である

殊に瀨戸內海のあの靜かな青々とした波を見晴らす土地の正月は快からうと思ふ。伊豫の淺海（あさなみ）あたりもその一例であるが、瀨戸內海には、海の水碧々と澄み渡る所謂文字通りの白砂青松の土地が少くない。土地の人々は馴れつこになつて居つて左程に思はないかも知れぬが、あゝいふ綺麗な海邊、關東などでは何うしても見られないやうな佳景の入江に沿ふての散策は、吾々の胸に一頁の詩をもたらすものであらうと信ずる

それならば、關東の大都會に住まふ吾々老朽者に取つては、正月は全く無意味かといふに、決してさうではない。長年の慣例からでもあらうが、正月となると何となく心の落ち着きを感ずる。人を訪はずとも宥して貰へる年齡になつた爲めもあるのであらうが、客を待つともなく待つてゐる閑かな寂びた心持に可なりな快さを覺える。年賀の客といふやうな人々の來ぬ靜びしさにも一寸謂ひがたき趣きがある

僕は近年は三日間は成るべく外出をせずに家に居ることにしてゐる。年賀に來てくれる親しき人々にかけちがはないやうにしたいからである

元日に聽く大阪市外の花園球場のラグビーの試合は、四邊の靜寂のなかでの華やかな動きが突如として聞えて來るやうな氣がして、如何にも好い心持のものである。僕等に取つては、これがもうすつかり正月の年中行事のやうなものになつてしまつて、年の暮になると、何時も此の試合のラヂオを聽くのを樂しみに年を越すやうになつてしまつた（をはり）

新年の歌

佐々木信綱

祈らくは皇國の臣民の榮ほがらにのぼる初日あふぎて

新年の光みなぎる大空をつばさきらゝに鳥船行くも

皇國守ると大海原にをる大船のみ旗に照らふ今年の初日

朝防山神の高嶺の眞榊のみどりはにほふうらゝ初日に

非常の時としいへる新春のあしたの日影朗く雄々しも

廣州郡廳 職員一同

廣州警察署長 土師忠作

廣州郡九川面事務所

廣州警察署 職員一同

廣州畜牛金融社

廣州麴子製造場

廣州郵便所 安田清行

廣州京安金融組合 隈部雅

廣州公立普通學校 職員一同

永同金融會

永同郡守 李海用
庶務主任 藤堂美國
財務主任 西川帆平

忠清北道會議員 李相夏（永同）

永同警察署

南北棉業株式會社 繰棉工場 主任 日下部輝太 鳥致院（電話一二九番）

鳥致院松麵石油組合

鳥致院水曜會

鳥致院穀物商組合

鳥致院商工會

燕岐郡廳

鳥致院 料理 北一樓 電話一〇一番

鳥致院驛前 商工組運送店 電話一二七番

鳥致院 朝鮮物産株式會社 電話一二八番

鳥致院 朝永土地株式會社 電話一一五番

鳥致院 片山隈太 電話三二番

燕岐砂防事務所 職員一同

鳥致院驛前 益田材木店 電話一〇〇番 支店 清州清水町 電話三三〇番

すまして御芽出度う御座ります 御用命ヒーキに 鳥致院 カフエースエヒロ 電話二三五番 南美・喜久代・英津子・八重子

鳥致院 製絲 米穀 高谷貞助 電話一五番

鳥致院 米穀・肥料・貿易商 白井素介商店 電話一四番 白井製糸工場 電話五七番

朝鮮運送株式會社 鳥致院出張所 電話二五・五八番

鳥致院旅館組合（いろは順） 丸屋旅館 明治旅館 重松旅館

大田電氣株式會社 鳥致院支店 電話四八番

栗山浦公立普通學校 職員一同

全南栗山浦 野口定

栗山浦公立尋常高等小學校 實科女學校 職員一同

全南栗山浦 黑住農場 電話七番

全南栗山浦 米穀肥料商 森崎胖一

全南栗山浦 北島春吉

全南栗山浦 藥種商 加藤盛春堂 電話一〇二番

全南栗山浦 小笠原義之

全南栗山浦 國重精米所 電話二三番

全南栗山浦 米穀肥料 阿部万吉 電話三八番

栗山浦産業組合 組合長 石田嘉太次 電話五四番

全南栗山浦 米穀 籾摺業 林實治 電話四六番

京城府光熙町一丁目 堀田鐵工所 所主 增井治郎吉 電話本局一五七八番

金泉郡廳 金泉郡農會 職員一同

大邱中等學校長會

榮羅金曜會

慶北浦項 木下嘉平 李之榮 小林春二 松尾吉文 田中親男

慶北迎日郡 松羅面長 李秉鎬 松羅公立普通學校 松羅酒造株式會社

慶北興海 酒造 松の露 松木酒場

慶北興海 郭漢喆

學校組合管理者 面協議員 村上邦太郎 慶北興海

慶北浦項川口 船具漁具 油類 諸雜貨 原田商店 電話五六番

迎日郡廳前 道會議員 李源瓚

慶北浦項 丸三漁業株式會社 電話五三番

慶北 慶州三公立學校

慶北 高靈郡廳員一同

慶北慶山 慶山酒造株式會社

慶北星州郡 星州官公吏一同

慶北 聞慶官公署員一同

慶北 尙州土曜會

京釜線楡川 楡川麴子組合

慶北善山郡 善山十五日會

慶北浦項 料理屋組合

慶北迎日郡東海面 ブドウ栽培 ブドウ酒 ブランデー醸造 ミツワ浦項農場 場長 仲野隆一 電話都邱五番 振替京城五三七四番

慶北浦項 迎日漁業組合 電話一〇二番・四〇番

慶北浦項 迎日郡廳 迎日郡農會 職員一同

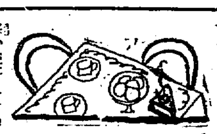
慶北浦項 貿易商 中谷商店 電話長一四番・長二二番

慶北九龍浦港 漁業 孟盛丸組 代表 福良宇佐吉

ふじん・と・かてい

樂しいお正月のまどひに 仲の火鉢が氣にかゝる

家庭科學 炭火の毒



樂しいお正月ですね、お宅の皆さんはストーブや火鉢や炬燵をかこんで樂しいお正月をしていらつしやる事でせう、ところが火鉢におこす炭火からは一酸化炭素といふ有毒ガスが出るために衛生上よくないといはれます。一酸化炭素といふのは、人間の血液中に入つて血液を硬化してしまふ作用があります。火事場で煙にまかれて死ぬのもこれ、ガスが倒れて死ぬのもまたこれです。そこで、この一酸化炭素の出ぬやうにするには、どうしたらよいかといふと、木炭を完全燃燒させればよいワケですが、さう無闇にポカポカと火をたてゝしまつたのでは、不經濟で仕方がありません。從つてツヒ灰をかけたりするために、不完全燃燒を起す結果となるのです。それ故に經濟を重んずると有毒ガスを作ることになり衛生を重んずると不經濟になるといふまゝならぬ矛盾に苦しみます、經濟觀念の發達した我々は、いつて見れば好んで毒ガスを製造してゐるやうなものです。

毛じゆすの艶出し―

毛じゆすを洗濯した後、ほう砂を加へた水でゆすぐと艶が囘復します

◇リンネルのシミ　リンネルにコーヒーや果物のしみがついた時には、そこにグリセリンを少々塗つて數分間放置してから温い石鹸水で洗へば落ちます

ほんとうなんです
四つ五つの時に五年生の本がよめたのです
けふ・八つになつた少年

これが神童でせう 漢文や横文字
すらすらと讀んで平氣な顔
龍山衛戍病院長の息利昭君

けふでやつと八つ―小さな子供の使ひ所―にいはゆる天才とか神童とか名のつくものがけるならば、わが武藤利昭君（八ツ）も亦その超世天才組の一人で而も或る一つの道にのみ凝り固まらず、あらゆる方面の腦の働きに頭る餘敵な作用をするところ眞に神童番付の横綱格に位するものであらう、利昭君は武藤龍山衛戍病院長の三男坊、この坊ちやんいつ頃から讀書に興味を覺え出したものか四五才の頃からしきりに兄達の用ふる小學讀本を手にして片假名は勿論平假名まじりをすらすらと讀み上げて兩親を驚かしてゐたが、この頃は龍山小學校五年生の小さい兄さん正弘君の地理歴史理科などの敎科書を片端から讀破し更に龍山中學一年の弘一兄さんの國漢文からABCの横文字まで研究が進み、漢字を覺え込んで毎日の新聞は缺かさず第一番目に手にしてゐる

まあお兄様に讀んで聞かせます

その超天才ぶりに驚かされる、單に讀むばかりでなくこれを咀嚼する力に至つては實に想像以上の鋭さを持つてゐる、地理を覺えて三百四十三驛を暗誦し歴史は手にして藤吉郎の傳記を讀りまたエヂソンの偉業を心得て電機が光を發する原理をお母さまに說授するといつた有様

新聞は

漫畫だけ見るを許されてゐるが社會面から政治面、特に國際聯盟などの難しい頃は聯盟の文字を紙面にさがし求めて兄達を相手に讀み聞かせたといふのである、誰が敎へたわけでもなくいつの間にかこんなに覺え込んでしまつたもので或る日利昭君は母さまと共に本町に出かけレコード屋に飛び込んだ時樹にはられたレコードの說明をスラスラ

棒讀み

にし乍ら『お母ちやんこのイタズラモノてのがあるの買はない』と母さんを屁古ましたのである。この頃では兩親達が知つて心配になり、なるべく讀書をさせぬよう努め、一年程前からピアノの稽古に轉向させようとしたが、音樂を解するとまた相當なもので素晴らしい上達ぶりであるが、ピアノよりも

讀書が

もつと好きらしく隙を見ては兄上達の部屋に侵入して書物を漁つてゐる、身體も至極健康で普通以上の體格、愛くるしい目で

『おぢちやんにサインしてあげよう』

立派な漢字で自分の名前を書き上げた、めづらしくよく出來た坊ちやんではある（寫眞は利昭君とサイン）

秀吉さん
一言で片づく 記者との問答

『坊ちやんの兄ちやんは何といふ名前』『ヒロカズとマサヒロ、ヒロは弓偏にム、カズは一、正は大正の正、ヒロは前と同じ』說明がうまい

『坊ちやんは何の本が一番好きか ネ』『理科と地理と歴史と……』『藤吉郎つて誰のこと？』『豐臣秀吉が出世する前の名前なの』『英語は知らんだらう？』『知つてる！少しばかり』少し無理と思ひ乍ら『十二月は何といふの』『デセンバー！』一月から十二月迄心得てる『ようし、おぢちやんが參つた！ではみんなのお名前をこれに書いてネ』『えゝ』おとなしく机に向つて習字をはじめた

とんでもない事

彼（興奮に色蒼ざめて）『どうしても僕の心はうけいれて呉れないのですね、いゝです僕は隣りに、門の側の柿の木で首を吊つて死にます！』

彼女（慌てゝ）『それだけはよして頂戴！、折角おいしい實がなつても、氣持が惡くて食べられなくなりますから！』

お母様は却つてお心配

お母さまの武藤夫人は語る

いつ頃から覺えたものですかこちらではひとつも敎へたことがないのです、例へば國際聯盟の聯の字を見て、これは聯隊の聯だナと語りながら一人で覺え込んでしまうらしいんですのこの頃は却つて勉強を阻止するやうにしてゐますがそれでも兄達の敎科書や新聞を讀んで兄達を敎へてゐるのです

◇

字を書くことも敎へてませんから順序が出鱈目です、これは學校へあがつてから敎へて貰ふと思ひます、大體父様も敎へない限り放任主義で行くより仕方がなからうと語つてゐます

◇イボを取る法

イボを取るには朝夕ヒマシ油を塗るとよろしい、又馬のしつぽの毛で根元をきつく縛つておくと二、三日で取れます

カニ類の中毒にご用心

蟹の中毒は大變恐ろしいものですしかしあちこちで起すその原因をしらべてみると、みんな腐敗したものを食べるからです

◇

蟹は非常に腐敗しやすいものですから、これからお惡い折でも土産なども其日のうちに是非食べてしまはれるやう、もう今なら大丈夫だらうといつて、翌日、翌々日あたりまでとつておいて食べるとが中毒をおこす原因となるのです

女性の足を見て
美事その性格がわかります

街を行く女の脚・脚・脚、その脚で女の性格がわかるといふ研究が發表された

一、足のほつそりしてゐる女は大概男に對して無頓着である

二、筋肉が細く靴下の上からでも見えるやうな脚の女は殘酷である

三、やゝ太り肉のボツチヤリした脚の女は情熱があつて親切である

四、自信のある女の歩き方は自由で力強いが、臆病な女は、歩調が一定しない

モダン遊戯
みんなでよつてたかつてやつてごらん
とてもこれはおもしろいよ

お正月は子供たちも加へて、一家族交友が樂しい日を送りたいものです、オンドルの中で、時間の過ぎるのも知らずに遊ぶ正月でありますが、こゝに簡單で面白い近代的な遊戯を三つ四つお話しませう

金塊引揚げ遊び

この遊びは却々引揚げが難しい事と、掴つたら收穫が大きい處に面白味がある、そしてインチキした場合は一度除外するとか、しつぺい喰はせると罰則を付けると面白い、つまり[illegible]の多數の沈沒船金塊引揚げから始まつたのです

道具は木綿糸に針を通したものを長さ一米位にしておく、一方割箸お菓子、おすし等個々に紙に盛つたものを用意する、これだけで揃つたのです

遊戯は幾人でも構はない、まづ順番を決め、紙か皿に盛つた御馳走を二尺離れた處で、用意の木綿糸の中心をもつて御馳走めがけて投げつける、その場合糸を放さぬ樣にする

そこで針は蜜柑や、菓子に突きさゝるこれを落らない樣に引揚げるのです

御馳走は引揚げて來ることで、皿を引ずつて來ては駄目、手許まで來た時には成功したのだから、成功した人は幾度も續けられる

つまり皿や、紙を沈沒船にたとへ御馳走を金塊として上手に引揚げるのです

モダン信號遊戯

十人位甲乙組に別れて同數となつて向ひあつて坐る

甲組が乙組の誰でもいゝからよんで、その人にのみ紙に書いた題を見せる。例へば『丹下左膳』でも『甘酒屋』でも何んでもいゝ、その人は無言のうちに身振り手振りして出された題の形を示して、出された題が何んであるかを乙組に信號するのです

乙組の四人は題を知らないから一生懸命でその信號をみて出された題が何んであるかを研究してあてるのです

丹下左膳とすれば右手を懐に、左眼をつぶつて左手で妖刀ぬれ燕をサツと拔き人を斬る恰好をする譯です

これを乙組で當てれば今度は甲組の番です

この遊戯は勝負よりは、むしろお正月のお笑草ともいふべきものです

受取つた題がむづかしくて自分の組に信號するのに種々苦心をし、これがとても腹を抱へて笑ふ滑稽な身振りとなるのです

考へても御覧なさい、國際マダムX廿七號なんて出されたらどうします

『甘酒屋』と出されて『おわいや』とみたりするとはあり勝ちです

やうするに彼の女にするサインの巧な人々は却々工夫も上手にうまくやれる譯です

1934 動く美
生きた表情！

近代人の美しさは、目鼻立ちの立派な、お人形の顔ではなくなりました。動く筋肉、生きた表情、ピチピチとした躍動。

そこで、近代美を望むマドモアゼルは、舞踊に熱心になりました。舞踊家に見る均整のとれた美しさが、ペーブメントを行きます、大股に、足音高らかに若さを運べて……

寫眞は、石井漠門下の崔承喜孃のあるポーズ

水原醫師會

水原穀物檢査出張所長 品川秀治

水原 湯淺伊平

水原 山崎自轉車店

水原學校組合 管理者 近藤虎之助

水原 池田清

水原驛前 苧田國雄

水原 巴商會

賀正

水原驛前 無砂精米 讃岐商會 電話二一四番

水原驛前 木材金物 建築材料 萩野商店 電話一三六番

水原 道會議員 崔在燁

水原 尹泰仁

水原中央印刷所 朴一龍 電話一二三番

京城日報水原支局 江口守夫 電話五一番

水原商店有志（加盟店） 加茂百貨店 不二屋百貨店 近藤印刷所 神崎呉服店 田田商店 安田商店 中原商店 副島商店 松美屋 磯崎商店 水原物産商會

水原 白鳥芳男 電話一六一番

水原邑長 梅原靜雄 自宅電話一五六番

水原 御料理 富司亭 電話一四番

水原郵便局長 佐々木繁雄

水原自動車株式會社 社長 香山弘 電話四四番

殖産銀行水原支店

漢城銀行水原支店

共濟無盡株式會社水原出張所 電話三〇五番

水原 額岡組 京城電話光化門二四二四 水原一二二番

水原道立病院 田村院長

利川 道會議員 申鉉泰

水原 株式會社 第一社 取締役社長 梁奎鳳 專務 李光鉉

水原 株式會社 富國周

水原佛教各宗會

水原 壽吉寫眞館 許熺

水原土木當區主任 有松壯平

水原 華城券番

水原警察署 署長 藤田乙治郎 外 議員一同

水原消防組 組頭 青木爲一

烏山消防組 組頭 近澤馬吉

南陽消防組 組頭 木下菊次

發安消防組 組頭 佐坂才吉

餅店消防組 組頭 島瀬德藏

沙江消防組 組頭 樫本要人

安龍消防組 組頭 桐畑辰藏

平北義州 松長水利組合

平北義州 高一清

平北義州 義州金融組合

京釜線水原邑山樓里三四五 米穀商 ⊕金德商店 電話二六八番

京城電氣株式會社 水原支店 電話四九番

水原 ◪精米所 寺澤捨三郎

水原郡 各産業團體

職員一同

水原麵子製造場 組合長 韓弼鎬 理事 藤井安一

水原驛前 朝鮮運送株式會社 水原出張所 寺澤捨三郎

水原金融組合長 洪思勛 同理事 赤木直枝 電話一五七番

水原郡酒造組合員

水原酒造株式會社長 水原郡酒造組合長 水原邑山樓里 餅店面古川里 半月面乾之里 梅松面院坪里 陰德面南陽里 松山面沙江里 八灘面德紙里 雨汀面朝岩里 鄕南面發安里 楊甘面社倉里 正南面文岩里 城湖面烏山里 台章面餅店里 台章面勤[illegible]里 台章面盤川里 安龍面古索里

洪思安 尹敬變 卜犹錫 金敎益 鄭憲榮 尹夏變 朴斗鉉 金南圭 徐光俊 外二名 金容俊 趙仁行 韓弼鎬 林寅圭 尹元成 李明西 朴健裕

水原農事試驗所

水原高等農林學校

農事試驗場蠶糸部

高等官一同

京城本町一丁目四十八番地 株式會社 横山商店 電話本局長二六七・二七二八番

京城印刷組合員

井上商店 岩田鐵工所京城分工場 初田活版製造所 日本紙業株式會社京城支店 合資會社 淡原紙店 ゲルトネル商會京城支店 合資會社 淡[illegible]商店京城支店 中山洋紙店 矢野商店 合資會社 近澤商店印刷部 大倉洋紙店京城支店 朝鮮ローラー社 大盛印刷所 大海堂印刷株式會社 極本印刷所 西尾印刷所 西村印刷所 近澤[illegible]商店 太平堂印刷所 太谷印刷所 大塚商會印刷所 門田コロタイプ製版所

片岡印刷所 共盛堂印刷所 谷岡印刷所 北内印刷所 野津集文堂印刷所 山口印刷所 山田印刷所 山本印刷所 松本印刷所 朝文社印刷所 京城日報社 大和商會印刷所 江里口印刷所 江里口第二工場 朝鮮印刷株式會社 合資會社 近澤商店印刷部 佐藤印刷所 開進堂印刷所 帝國地方行政學會印刷所 開拓堂印刷所 白石商會印刷所 京城荷札製造所

京城府本町一丁目 大澤商會京城支店 電話本局二六二番

大刷新整備裝備調度を備へて御待ちして居ります 併せて有難う御座います、御料理に依ばれ嚴しく改善に改造を加へて居ります、一席六百人宴會席設備・特別室・化粧室・休浴室・其他御慾に添ふべく整して居ります、何卒相變らず御用命を御願ひ致します

營業種目 宮中式朝鮮料理及西洋料理 朝鮮一流藝妓の出演歌舞 送別・歡迎・親睦會・宴會 結婚披露宴・床 園遊會・運動會・模擬店 朝鮮名物料理一等賞受領

食道園 京城府南大門通一丁目 電話光化門四四一・二五一七番

平北義州 邑長 申彦浩

平北 義州郡農會

平北義州 德久寶一

平北義州郵便局長 島岡熊次

平北義州 道立義州醫院

平北義州公立農業學校 藤井猛

平北義州 義州警察署長 水野宅三郎

全南長城 長城郡農會

全南長城 長城合同運送株式會社

全南長城 長城金融組合

全南長城 道議員 金相弼

全南長城 長城消防組頭 本山重信

全南長城 長城産業組合理事 末松鹿吉

全南長城 長城學校組合管理者 森分房太郎

全南長城 株式會社 湖南銀行 長城支店

新春演藝
新興作品『春の目覺め』

1934年の映畫界

國産映畫萬歳

だが―質において洋畫に劣る

優秀映畫作成が課題

映畫界もウルサくなつたものです。國策樹立とか言ふヤツで、三四年度は相當騷がしい議論に花が咲く事でせう。何しろ、內閣總理大臣を會長にする、國策委員會といふのが、出來上らうといふのですからねえ。

その上、朝鮮でも映畫統制令を施行して、十三道の常設館は、必ず一本以上の、國産映畫を上映しなければ、興行を許可しないやうにするといふのですから、このところ、國産映畫萬々歳です。

しかし、斯ういふ強制によつて徒らに數のみ殖やす事は、國産映畫の爲めに、考へなければならない事だと思ひます。國策問題の調査に從事して居られる、內務省の

增田　事務官は、日本に於ける總映畫數から割り出して、洋畫の一割五分に對して、國産映畫は八割五分もあるのだから、輸入制限法を設ける必要はあるまいと思ふ。唯考へなければならないのは國産映畫の海外市場進出であるといふことを述べてゐますが、これも量を論じて質を究めない言葉と思ひます。

實際、日本映畫は量に於ては壓倒的勢力を有して居りますが、質にかては、決して洋畫に追ひ付かないと思ふのです。また、上映比率にかても、國産映畫のうちには、製作はしたが世に出ないものもあるし、極めて少數の館にしか出てゐないものもあるが、輸入された洋畫の多くは、再映三映をなすものが少くないので、實際の稼ぎ高は、國産品の一メートルと、洋畫の一メートルの比率が、甚だしく違つてゐる事で立證されます。

パラマウントの大連支社にかける滿洲各地の收入は、配給館數に於て、遙かにこれを凌駕する松竹キネマと、殆んど同額だといふ事ですが、これだけ

洋畫　の質が高く、國産映畫は安價されてゐるといふ事になるのです

洋畫を輕蔑したり、壓迫する事を考へる必要はありませんが、質に於て洋畫を凌ぐものを製作するやうに指導する事は、國策として最も重要な事項でなければなりません。斯くてこそ、海外市場への進出も企て得られるのではないでせうか

それから、三四年度には、多年わが映畫界の惱みの種であつた、國産フイルムが、大日本セルロイド工業の手によつて、製出されるといふ話ですから、こゝにも亦、輸入品と國産品との激烈な對抗戰が演ぜられるであらうと思ふのです。

聞くところによると、洋畫配給者の間にも、政府の國策樹立に對して、種々善後策を研究中であり、或は自發的に輸入映畫の制限を行ひ、質をより吟味して、實際的にスゴイ映畫をドシドシ輸入しやうとしてゐるとの噂です。さうなつたら、國産映畫は、量ばかりすぐれてゐても儲けがなくなつて、お客を洋畫に奪はれるやうになるでせう。國産映畫業者は、國策々々で有頂天になつてゐないで、褌を締めてかゝらないと、不可ないでせう。

いづれにせよ、一九三四年の映畫界は

國策　樹立を中心に、相當活潑な動きを見せ、內外業者が火花を散らす接戰を演ずるであらうと思ひます。そこで、よき畫がドシドシ出來る、お客はフンダンに來るといふ事になれば、映畫業者はいよ／＼以て萬歳といふ譯です。サテ、それが果して注文通りに行くか、どうかは、一つに國産映畫業者の、頭と、腕と、さうして金の問題ですがね。

映畫手帖　ファンに呼かける

內外に『非常時』の潮渦まくうちに、諸君・一九三四年が明けた

☆……

映畫は、新興大衆藝術としてあらゆる階層に向つて侵入しつゝある、そして、映畫が藝術として向上するとゝもに、これを觀賞する大衆の眼も高まりつゝある

☆……

わが半島、特に京城におけるファンも一九三三年においては、單なる娛樂から藝術觀賞へと足を踏入れた傾向が目立つて見える、藝術愛好家には、研究熱が復活し、かうした傾向も、この年には、もつと／\組織されてゆく勢が見える

☆……

『京日演藝欄』は、つねにファン諸兄姉とともに歩みを進めてゐる、とくに本年は、この『映畫手帖』欄を本陣として、廣く讀者諸君とゝもに、映畫を研究してゆきたい

☆……

投書の洪水よ來れ

戊年の劇壇

平凡な歩みを續けるか

木村錦花

昭和九年の初頭に立つて、今年の劇壇の動向を豫想する時、每年の事ながら矢張り現狀維持で進むだらうと考へる。振り返つて過去數十年間の劇壇を回顧するとき、非常な變化の跡が見られるが、扨て今年は?となると大變化を來しさうな事は豫想が出來ない。勿論日每に進步はして行くだらうが、非常な方向轉換などは一寸起りさうにもない、歌舞伎にしろ、新派にしろ、新劇にしろ現在の所では非常の飛躍をする原因を私は發見する事が出來ない

◇

新派俳優其の他各自の勉強に俟つだけである。俳優といへば、新派の俳優は歌舞伎俳優に比して非常に若い。現在の新派俳優は花柳にしろ一流の者でも年齡から見れば歌舞伎俳優としてやつと一人前になる年頃である。新派俳優は早く老ひ込む傾向が見えない事もない。それだけに新人は早く芽を出し伸び得る可能性も多いわけであるが新人には今一層の勉強が、一流俳優には今一段と精進が欲しい。

◇

歌舞伎の方では上に元老俳優がズラリと並んでゐるので新人の進出は困難である。若くて一人前として働く力がある者も少いながらも居るには居る樣である。これ等は相當保護され育て上げられてゐるので、可成りの進步を見せる者も其の內から二三は出て來るに違ひない。新歌舞伎座に立籠る青年歌舞伎の人々も劇は未熟ながら其の熱心と元氣は買ふべきで其の將來を期待される

◇

各劇場每月の上演物も昨年と恐らくは大同小異であらうと思はれる。新作と古典の上演の割合なども大體昨年と大差ないであらう。珍しい古典劇の復活、優秀な新作なども或は現れるであらうが、これも今の所これといつた腹案もなく一寸豫測が出來兼ねる。脚本の方では眞山青果氏を始め不世出私淑が全力を盡して傑作を世に問ふ心算ではゐるけれど出來上つて見なければ何とも言ひ得ない。其の內容も如何に變化するかわからないが、新派の方では現代の實生活により接近して行く事は事實である

◇

それから一昨年の團十郎の追善興行、昨年の彌助、兒太郎の襲名披露興行の穩な所謂歌舞伎座番版も十一月の顏見世興行には今年も―といふよりは觀客吸收力を失はぬ限り每年長く續けられるであらうし又八月の吉例となつた播作の『强次郎多』も依然續けられるであらう『强次郎多』は逆臣としては外道のものであるが俳優も觀客も馴れて來たし、俳優に氣の毒でこれを止しても八月は矢張りこんな物でないと客を呼べないので、客に飽られない以上長く續ける事でせう。今年なども强次郎多兩人を滿洲へ旅行させては如何かなど話がありますが、これは私が滿洲に行かねばならぬ事で今年は其の暇がないので今年は結局山陽道か北陸道の方を旅させる事になるでせう

◇

結局今年の劇壇は前年と大差なく平凡な歩みを續けてゆくやうに私には思はれる。若し相當の變化が起るとすれば、それは東寶劇場の出現によつて起るものでせう。歌舞伎を上演しない月には俳優は或は松竹から貸すことになるかも知れない、だがそれについては私は何の話も聞かず、まだそれに對する準備も考へてゐない。或は松竹と東寶が鎬をけづつて鬪ひ、劇壇が活氣を帶び、意外の進步を示すかも知れない。私はさうあつて欲しいものだと願つてゐる

戊年生れ演藝人

あなたの好きな彼氏や彼女は?

映畫界　映畫人を見渡せば▲四十九歲‖野寺正一(新興)▲三十七歲‖中川芳江(下加茂)關操(同)山本禮三郎、鳥居正、尾上榮五郎、南部章三、秋田伸一(日活)內田吐夢(新興)新興四郎、風間宗六(下加茂)▲二十五歲‖田中絹代、三井秀男、若原春江(蒲田)中田弘二、高津愛子、上村節子、小山雪子、北原夏江(日活)衣笠淳子(新興)▲十三歲‖みどり雅子、酒井光子(寶塚)

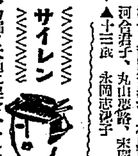
邦樂界　邦樂界では延壽、杵屋の長老組が文久二年生れの七十三歲を筆頭として▲七十三歲、望月朴淸、淸元延壽太夫▲六十一歲、稻若宗六四郎、杵屋彥之助、杵屋勝禰、吉住友次郎、芳村芝葉、若松若太夫▲四十九歲、林きむ子、望田喜平治、竹本文字太夫、竹本組春、竹本綱榮、常磐津仲太夫、岸澤仲助、宮薗彥遊(一中節)▲三十七歲　宮薗自之助、杵屋勝五郎、松島庄三九、杵屋六郎次、望月吉三郎、杵屋[illegible]子、豐澤團伊三、竹本伊達子、竹本住若、岸澤武藏、淸元志津太夫

劇壇　舊劇俳優では明年六十一歲になる羽左衛門が年長者で三十三歲になる右近と又太郎が年少者として東西の新派で二十五名のうち女優には村田みね子、田島實房子の二人で新派は伊井蓉峰一人である

▲六十一歲‖市村羽左衛門、桃木吉之助▲四十九歲‖中村吉右衛門、坂東彥三郎、市川壽美藏、大谷友右衛門、坂東三津三郎、市川照藏、尾上菊右衛門、中村吉之丞▲三十七歲‖市川男女藏、村田みね子、坂東鯨藏、尾上菊七、尾上梅助、助高屋助藏、坂東市太郎、明石潮、伊井友三郎、出雲美樹子、市川猿五郎、中村政治郎▲十三歲‖尾上右近、坂東又太郎

洋樂舞踊界　次に洋樂、舞踊界では四十九歲　澤田柳吉、早川彌左衛門、山田耕作、▲三十七歲　荻野綾子、加藤嘉一、近藤秀勝、ジェームス・ダン、鈴木留一、田中路太郎、藤原義江、吉田東彌、花柳壽美、五城秋一、高田モト、勝間淸子、吉田智惠子、花島喜世子、河合君子、丸山姿路、朱房好子▲十三歲　永岡志津子

サイレン



◇力强く大地に足をふみしめてけふぞ迎へる昭和九年の春

◇映畫國策の大方針樹立され本邦映畫界に意氣あがる頃

◇半島においても大築、PCLの國トーキーが進出計畫なり、初春を寄せてスクリーンに投ぜられんとす

◇慶すべき本年度よ、祝ふべき一九三四年の初春である

前進せよ　日本トーキー

([illegible])

日活新進五人女

花井蘭子　新進と言ふべく花井蘭子の名はあまりにも有名になつた。本名稻水よし子未だ十六歲の若さである月下山本監督の『ふるさと唄れて』に鈴木傳明と相手役として出演中、明朗な性格と撮影所中での愛嬌者である、豐な天分と稀に見る明晰とで最近富にその人氣を増しつゝある

大原雅子　本名山根菊子大正二年鹿兒島に生れた女學校卒業と同時に渡米しロスアンゼルス、ウッドベーリービジネス、カレッヂを卒業後新智ナショナルシテイー銀行で働いてゐた。牛原虛彥氏の知遇を得て歸朝後日活に入社した、最近『薔薇地獄』に出演して名聲を博した、月下『狼火』に出演中

白石[illegible]子　本名畠直子、二十歲五尺三寸十三貫　秋田縣に出生昭和七年蒲田撮影所に入社小杉勇と共に轉出し本年日活時代劇部に入社直ちに辻監督の『陣屋の正太郎』に出演した、得意は日本舞とスキー

永井邦子　本名角坂冴江、十八歲東京淺草の生れで佛英和女學校出身入社後日は淺いがその天分を見出されて山本監督の『ふるさと唄れて』にデヴューしてゐる　五尺三寸、十四貫と言ふ肉體美の所有者得意は水泳舞踊音樂ダンス

大倉千代子　本名坂間淸代子、十九歲生粹の江戶ッ子である五所平之助に師事して舞臺に立つてゐたが本年三月日活に入社『刄形半平太』『鼠小僧次郎吉』『岩見重太郎』等に出演して綜ち時代劇に無くてはならぬ存在となつてしまつた、可憐純情の娘役を得意としてゐる現在『强次郎多』に出演中である有名な猫好きで知られてゐる

明暗旗本男 (98)

大島多慶夫

(畫)　寺田英三

謀反の末路(五)

『キャピテ、俺は其所とあくまでも生死をともにして參りたい。しかし、此度の反逆が縱令成功をいたしても、到底貴所の政治御信條は永久に平和に國內を統一して參ることが出來まいと存じたによつて、今の間に御捨てになつて、新らしい主旨によつて討邪の旗をお掲げに相成つた方が宜しからうと存じます』

と、播摩は靜かに落着いて云つた。

だが、事の危急に何時になく苛立つた宗意軒は、

『その無駄な辯疏は聞きたくない。早う俺の命を斷たれい。早う。なぜ躊躇するのぢや』

と、宗意軒はたゝみかける。春之助はいかゞ成るものかと固唾を呑んで雙方をチロ／＼と見比べてゐた。

『かほどに申上げてもお聞き容れにはござりませんか』

『それは御身が俺を見捨てる口術に過ぎぬのぢや』

『さう睨まれては困ります』

『何が睨んで居る。御身の卑怯な肚の底はもう俺に見え透いて居るぞ』

播摩は最う駄目であると決心をした。そして、他の二人のものと互に顏を見合せた。

『致し方がない。ではキャピテ、われ／＼にはすこし考へる所もあるからこれでお別れいたしたい』

『おのれ裏切者、そこ動くな』

宗意軒は猛つとなつて刀を引き寄せた。

と、その刹那、春之助は無言の拔き討、立ち上りざまにさながら電光のやうな迅さで斬りつけた。

『あつ』

と、播摩はおもはぬ不覺に眉尖をふかく斬下げられて、仰向けに倒れると、他の二人はスラリと拔いて身構へた。

パン、パン、とはげしい銃聲の音がひゞくとウーンと呻めく聲が起つて、二人の隊長は反り返つてしまつた。

『キャピテ』

と春之助は宗意軒の血走つてゐる眼を見ながら取すがつた。

あちらこちらでは、事の氣配を早くも察したらしい同志の者のうろたへ騷ぐ物音―

宗意軒は物凄い顏をして突つ立つてゐる。頭髮は白銀のやうに逆立つて、長い白い鬚は針のやうにふるへてゐる。

『破れた。俺の大望は破れた。もう南海の孤島へ行くのもやめたぢや。事こゝに及んで何が出來る。土師氏。俺の首を刎ねてくれ』

と、破れた鐘をたゝくやうな聲で叫んだ。

春之助の眼には悲痛な涙が滲んで流れ、極度の緊張を見せた顏の筋肉はピク／＼と烈しく動いてゐる。

『キャピテ、お氣をお鎭めなさい大事の場合ではござりませんか』

『首を刎ねろ。わが事は最う終つた。ありと有らゆる鬪士の民に平等の財と權利を與へまことの平和な國土を日出づる國に建立しやうと云ふ俺の心を誰一人解つてくれる人がない』

『參ります。俺た丶一人でも南海の孤島に參りませう』

『駄目だ。心を同じうしない人間と一緒に何が出來る。斬れ、さあ此首を刎ねて松平伊豆守の前へもつて參れ。憎むべき敵の手で首を斬られるよりも味方のもの丶手で刎ねてもらひたい。さあ斬れ／＼斬つてくれ』

と、宗意軒は狂氣のやうに叫んで、懷劍をスラリと拔き自分の腹へ突き立てやうとした。

春之助は慌て丶その手をムヅとおさへて

『キャピテ。お待ちなされ。貴所の政治信條に敬服いたして居るものは味方にも數多くござります。さういふ者だけでも引きつれて一先づこゝを立退きませう』

『えゝ離せ、離せ』

と、宗意軒は力任せに春之助の手を振拂つて、づぶりと懷劍を腹へ突き刺した。

京城本町三　丸久精肉店　電話本局二二五〇

京城本町三　望戶力一

朝鮮水產會

京城本町一　黑川精肉店　電話本局九六四

京城府太平通(總督府通り)　優美堂印刷所　木下興吉

京城驛前朝鮮神宮表參道入口　笑福旅館　電話本局一五五一番　三六二一

賀正

京城鍾路一丁目　角田被服株式會社　電話光化門九五五　一三三〇

京城櫻井町一　野津集文堂　電話本局一七二四

京城本町一　江戶川　電話本局一四六　九二八

京城本町一　奥山理髮館　電話本局四六四六

京城鍾路二丁目　梅鉢そば店　電話光化門四七八

京城本町二丁目　みのや吳服店　電話本局五六七番　八八八番

安本常一　京城安金町一郵便所長

京城鍾路二丁目　鏡臺製造卸　⑤岩本京城支店　電話光化門二二六三

京城府本町二丁目　⑤岩本漆器店　電話本局二一七四番　振替京城三五九番

京城南大門通り三丁目　醫療器藥品　後藤風雲堂　京城出張所　電話本局二五七一・三八八五

京城府南大門通三丁目　共同火災保險株式會社　京城出張所　長　電話本局一七七八番

京城府古市町二一　鐵道省御指定　二見旅館　電話本局六八八・七二四番

京城府長谷川町　第一生命保險相互會社　朝鮮支部長　渡邊退助　電話本局一三三四番

京城府明治町二丁目　長唄　杵屋佐多枝　電話本局三〇六七番

京城美容學校長　田中なを　京城明治町　電話本局三七二七番

京城質商組合

京城府明治町二丁目(本町明治屋橫入)　電本三六五二番　京城美粧院　屋敷コト
京城府本町二丁目(三越橫)　電話本局三七四番　京城美粧院支部　主任　柴田のぶ

京城水產株式會社

京城美容組合

京城府若草町　今村病院　院長　醫學博士　今村豐八　電話本局一八三一・三二六五

京城府若草町一〇六番地　西本組京城支店　電話本局二九五六番

日本勸業證券株式會社　京城支店　支店長　竹內重雄

朝鮮外金剛　ラヂューム溫泉內湯　嶺陽館　電話一〇番　振替京城一九三六七番

長箭料理屋組合(イロハ順)
御料理　ち久し樓　電話二八番
御料理　丸山亭(新築落成)　電話一六番
御料理　清見樓本店　電話一二番
清見溫井里支店　電話一二番

高城郡書堂里　高城漁業組合　理事　三池忠信　電話一六番

江原道高城郡高城邑　行政司法代書事務所　主　小林儀助　外書記一同

高城郡長箭　◎朝鮮運送株式會社　高城代行營業所　電話一八番

都養吉

外金剛驛長　小林嘉六

長箭港　江原道漁業組合聯合會　電話三〇番

冬山の美　崇巖
神秘の金剛山

御注意　金剛山の記念には先づ寫眞が第一番に大金剛を背景として撮し慣れて居る地元寫眞屋に御下命を
御注意―金剛山內の營業寫眞は本寺より許可制度になりました許可證の無い者は營業出來ません
外金剛寫眞師同業組合

長箭港　株式會社林兼商店　長箭出張所　電話四番

長箭港　岡田仁藏商店　日本海上保險株式會社代理店　電話六番

高城郡廳

外金剛郵便所長　桂一夫
高城郵便所長　河口宇一
長箭郵便所長　土田鋭實

高城金融組合　高村政吉

高城郡教育會

長箭港　公醫　崔圭河　電話三番

溫泉とスキー　金剛溫泉(共同浴場　家族湯經營)　金剛山を背景とせる溫井里公會堂(活動寫眞映寫幕の設備あり。四百人收容し得御利用被下度候)
新北面事務所

外金剛溫井里　ラヂューム溫泉內湯　萬龍閣　電話八番

[illegible]
朝鮮總督府遞信局
朝鮮總督府鐵道局
江原道[illegible]院
朝鮮殖產銀行
江原道金融組合聯合會
東京帝國大學演習林
朝鮮窒素肥料株式會社
江原道漁業組合聯合會
ジャパン・ツーリスト・ビューロー

甲戌新年紙上名刺交換會

松本左太郎

[illegible]川 信

田中武雄

神谷小一

高楠榮

野川弘

松田清[illegible]

近藤安吉

西崎鶴司

柳澤清

堀内萬三
調輔取名

桑野健治
仁川

神宮興太郎
元山府會議員 元山商工會議所議員

碓井忠平

李基[illegible]

深澤潤次郎

木村芳輔
元山府本町

藤本修三

東島[illegible]八

福島莊平
平壤

大久保繁雄

杉田[illegible]

水間美繼
朝鮮殖產銀行

藤谷作次郎

濱田虎熊

佐野[illegible]

渡邊忍

立石幹
朝鮮運送株式會社京城支店長

渡邊豐日子

関水武
[illegible]山

松島清
全州

後藤豐藏

中谷竹三郎

高橋茂太郎

[illegible]
東京火災保險株式會社

田淵勳
東拓

吉川[illegible]造

金萬兼

[illegible]五郎
釜山

上内彥作

鏑木德二

香椎源太郎
釜山

橋口卯作

[illegible]
元山府旭町

湯村辰二郎

[illegible]

戶嶋祐次郎

[illegible]

渡邊龍

[illegible]

張稷[illegible]

井上主計

高野了三
釜山

植西源五郎
京城府元町一丁目 こまや呉服店

大池源二
釜山

竹島鉉太郎

土井識一
京城府南大門通二丁目

山田禎輔
京城府元町一

山下正道
東萊邑長

小林幹三
仁川

新春に躍る

しやしん　こちらは鴨緑江名物の橋の氷上交通と天然氷採取の運搬作業で共に凍つた風景です

虹の架け橋で結ぶ　深くて固き相愛の契り

新興樂土の完全工作を目指して　安義兩市民の躍動

満洲事變勃發して足かけ四年、はや大同三年の新春を迎へた、今や滿洲國建設の大業やうやく完成し國土をあげて王道樂土の建設工作に日滿兩民衆が協力一致して渾身の努力をいたし、或は鐵道の建設に、或は港灣、河川改修に、將又道路、通信、交通の諸機關建設の基礎工作を初めとして教育、衛生、經濟、金融、移民事業計畫が誇る最も偉大にして重厚なる滿洲の平和的建設事業に國土をあげて邁進するの一大盛觀を呈してゐる一たび今日の滿洲を訪れる者異口同音に滿洲の『巨大なる建設』を驚嘆せずには居られないだらう見よ、首都新京の素晴らしい建設運動を初めとして奉天、大連、安東、吉林の各都市を打つて一丸として滿洲何處を問はず南に北に西に東に津々浦々に澎湃として湧き上る歴史的國土經營の歎聲

◇―◇

翻つてこれを内鮮滿連絡のポイントを擁してゐる安東と新義州にみればその遙かな大進展は滿洲事變前に比し全く隔世の感がある人口増加に示された邦人進出の驚くべき實數を初めとして幣制の統一による在安義邦商の營業促進、日貨排斥を目的とせる高率關税の是正による對滿貿易の躍進、並に日滿經濟提携による對日貿易の増大、邦人の土地商租權の確立等東北軍閥下に於て公々然と行はれた官憲の壓制及妨害は全く根絶した滿洲事變の成果はこゝに遺憾なく發揮されて安義兩地方は日滿經濟ブロックの強制なる一環として日滿兩市民一致協心の下に今や安東は繁榮と平和の朝鮮新義州に固き握手を求めつゝ興隆滿洲の表玄關たるにふさはしい大陣容の出現に日夜邁進努力しつゝある

◇―◇

想へ、過ぎし昭和八年に起きた幾多の建設工作運動を、大安東港の建設はいふに及ばず國境開拓といひ、東邊道の開拓といひ、安奉線改築、運賃引下げ問題といひ一として安義兩市民の結合なくして完成され得るものはない、口でこそ滿洲の建設とはいふものゝその内容に至つては實に偉大なる大滿洲國の興隆である、一部一村の充實完成なくして一國家の興隆は期し得られない、況んや日滿を結ぶ陸上ポイントの安東、新義州こそより更に強制なる絆によつて堅く連結されなくてはならぬ

◇―◇

滿洲國土經營を想ひ、地圖をひろげて朗かにかへりみれば安東、新義州をつらねる各線は實に平安北道と相對し鴨緑江の流れとゝもに繁榮と平和の堅き握手を求めてゐる

◇―◇

實に大滿洲興隆は一都一村の興隆にかゝつてゐる。大同三年の新春を迎へて益々多事多難、その前途たるや洋々たるものあるを思ふとき在安義日滿兩國民の渾身の努力こそ今日に求めずして何時の日にかゝらんやと言はねばならない

大唸りの寶庫

海に陸に地下に埋る　無限の富こそ朝鮮の誇り

産業王國―平北道

農産　平安北道の農家戸數は廿萬六千餘戸で地主九分、自作農一割八分、自作兼小作農一割三分、小作農五割を示し農業者は總戸口の七割八分に當つてゐる

鴨緑江沿岸の上流地方と南部の臨海沿岸地帶と更に中央部の地方とは地勢の關係上氣候土地の狀況を異にし從つてそれ〲農業上の特色をもつてゐる、即ち水田は南部に集中し畑は北部に散在し所謂産米地帶を形成し、中部は畑作を主位とし養蠶の主要地で中でも蠶繭の如きは道の總額に一萬四千石を越え、全鮮中一、二を爭ふ蠶業地帶である

上流地方は谷多く牛の生産地で農家一戸當平均一頭八分を所有してゐる盛況である、耕地面積は畓八萬八千町歩、田三十二萬二千町歩、計四十一萬町歩であるが、しかもこれを道の總面積三千八百四十四方里に比すれば僅か一割四分に過ぎない、農産物としては米の百萬石、粟の七十萬石、大豆の四十萬石、玉蜀黍の三十萬石が主要で牛と豚は各々十萬頭、産繭額五萬石である。氣候は大陸の影響をうけ寒暑の差が甚しいが農作物特に水稻の生育期間における氣温日射時間等は近來内地の主要産米地たる東北地方に比し遙かに優り寧ろ平北米の將來は期してまつべきものがある、殊に平北道の奬勵品種たる『銀坊主』は本年の産額八十五萬石に達し優良米の中心地たる東京市場で絶讚を博し名實共に日本一の優良米として益々隆盛の一途を辿つてゐる

林産　林野總面積は二百三十萬八千餘町歩で總面積の八割を占め實に林野面積に於いて全鮮第二位を獲得してゐる即ち國有林が百四萬町歩、私有林が百二萬町歩、山林、國境たる上流地方の山林は殆んど全部國有林、厚昌、中江鎭、慈城の營林署所管の國有林で年々百數十萬尺締の良材を産出してゐる、近の天然林經營による林相の改善[illegible]

にあつた。然し本年は匪賊新制度で加ふるに滿洲國政府は極力増伐を奬勵し民間業者も非常な努力をもつて着々と増伐計畫を進めてゐる、この現狀から新年度における滿洲各地の出材量を豫想するに、安東では料材二千五百臺、採木材五十萬尺締にして百廿五萬、合計一百七十五萬尺締で吉林、北滿方面は凡そ七十萬石、大連に輸入される北洋材三十萬石、以上を石數に換算して合計約三百萬石に達するであらう

尤も滿洲の林業は天候及び治安狀態の如何によつて障害を蒙る事が多いから不幸にして中途で斯る災害に遭遇した場合は當然右に擧げた數量が減少するのは勿論である、而して討匪工作着々としてその實を擧げ治安は漸次回收されつゝあるが何分人跡未踏、廣大無盡な大森林を相手の事業であるから必ず豫算通りに進捗せしめる事は頗る困難で幾分の減少を見るのは止むを得ぬ次第である、然し種々の方面から觀察して新年度に於て滿洲木材界は大體に於て需給平行の狀態を保ち得るものと考へられる、かくて木材の自給自足は新國家將來の發展上力強き基礎を作るものといへよう

翻つて斯業本來の使命を思ふに木材事業は軍事工作上は勿論新國家建設の上に直接重要な基礎となる事業である銃を執つて砲火の間に生死を賭するは勿論崇敬すべき忠誠の行爲であるが退いて國民大衆を救ふべき眞の樂土建設のために粉骨砕身事業に邁進するのも是國民としての赤誠である、吾人は微力なりと雖も崇高なる國利國略を乘抑して國民たるの本道に立ち、以て木材事業振興のため、ひいては滿洲國建設のために日本國民としての責務を全うしようと深く自ら期するものである

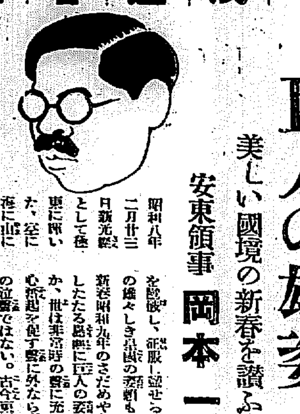
二百里の流れに映ゆる十字の鐵橋

甲戌迎春譜

見よや輝く巨人の雄姿

美しい國境の新春を讃ふ

安東領事　岡本一榮



昭和八年二月廿三日新光燦として極東に輝いた、空に海に山に河に[illegible]色燦き陽氣漲り新しき年の氣は充ちみちた、神明の御加護と申すべきか天祐あらたかなる我等新たなる歡喜を以て迎ふる甲戌の新春こそ目出度き限りである。移り來て茲に一年を過ぎた、交々至る[illegible]を[illegible]破し、征服し盡せるが如き過去一年の偉々しき皇國の躍進も[illegible]しき限りである新春昭和九年のさだめや如何、極東[illegible]したたる[illegible]に巨人の姿を仰ぎ見るべきか、世は非常時の聲に充ち溢り吾等の決心[illegible]起を促す聲に外ならずして[illegible]の泣聲ではない。古今東西非常時に直面せずして興隆した國はない、躍進に[illegible]る日本帝國は之なる哉とも謂ひ得る、國境の春は美はしくも朗かである。[illegible]の日心に浮ぶかま……

（カットは記者の岡本領事）

平和の都　榮えゆく新義州

責任は益々重大

新義州府尹　村上耻己

皇紀二千五百九十四年の輝かしい新春を迎へまして御同慶に堪へません

聖上陛下には 玉體愈々御健かに渉らせられ内外多端の御政務を親はせられまするだに畏き極みでございますが皆の國生の御榮にましまし殊に客臘二十三日　皇太子殿下の御降誕を拜しましたことは萬世に搖ぎなき國運隆昌の瑞祥と存じ奉りまして九千萬臣子の齊しく感激措かざる所でございます、國民にとりましてはこの上もなき御芽出度き新年でございます

扨て年頭に當り先づ回顧致しますることは昭和八年三月國國非常なる決意の下に行はれました國際聯盟の離脱であります、即ち大正十年以來十有三年の長きに亘り世界平和のため萬邦と凡ゆる協調努力を惜まなかつた帝國が滿洲事變に對する見解と主張を異にして遂に聯盟を脱する に至りましたが之と同時に大詔を渙發あらせられ畏くも吾人國民の嚮ふべき所を示し給ふたのであります。爾來國際環境と兩國の方針とにより吾國滿洲國との提携は更に緊密を加へまして彼此協調日夜その建設的工作の完成に急いでをります。その結果は兩國の政治に經濟に國防に當新義州府の存在を愈々重要に價値付け從來隣接國境西北の要衝であつたものが彼此交渉の樞軸となり總ての點において兩國にとり最重要の地歩を與へらるゝに至つたのであります

隨つてこゝに伴ふ當府の内外に負ふ所の責任も亦重大を加へ與地無限の富源と天然鴨緑江の利用とを基調とする各種産業の開發、水陸各交通路の擴張完備、都市計畫の遂成、保健衛生設備の充實、その他社會諸般の施設等に非常の努力を要すべき事項が多分に置かれてゐることを益々痛感するのであります

府民各位は當府傳統の平和親睦ち官民協力一致協かこの三十年にして斯くも朝鮮有數の都市建設を遂成せられたる熱と力に更に拍車をかけ物心一如益々融和協調の美を發揮しもつて國運の隆昌と府勢の進展とに努力貢獻せられんことを希望してやまない次第でございます

堂々たる玄關…安東大和橋通

互惠的の關税を切望

新義州　中込精一

國に新制當局が鮮内需要を目的として拂下げた原木が滿洲國の課國により當都市進を始め産業勃興に伴ひ木材の需要激増せるに反し北鮮東邊の林樹に匪賊跳梁し伐木出材困難に陷り資材の缺乏を感じ且つ同國の木材輸入關税法規の缺陷に乘じ盛んに滿洲國に原木の僞輸出せられ當地製材事業は勿論朝鮮全道の土木建築事業その他諸般方面にまで甚大な影響を與へ木材の自給自足政策も根底から覆される狀態にあるためこれが對策として立木の拂下許可に際し鮮内需用と滿洲輸出を區分し兩者の均衡調節を圖ることにしたのを原木の滿洲國輸出禁止を發令したものゝ如く誤り傳へ國境に一大センセーションを起したが、今や輸木業者も當局の眞意を理解し常態に復した事は同慶至極である

よつて吾々製材業者としては將來一層結束を堅くし原木の購入に對しても製品の販賣に對しても統制を圖り合理的合法的に協調し原木業者とも相携へて共存共榮の實を擧げ健全な發達を遂げたいと思ふ、唯遺憾に堪へぬは滿洲國に於ける木材の關税制度で輸入木材に對しては原木と製材との税率的均衡を失し輸出製材に對しては助成金を交付して帝國の關税法を無効ならしめ當に朝鮮の木材界に脅威を與へてゐる恐らく經濟ブロックの精神に則り、合理的に互惠的關税の制定實施を見んことを切望して止まぬ

賀

鈴木賢三郎

鹽谷要藏

平北森林組合聯合會

新義州鐵工所

新義州商工會議所常議員　高橋春一

表谷佐平

新義州　旅館組合

新義州電氣株式會社

吉野留吉

卓昌河

崔昌朝

柴田光祐

新義州料理屋營業組合

和洋食・生そば・御料理　新義州常盤町七丁目　千成食堂　電話四四七番

新義州商工會議所議員　高木延藏

新義州公立中等學校長會

新義州　多田商會

新義州　多田榮吉

株式會社　鴨綠江輪船公司　新義州

朝倉昇

高安彥

平安北道立新義州醫院　職員一同

新義州　土曜會當番幹事

鴨綠江運輸株式會社　朝鮮新義州府浦町一番地

鴨綠江白魚水産組合

新義州警察署

村上耻己

新義州郵便局

新義州稅關職員一同

新義州眞砂町　林久之進

平北高等官食堂員一同

新義州木材商組合

平安北道各金融組合　朝鮮金融組合聯合會平安北道支部

各種木材　新義州營林署

吉田雅一

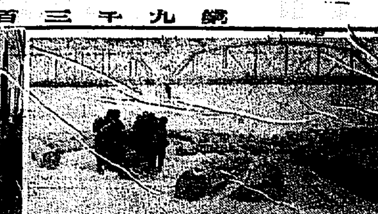
丹下郁太郎

王子製紙會社

松木節郎　新義州府本町

土師盛貞

國境二雄都



しやもた
こちらもこの時期でなくては見られない氷上の木材運搬作業と安東江岸……頭の風景です

想思日滿の月下氷人
これが我が安東の大使命
安東地方事務所長　關屋悌藏

乾坤革まり……に昭和九年の新年を迎ふる……皇太子殿下御降誕あらせら……る慶びの……帝國の第一線に立ち……境の重要地に任を受け……ることの悦び更に新たなるものがある

思ふに安東の地は滿洲國稀要部分たる東邊道の經濟的核心をなし、これを朝鮮乃至日本と結ぶ經濟的要衝たる地に位する。滿洲國建國以來國内の治安著々回復され産業開發亦見るべきものあり、過去未開拓の價値されたる滿鮮國境が、滿洲の發展を一契機として滿鮮双方に於て着々産業開拓經營施されつゝあることは國境都市行政に携る者の一人として衷心喜びに堪へないところである。近く開通する京圖線が北滿鮮興日本を結ぶ新交通路として出現し日滿經濟關係に新たなる貢獻を約束すると共に、之と相對立し前滿朝鮮乃至日本を結ぶ經濟連絡路としての安東の重要性は依然として存在することは勿論、今後東邊道の産業開發と共にこの重要使命を發揮すべき機運愈々緊切なるものあり、明日の安東に於ける産業交通上の諸問題は前途極めて多事多望なるを確言するものである

鼻祖の御榮えを頌へ奉る際に當り新用度き新年を迎ふるに當り更に新らしい意氣を以て、友邦滿洲國東邊道開發のために且つ日滿經濟提携のために、微力乍ら御奉公の赤心を披瀝するの念切なるものがある。

是非必要な滿洲國幣の知識
次第に圓貨に追隨
安東　來栖弘侑

滿洲の通貨は國幣に統一されるがその相場は何を基準として動くかを茲に簡單にお話する但し南滿三港の中で營口の過爐銀は統一されたが大連の鈔票と安東の鎭平銀は特別の事情があり廢止の時期未定である◇

滿洲國幣の一圓は純銀二三、四九瓦、上海の新銀元は純銀二三、四九瓦弱、よつて兩者の相場は大體相似た價位にあり僅かの關係で多少の違ひがあるべき筈である大連の鈔票もこの二種と略同様の銀貨を有つものだが、大連港は滿洲一の輸出港であり而も銀票の流通が少いので常に割高に在りこれを裏から見ると金圓割安の市勢と言へる◇

左に掲げる最近の相場は以上述べたことを實證してゐる（銀百圓に對する金圓相場）

月日	奉天國幣	上海日本向	大連鈔票
十一月一日	九八、〇〇	一〇一、〇〇	一〇三、〇〇
十一月十日	一〇一、二〇	一〇一、三〇	一〇三、五〇
十一月二十日	九九、五〇	九九、三〇	一〇三、五〇
十二月一日	九九、四〇	九九、〇〇	一〇二、一〇
十二月九日	九九、一〇	九九、二〇	一〇二、二〇
十二月十九日	九九、三〇	九九、四〇	一〇二、〇〇

即ち大體併行してゐるが、國幣の强調と大連の割高が注意を惹く◇

國幣の强調は特産物出廻り期における需要關係と見られる今後は過渡期時代の大推移に比して漸時的高下が緩和されるであらう、そこに中央銀行の金融統制的使命が働く

現今の相場は上海の日支爲替相場と併行してゐるから世界的銀相場に追隨する傾向を多分にもつてゐるが日滿經濟の關係が漸次緊密の度を加へ經濟機構が共通に進むに從つて國幣は異なる銀相場から離れて金圓爲替と呼吸を合はせ、遂には圓貨に追隨する傾性を現し或は兩者の睦着する時代も來ると思はれる

鴨江畔風景
人・物相接する三様式十字路
鮮滿の接觸こゝに起る
想思關係を想ふ
平安北道知事　土師盛貞

鴨綠江岸、與岸として平北道下百六十里、到る處溯洲の山川草木を指呼の間に眺むる國境であり、道廳所在地たる新義州も第一線に處み、陸橋一つを中において、安東縣に接してゐる。旅行すれば勿論だが新義州にゐるだけでも、彼岸との往復が多て其だしきは日沒後臣ながらにして、對岸の銃聲を聞くことがある。

異國內の銃聲ならぬ銃聲が、夜半の枕頭に通ふ知事官舍は日本中外に無い治だ、都當右樣にこの任地は、滿洲との接觸がある。之に加へて、色々の朝鮮情報を傳へて異れ客人は、色々の滿洲情報を傳へて異れる。正に新義州は日鮮滿三國の、人と物とが相接する十字路に位するかの如き感がある

朝鮮を眺めて滿洲を眺める。滿洲を眺めて更に朝鮮を眺める。朝鮮の將來を想ふて滿洲の將來を想ひ、滿洲の將來を想ふて朝鮮の將來を想ふ。鴨綠江畔心胸多事ならずとせずだ

水産

海に面する龍川、鐵山、宣川、定州、博川の五郡の海岸線の延長は二百十海里に及び八十餘の島々が點綴、漁獲高は二百萬圓を突破し主産のグチ、カナガシラを船頭に鰈鯛、鱈十として製造高百卅萬圓を越えてゐる、中にも鴨綠江がもつ名物の一つである白魚は柳腰細眉の美人の指の様に細くて美しく原形のまゝ加工し得られるのでこれに味を加へ新義州名産白魚乾干として年産額二萬四千五萬圓に達し鴨綠江の名産のみならず朝鮮として全國的進出を約束されてゐる、一方龍岩浦魚市場經營問題は本年度から漁業組合貸の統制の下に愈々經營されることになつた

かくの如きは全く産業合理化運動の大方針に順應した第一歩ともいふべきもので、滿洲國との呼應なる水産取引と隣接せる平北漁場の特殊的地位と更に共同團體の統制ある漁市經營を思ふとき平北の水産は今後益々繁榮の道を決歩するものと期待されてゐる

鑛産

鑛物の埋藏量は極めて多く其の主なものは金、銀、銅、鉛、銀、鉛、石炭で就中金は本年の産額五百萬圓を超え全鮮の七百五十萬圓に對し約七割に相當してゐる、産金地方としては義州、亀城、定州、宣川、朔州、昌城、江界、楚山の諸郡にわたり雲山鑛山三成金山、玉山金鑛、大楡洞鑛山新延金山等は餘りにも有名である

その他到る處に金鑛脈、砂金が發見され、對岸東邊道の興味深き鑛の開拓とゝもに、平北の鑛業界はわが總督府が經濟封鎖に傾へる對策として布いた三大經綸の一つたる産金奨勵にあふられて近き將來に必ずなる黃金時代を夢見てゐる、かてゝ加へて新義州電氣の鴨川電化計畫は平北鑛業界に一層の拍車をかけ對岸東邊道の目覺ましい開拓事業と相俟つて鴨綠江を中心として日滿兩國境に鮮やかな躍進を示すものがある

念願は木材報國
安東　武藤守一

最も感慨深き昭和九年の新春を迎へると共に滿國三度の年を重ねた滿洲新國家の陣容は名實共に完成に近づき王道の樂園境として四隣にあまねきは皆々往福同慶の觀的に堪へぬところである

この時に當り滿洲王道の樂業にして新國家の建設に重要な役割を果しつゝある木材事業を瞥見し聊か卑見を陳べてみたい

新年度に於ける滿洲木材の需要數量に就ては正確なる豫定を下し得ないがこれを前年度に比較するに凡そ二割乃至三割の増加をみるは確實であらう、しかしてこの需要數量は到底として百八十萬石乃至二百萬石の見込みである

この需要に對し一方供給狀態をみれば租界年度に於ては西南各地林區は匪賊の横行、天候等の被害が甚しいために伐材料減少し翌……

妻も銃執り
健氣に賊に應戰
その辛苦誰か知る
國境警備陣の緊張

國境の要、寒……下三十餘度の……江岸の國境警備陣を完成して、二百有餘田の鴨綠江はけふ一點の敵なき冬天に元旦を迎へて日の丸に、五色旗に大同三年の新春を祝ふ。◇

平北道警察官一人當の受持は面積にして〇、六七方里五百六十四人の割合で内警察官の五割以上は國境警備に從事してゐる國境上海警察警務に從事する警察官の人員は著しく不足を告げてゐるしかも昨年は馬賊の跋扈に伴ひ更に警察官の補出で國境第一線に配つ……

線に沿つて作備員三百餘名の不足を生じた、その外國境、平安道の特殊勤務に服するので平北道の警察官は全鮮に類例をみない繁忙ぶりを呈してゐる　×

國境警備の第一線は……を擁し晝夜間斷なく立哨、張込み巡邏或は危險を顧みるいとまもなく對岸に潜入して各種の偵察偵探に當り自ら匪の掃討を實施し或に備へる健氣な苦警と決心を有してゐる、昨年匪賊の來襲に際し所員と共に拳銃を執り應戰し匪賊を擊退した警察官の妻女が三名あつた尖銳緊張の警備の重任を果す

べく妻女が内地各處の派……って駐在所の防備施設を完成したといふ美談は二三に止まらない　×

本社は國境警備にある警察官第一線の人々を慰問するため備山大觀竹内栖鳳畫伯をはじめ全國的巨匠の大家百有餘名を網羅した慰問展覽會を開きその全收益金を本舉早々國境警官の慰問の費に充てることになつて目下その準備中　◇

今や西東建設の大業は成つて滿洲國は國土をあげて產業開發の平和的建設工作に努めてゐる、我吾的育成をあつて民族の繁榮は焉と皆樂となつたと……

ご自慢の街…（新義州道廳通）

平北土木界の立役者
林組の貢獻

林組を經營する組主林久之進氏は平北土木界の第一人者として重きをなしてゐるが殊に氏の信用と便宜は新義州に夙に聞く、昨年は國境道路の開拓を初めとして平北各方面に互つて事業の進展を見つゝある、本年も楚山を中心とする國境道路の開拓は同組の獻身的努力によつて文化産業開拓の先驅者としての道路網完成に寄與するところ大なるものがあらうと期待されてゐる

農村と鑛山電化
創立二十周年の礎固き
新義州電氣の雄飛

本年七月創立滿二十周年を迎へた新義州電氣會社は大正二年六月十四日資本金六萬圓をもつて誕生したが今や資本金八十五萬圓の大會社となり西鮮電氣業界の一方の雄として今後の雄飛が待望されてゐる

現社長神保信吉氏は大正十四年六月社長の椅子を占むるや大英斷をもつて大發電所を新設し自家發電により府民に低廉な電力を供給、更に電氣統制の實現に努めた結果、先づ國境地帶電氣會社を買收し送電區域を擴大するとともに滿洲地帶の龍川平野の水利灌漑事業に電力を供給、もつて恵まれない農村に文化の光を與へ農村電化の第一歩を踏み出した、かくて昭和七年四月定州電氣を併合し更に昨年に入つて義州、昌城、朔州の鑛山電化を計畫し南鮮電氣の田村忠一氏とともに相提携しその實現に努力した結果遂に滿洲金鑛の送電計畫は本年下期六十萬圓を以つて事業に着手することに決定し全平北の鑛山電化も新義州電氣の努力によつて達成されることになつた（寫眞は神保社長）

國境の麒麟兒
産業の恩人
多田榮吉氏

國境産業開發の恩人として國境消息の名ある多田榮吉氏は年々益々飛躍しゆくとして可ならざるなきその飛躍ぶりは國境産業開發史上に燦然たる光輝を放つてゐる。しかも昨年十月には國境の新聞なる日新聞を買收、自ら社長の椅子に立つた、世の風評を減つて新聞に奎く素人の多田氏が最も經營の困難とされてゐる新聞にあつていかにその才能腕を發揮してゆくか國境新聞界の一大革新を起さんとする多田氏の言ひなる抱負は果して實現されるや、新春、昭和九年度の事業界に於ける一異彩として其の進展如何は多大の興味をもつて迎へられてゐる（寫眞は多田榮吉氏）

筆まめな財政通
平北名物一人男
朝倉さんの牙腕

半島の財政通として有名な平北財務部長朝倉昇氏は吾方面において……二其の旺盛なる文章報國によつて波瀾せる半島言論界に一異彩を放つてゐるが、昨年氏がものしたパンフレット及雜誌の寄稿は實に八十餘回に及んでゐる、それがいづれも徹底ある、しかも忙殺の中に暇を盗んで走り書き的にものしたといふから頼もしい、從つて氏には復習の自信があるらしく人は顯伋さんと見るとあの人は首を振られても平で立つてゆけると一

の跡說施策は依然として罷げられてゐる、しかも舗街の快活なる揭手が求められてゐる時、國境警備と道内の治安維持に當る丹下警察部長以下二千六百五十餘名は協力一致、日夜の平和と緊張を蔽く期してゐる、國境を控へた警察官の責任はいよく重く、眉字に精悍をたゝえて堅固たる丹下警察部長の國境警還としての責任は更に重いものがある（カットは丹下警察部長）

有能から偉實警を浴せてゐる位だ往々として可ならざるなき朝倉氏が一番困つたのは平北道の不良納税だ全鮮一に納税成績が惡く殊に變もとりたての至難な地帶窮などは平北の癌として當自に入つてゐるが朝倉氏の智略とかで加へて拆背を結する文章とによつて五百の納税は慶然好成績を收め新義州をはじめ平北全道に及んで其納税の如きも九割といふ結んど完納に近い優秀な成績をあげ、堂財務部長としての敏腕ぶりを遺憾なく發揮したものだ（カットは朝倉財務部長）

威勢よき建設奏曲
安東市街の擴充計畫

滿鐵地方事務所の昭和十年度に完成すべき二期五千坪の新除計畫は本年第一期五千五百坪の擴充計畫は客年八月まで遂行しその後道路として建築の華やかな大建築に依つて客年中の空地擴充面に一萬六千坪に及んだ、卽ち第一期計畫の三倍といふ盛業的擴充を完成した、之がため安東市街は隨所に木の香新しき建築の櫛の響きも威勢よく滿洲國建設の基礎として進みいく新しき建築の擴充は悉て計畫に一萬坪たらずとなり今日の狀態では本年度をもつて完成されることになり、昭和十年秋には安東市街地の日本町に何處にも空地を見出せぬ飽比の壯觀を現出する筈で、かくて大同二年の新春を迎へて安東繁榮は一層「村の内容充實に依つて巨大なる國土完成の目的達成に一步を進める譯である

平安

横濱堂　電話一二一・七四三

安東驛三番通り四丁目　三省精米所　電話二〇一番

安東縣　日陞公司

安東驛江岸通四丁目　滿鮮製函木材株式會社

安東窯業株式會社

安東炭友會

料理　安東驛前　東雲　電話四七三・一三八

横畑幾久

藤平泰一

安東驛五番通五丁目　滿洲旅館

濱屋旅館

由良之助　木之瀧長次郎

滿洲安東驛前　大和旅館　電長八八七番

料理店　卜一　電話二四六

料理店　松葉　電話九四三

松月

安東ホテル

大昌興業公司

安東驛前通　日の出旅館　釘崎丑雄

大山堂　大山祺雄

滿洲土木建築業協會安東支部

中村元

合資會社　鹽見主造　安東驛財神廟街

鴨綠江製紙株式會社

滿鮮坑木株式會社

安東木商組合

伊藤勘三

安東　金子商店

安東取引所　取引人組合

安東競馬倶樂部

鴨綠江製材無限公司

株式會社　安東取引所

重枝洋行

安東驛三番通七　田原孝　電話九

安東縣四番通六丁目　安信無盡株式會社

安東驛市場通四丁目　石本三造　電話一九三番　振替京城一八六二三番

支那料理店　滿洲飯店　電話八五四

安東驛市場通五丁目　北田商店　電話四三一番

大下酒造場

大連汽船　有吉晙作

安東驛　井上禮裝社

福田商店　電話三〇

縣公署

鴨綠江採木公司

南滿洲電氣株式會社　安東支店

安東縣銀行集會所

秋吉辰郎

原田市松

…

…

大江新

阿部卓爾

…

千原松太郎

…

田村…

高元勳

滿洲鑛山藥株式會社　滿洲安東縣六道溝

安東驛市場通　精美館印刷所

食道樂　三福ずし

安東驛六番通九丁目一番地　丸鴨精米所

日出製材所主　和田賢太郎

安東料理店組合　電八二番

中島三代彦

安東驛三番通五丁目　食道樂　天未　電話一九一

鴨綠江水先組合

謹賀新年

咸興醫師會

咸興府東陽通一丁目 くだもの菓子食料品 風月堂 電話三六六番

咸興府昭和町 株式會社 ㊝精米所 林良作 電話四一五〇番

咸興府東陽通一丁目 明治屋 電話五六五番

咸興辯護士會

咸興府會議員 永島充

咸興府昭和町 本町券番 電話八三二九番

咸州郡廳 職員一同

咸興府大和町二丁目 常盤旅館 電話四三七番

咸興府大和町二丁目 大和本店 電話八二四番
咸興府昭和町二丁目 大和支店 電話八四五番

咸興府大和町 新興林業合資會社 電話四〇一三番 私書函第五一號

咸興府本町二丁目 貞砂館 電話四三六八番

咸南前津公立普通學校長 町田鹿頼 外職員一同

咸南端川郡 廉璟薫 電話五番

咸南端川郡公立普通學校長 安藤忠雄 外職員一同

咸興府大和町三丁目 咸興タクシー株式會社

咸興府東陽通一丁目 右田電機商會 電話長四五五番

咸興府昭日町 敷根角市 電話一〇七番

咸興府東陽通一丁目 鹽入寫眞館 電話三三〇番

咸興府 高橋秀信 山西政美 電話一三〇番

咸興府 泉寫眞館 稅所篤治

咸興府本町一丁目 咸興印刷所 電話七二九番

咸南道會議員 咸興府會議員 木村重樹

咸興府會議員 森田秦祐

咸興府會議員 米田定治郎

咸興府東陽通一丁目 文具 文勝堂 電話五六四番

咸興府東陽通 石田雜貨店 電話六二九番

咸南道會副會長 咸興府會議員 劉柄義

咸興府會議員 辯護士 井上茂

咸興府東陽通一丁目 松尾酒店 電話一五八番

咸興府會議員 咸興消防組頭 內田半十

咸興府大和町三丁目 和波商店 電話二三八番

咸興府大和町二丁目 酒商 のぞみ屋 電話八〇六番

足利元

咸南利原郡東面事務所 職員一同

咸南西湖公立普通學校 職員一同

咸南利原郡遮湖港 湖月旅館

咸南洪原郡三湖港 三湖機船底曳網組合

咸南三湖公立普通學校長 越原克己

咸南甲山邑內 龜屋旅館

咸南定平郡官公署 職員一同

咸南興南邑事務所

富田商會興南出張所 速水源治 咸南咸州郡興南邑

咸南西湖津港 西湖水產株式會社

長津江水電株式會社 瀧儀三 橋本重興

咸南長津郡廳 職員一同

惠山鎭電氣株式會社

咸南惠山警察署長 久枝頼三 外職員一同

咸南惠山鎭 木材業 高瀨敬藏

洪原圃「卓會

東京火災海上代理店 朝運遮湖代行營業所 球石 生石 海產物商 太田房藏 咸南利原郡遮湖港

咸南端川警察署長 毛利由太郎 外職員一同

咸南端川郡廳 職員一同

咸南好仁警察署長 遊佐秋治郎 外職員一同

咸興府廳

咸興府本町二丁目 玉置省二 電話二三番

咸興府大和町二丁目 金光正市 電話一四番

咸興府東陽通一丁目 笹沼寫眞館 電話一五七番

咸興府會議員 倉掛喜丈

咸興驛長 岡山寬二 咸興機關區長 本外澤吉 咸興保線區長 西山榮吉

咸興刑務所 職員一同

片倉製糸紡織株式會社 咸興製糸所

咸興府新興町(驛前) 朝鮮運送株式會社 咸興文店 電話四一八番

咸興驛前 朝日タクシー 電話六四七番

咸興府臨市場內 咸興市場株式會社 電話六一六番

咸興府大和町一丁目 三井物產駐在員 三輪孝貞 電話四三三番

咸興府臨市場內 咸興魚菜株式會社 電話四一四〇番

咸興水利組合

咸興府城川町一丁目 三菱商事咸興支店 朝鐵專屬調辨部 牧野政一 電話四三六番

咸興府中央町二丁目 北鮮商礦社 阿部壽雄 電話三〇九番

咸南遮湖郵便所長 林賡輔

咸南洪原郡前津港 大敷漁撈 肥料製造 池邊健吉

咸南北青郡 新昌公普學校職員團

惠山郵便局 職員一同

咸南道立惠山鎭醫院 職員一同

惠山鎭營林署

惠山鎭公立尋常高等小學校
惠山鎭公立普通學校

咸南惠山鎭 小西鐵藏

第十九師團惠山鎭守備隊長 常盤井孝純 咸南惠山鎭

惠山鎭料理屋組合

咸南惠山鎭 才津醫院 電話四八番

咸南甲山郡惠山鎭 惠新自動車株式會社

咸南豐山邑內 御旅館 寶來館 小田又一

三水公人俱樂部

咸南三水郡中坪面 三水酒造株式會社

咸興府公立學校團

咸南長津郡下碣 各官公署職員一同

咸興無盡株式會社
咸興土地金融株式會社
東一銀行咸興支店
朝鮮商業銀行咸興支店
朝鮮殖產銀行咸興支店

大興電氣株式會社 咸興支店 電話一二七番

咸南利原郡南面昌興里 利原鐵山株式會社

咸南惠山鎭 木材業 橋本榮太郎

咸南豐山各官公署

咸興府軍營通一丁目 茂の家 德永茂江 電話四一一番

咸興府本町二丁目 加茂川 山本春江 電話二三〇番

咸興府大和町三丁目 咸興物產株式會社 篠崎新 電話五二〇・九四六番

咸興府榮町四三 新築移轉 御料理 長崎亭 電話四七番

咸南西湖津港 村田三之助

咸鏡線興南驛長 小山龍次

咸南定平郡春柳面長 李鍾律

咸南新上里校組合管理者 名取袈裟藏

咸南退潮公立普通學校長 石川謙吾

咸南長津學校組合 管理者 田原治三郎

咸南長津邑內 長洲理髮館

咸南長津邑內 五十嵐義夫

咸南長津郡下碣里 金昌洙醫院

咸鏡線西湖津驛長 大塚昌二

咸南長津郡 上南面職員一同

咸南長津邑內 長津森林保護區

咸南長津邑內 公醫 鄭合敎

咸南長津邑內 御旅館 長津館

咸南長津邑內 松田商店

咸南惠山鎭公立普通學校長 馬場庸太郎

咸南甲山邑內 金山釀造組合 金炳鉅

咸南三湖郵便所長 野中忠良

咸興料理屋組合
濱吉 中華樓 加茂川 咸興館 淀川 長崎亭 あかつき あづま ひさご 住よし

咸州郡內公立初等學校 職員一同

咸南釋王寺公立普通學校長 一政千一

內鮮運送株式會社 咸興驛前營業所

弘濟堂藥房 藤城精 咸南洪原邑內

咸南道會議員 洪聖龍 咸南洪原邑內

咸南興南公立尋常高等小學校 職員一同

咸南興南警察署長 加藤誠 外職員一同

咸南咸州郡興南邑 三州寫眞房 厚地兼磨

咸南新興警察署長 武田駒三郎 外職員一同

咸興府住吉町 都山流 先崎鴨山

咸南長津郡下碣 御料理 菊水

咸南新興郡廳 職員一同

咸南長津郡下碣 日用雜貨 旅館 吉田商店

咸興府昭和町二丁目 千歲館 電話四三二番

咸興府會議員 咸興消防組頭 中原正作

咸興府大和町一丁目 咸興モータース商會 高橋正身 電話四三四番

咸興府大和町二丁目 高級映畫 咸興劇場 辻平三 電話六〇五番

咸興府大和町二丁目 北鮮倉庫株式會社 電話三二五・四三五番

[illegible]元山支所 咸興出張所 職員一同

咸興府大和町一丁目 中尾自轉車店 電話三九番

咸興府大和町三丁目 吉本太一郎 電話四一四番

咸興府大和町二丁目 帝國商事株式會社 朝鮮支部 電話八〇二番

咸興府大和町二丁目 咸鏡繩叺株式會社

株式會社林兼商店 咸南新浦出張所 酒井節郎

咸鏡南道各金融組合 朝鮮金融組合聯合會 咸南支部

咸興五老間バス 咸興七坪間定期 北鮮自動車運輸合名會社 電話長七四七番

新乫坡官民申合會

咸南甲山邑內各官公署 職員一同

北青郡廳
北青警察署
北青邑事務所
東拓北青派出所
良德水利組合
咸南產業課北青出張所
專賣局北青出張所
北青驛
北青郵便局
北青公立學校團
大和田農林部

咸南咸州郡興南邑 鐵商 白石金藏